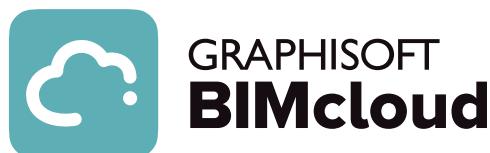


BIMcloudヘルプ



目次

BIMcloudSaaSのご利用ありがとうございます	4
BIMcloud Software as a Serviceのライセンス	6
クラウドライセンスのBIMcloud SaaS	7
旧バージョンのArchicad及びDDScadでの作業	9
BIMcloud Managerのライセンス管理（キーベースのライセンス）	12
ライセンスの割り当てまたは取り消し（キーベースのライセンス）	14
Graphisoft IDユーザー向けライセンスオプションの追加（キーベースのライセンス）	17
自分のライセンスを使用（キーベースのライセンス）	19
クラウドライセンスへの切り替え	20
BIMcloud Managerでの作業	23
BIMcloud Managerを開く	24
BIMcloudからのクイックリンク	26
BIMcloudコンテンツの表示、フィルタリング、検索	28
選択された項目のクイック情報	32
設定の継承	36
BIMcloudアクティビティの監視	37
BIMcloudユーザーの管理	39
ユーザーの追加/削除	41
Graphisoftカンパニーアカウントから同期されたユーザーデータ	42
ユーザーリストのフィルタ	43
ポータブルライセンスのゲストユーザー	44
ユーザーグループを作成	45
ユーザーグループメンバーの追加または削除	46
ユーザーグループ: ベストプラクティス	49
BIMcloudに同期されたカンパニーユーザーグループ	51
ユーザーまたはグループを複製	53
ユーザーを有効化または無効化	54
チームワークプロジェクト退出をユーザーに強制	55
メール送信	57
ユーザーの追加（キーベースのライセンス）	58
Graphisoft IDユーザーをBIMcloudに招待	59
招待ステータスを確認	61
既存のBIMcloudユーザーをGraphisoft IDに接続	62
既存のBIMcloudユーザーのGSIDアカウントを変更	64
BIMcloudのプロジェクトとファイル	66
ArchicadからBIMcloudへの発行	68
チームワークプロジェクトをBIMcloudに共有	69
BIMcloudへのフォルダまたはファイルのアップロード	70
ファイルバージョンの保存	72
変更のサブスクライブ	75
BIMxモデルまたは画像ファイルの表示	77
プロジェクトおよびファイルの管理コマンド	78
項目の情報概要を確認する	79
プロジェクト名、フォルダ名、ホストサーバーの定義	80
チームワークプロジェクトのステータス確認	82
チームワークプロジェクトのロックまたはロック解除	83
プロジェクトフォルダの作成	84
フォルダ内容のリストをエクスポート	85
項目の移動	86
項目を複製	87

項目の削除.....	88
チームワークプロジェクトのユーザーリストを表示.....	89
チームワークプロジェクト退出をユーザーに強制.....	90
チームワークプロジェクト/ライブラリのエクスポート.....	92
チームワークプロジェクトまたはライブラリをインポート	93
BIMcloudプロジェクト.....	94
BIMcloudプロジェクトを作成	95
BIMcloudプロジェクトチーム	96
BIMcloudプロジェクトチームの作成または追加.....	97
BIMcloudプロジェクトおよびチームのアクセス権.....	98
フォルダをBIMcloudプロジェクトに変換	99
BIMcloudプロジェクトをフォルダに変換	100
スナップショットの作成および管理	101
スナップショットの種類	102
自動スナップショットのスケジュール.....	103
手動のスナップショット	105
スナップショットからデータを復元.....	107
タグの使用	110
項目にタグ付け	112
タグの作成または複製.....	114
タグの編集または削除.....	116
タグを使用して項目を検索	117
タグを削除.....	120
BIMcloudの役割の管理.....	121
役割を作成	122
役割を複製	123
役割を編集	124
役割の削除	126
役割のインポート	127
役割をエクスポート	128
ユーザーまたはグループに役割を割り当てる	129
BIMcloudへのアクセスと権限	130
トラブルシューティング：アクセス権のデッドロック	131
Archicad関連の権限.....	132
アクセスの無効化	139
BIMcloud Software as a Serviceでの権限設定	140
BIMcloudアクセスパネル.....	142

BIMcloudSaaSのご利用ありがとうございます

BIMcloudを開く

ブラウザからBIMcloud Managerを開きます。

購入時に設定したアドレス（ドメイン名）を使用してください。例：<https://myarchitecturalfirm.bimcloud.com>

ドメイン名をお忘れの場合は、購入後に弊社から送信された確認メールを参照してください。

また、同じBIMcloudのアドレスを使用して、Archicadからチームワークプロジェクトに接続または共有します。[ArchicadヘルプのBIMcloudへのログイン](#)を参照ください。

BIMcloudにログイン

Graphisoftアカウント（GSID）を介してBIMcloud SaaSに接続している場合は、GSID認証情報を使用してサインインしてください。

それ以外の場合は、BIMcloudのユーザー名とパスワードでログインします。

注: BIMcloudのパスワード

- GSID経由でBIMcloudに接続するユーザーは、GSIDページでパスワードを管理します。
- BIMcloud上のローカルユーザーの場合（非GSID）：
 - パスワードは12文字以上である必要があります
 - パスワードには、以下の各項目のうち少なくとも1つが含まれている必要があります:
 - アルファベットの小文字
 - アルファベットの大文字
 - 数字
 - 以下のリストにある特殊文字:
 - .. ! # \$ % & ' * + = ? ^ _ ` { | } ~ -

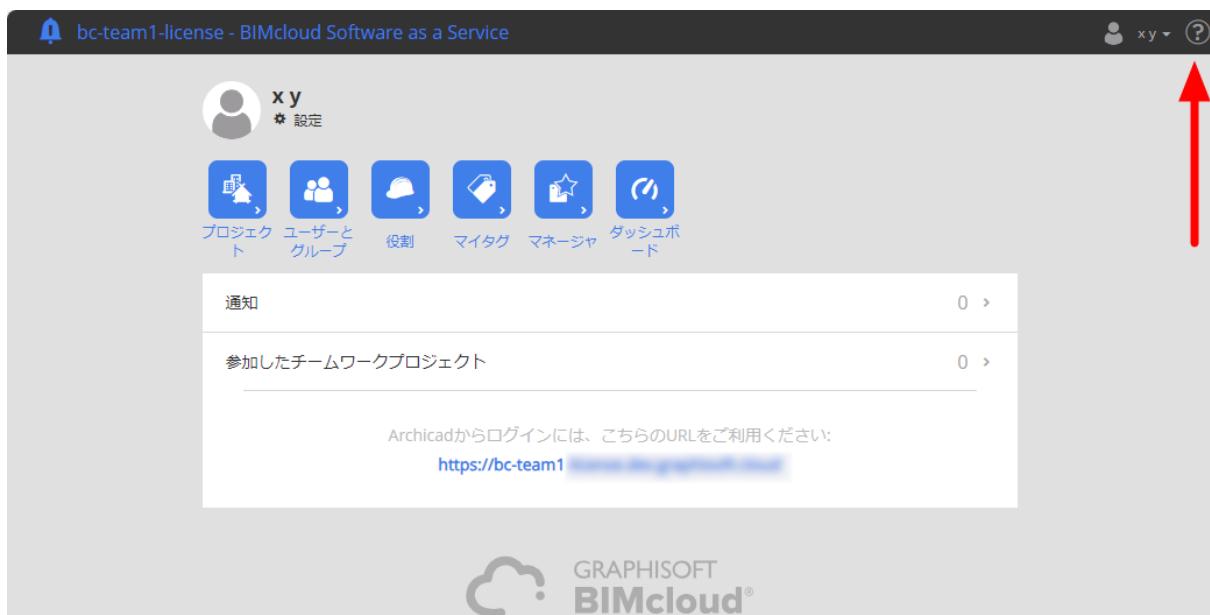
BIMcloudのカンパニー管理者

カンパニー管理者のアイコンには星が表示されます。カンパニー管理者は、ユーザーの作成、プロジェクトの管理、権限の割り当て、さらにチームワークのすべての権限など、全ての権限を持ちます。

「[BIMcloud Managerでの作業](#)」も参照してください。

コンテキストヘルプ

BIMcloud Managerの右上にある疑問符をクリックします。



ヘルプが開き、現在アクティブな内容/パネルの説明が表示されます。

PDF形式のヘルプ

PDF形式のヘルプにアクセス：BIMcloud.pdf

その他のリソース

BIMcloud関連のナレッジベースの記事を[Graphisoft Community サイト](#)で参照できます。

テクニカルサポート

<https://graphisoft.com/contact-us/local-contacts>

BIMcloud Software as a Serviceのライセンス

BIMcloud SaaSのライセンス関連のオプション

各ユーザーは、以下の作業を行うにはBIMcloudのライセンスが必要です。

- ・ ブラウザからBIMcloudコンテンツにアクセス
- ・ ArchicadまたはBIMxからチームワークプロジェクトを共有、開く、参加

注: これらの機能を全て同時に行う場合でも、BIMcloudのライセンスは1つだけ必要です。

ライセンスオプションと管理は、BIMcloudのタイプによって異なります。

クラウドライセンスのBIMcloud SaaS

クラウドベースのサブスクリプションの柔軟なオプション

BIMcloud Managerのライセンス管理（キーベースのライセンス）

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

クラウドライセンスのBIMcloud SaaS

クラウドベースのサブスクリプションの柔軟なオプション

GraphisoftはBIMcloud SaaSに、従来のキーベースのライセンスの代わりに、クラウドライセンスを使用する新しいサブスクリプションを導入しました。

クラウドライセンスの特徴

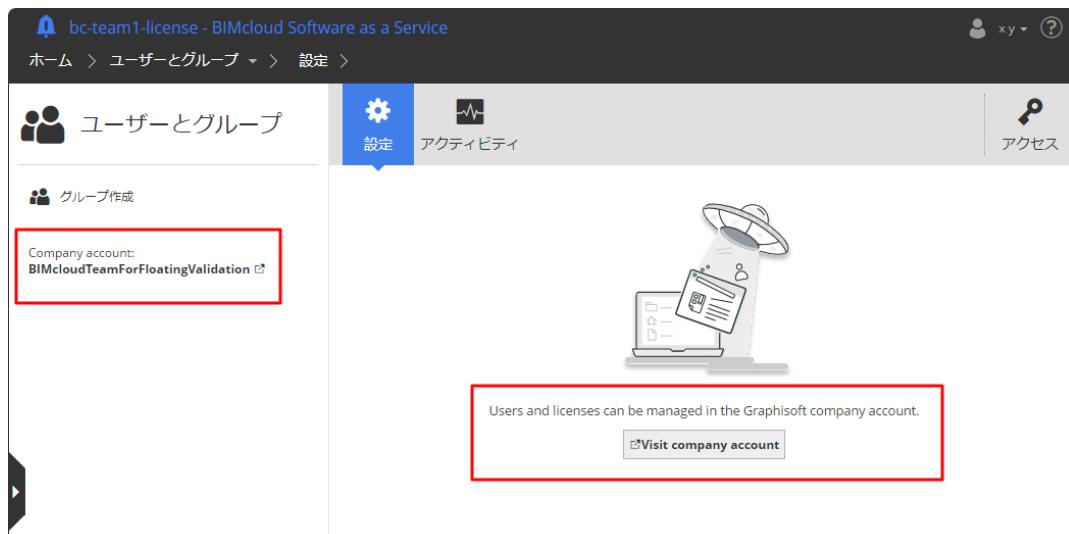
- BIMcloudライセンスとユーザーは、BIMcloud Managerではなく、カンパニーアカウントで管理されます。
- カンパニーアカウントにユーザーグループが含まれる場合、それらは自動的にBIMcloudへ同期されます（グループとそのメンバー）。
- 他のカンパニーのゲストユーザーをホストできます。ゲストユーザーは自身のポータブルライセンスを使用します。
- クラウドライセンスのBIMcloud SaaSは、全てのバージョンのArchicadプロジェクトとDDScadプロジェクトをサポートできます。古いバージョンのプロジェクトのサポートを有効にするには、BIMcloud Managerの設定で「レガシー認証」を有効にします。
- Graphisoft IDアカウントで多要素認証を有効化している場合、クラウドライセンスのBIMcloudにのみログインでき、モダン認証(Archicad 27以上、DDScad 19以上)を使用中のアプリからのみログインできます。

現在キーベースのライセンシングを使用している方には、プロジェクトとユーザーをクラウドベースのライセンシングに移行する方法について通知されます。「[クラウドライセンスへの切り替え](#)」を参照してください。

カンパニーアカウントでユーザーおよびライセンスを管理

BIMcloud ManagerからカンパニーのGraphisoftアカウントへ移動します:

- ユーザーとグループページから、カンパニーアカウントにアクセスをクリックするか、カンパニー名をクリックします



- 管理者ページから、ライセンス管理をクリックします

The screenshot shows the BIMcloud Manager settings interface. The top navigation bar includes 'ホーム', 'BIMcloud Manager', '設定', and 'アクセス'. The '設定' tab is selected. The main content area is divided into sections: 'ステータス' (Status), '一般設定' (General Settings), 'ライセンス' (Licenses), and 'カスタムユーザー項目' (Custom User Items). The 'ライセンス' section is highlighted with a red box and contains the text: 'ライセンスはGraphisoftアカウントで管理することができます。' (Licenses can be managed through a Graphisoft account.) and a 'ライセンスの管理' (Manage License) button.

旧バージョンのArchicad及びDDScadでの作業

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

親トピック: [BIMcloud Software as a Serviceのライセンス](#)

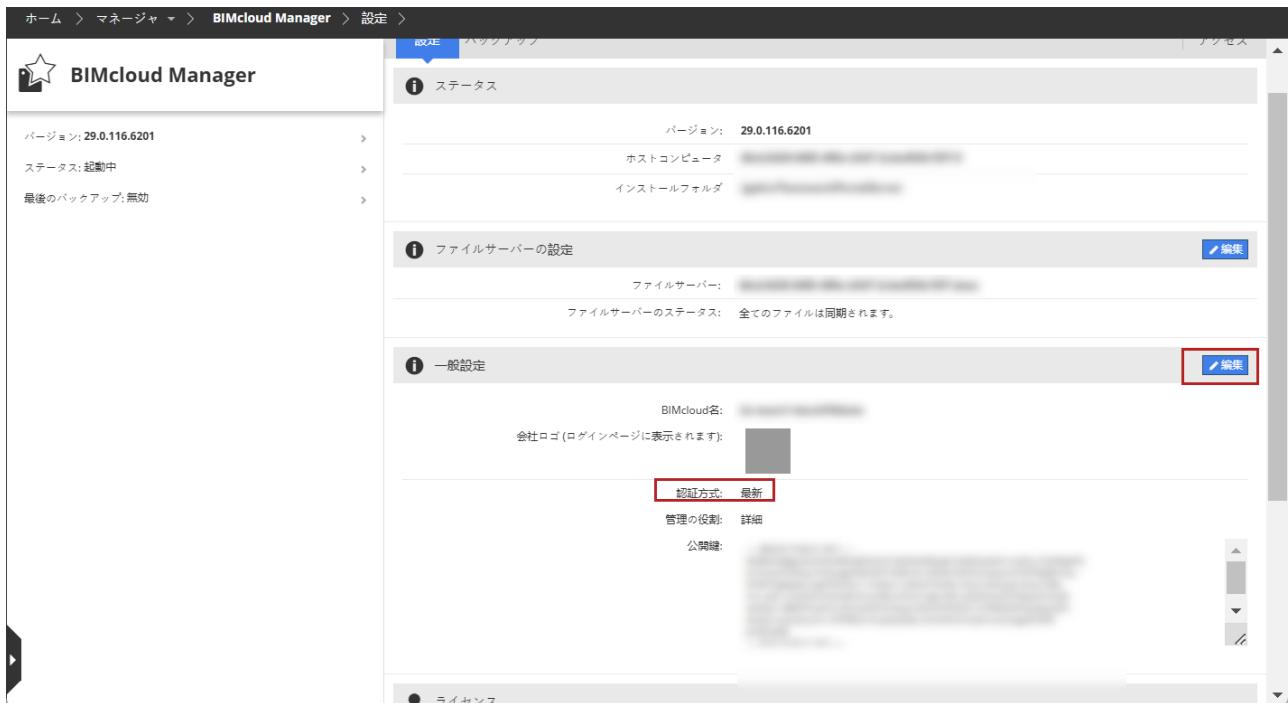
旧バージョンのArchicad及びDDScadでの作業

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

デフォルトでは、BIMcloudはArchicad 27以降及びDDScad 19以降のプロジェクトをサポートしています。これらのアプリケーションは、モダン認証を使用しています。

旧バージョンのプロジェクトでも作業したい場合は、BIMcloud Managerの設定で「レガシー認証」をオンにします。

1. BIMcloud Managerを開きます。
2. Managerのページに移動します。
3. 設定タブの一般設定で編集をクリックします。



4. レガシーを有効にして、保存をクリックします。



「レガシー」と「最新」認証とは何ですか？

認証技術は、システム（BIMcloudなど）が、ユーザーの認証情報が認証ユーザーのデータベース内の認証情報と一致するかどうかを確認するために使用されます。

BIMcloudが旧バージョンのArchicadおよびDDScadに接続できるようにするには、レガシー認証を有効にします。BIMcloudがこれまでに使用してきたのと同じ、安全な方式です。しかし、そのセキュリティレベルはもはや更新されていません。以前のバージョンのプロジェクトに接続する場合、プロトコルは「最新」方式ほど最新ではありません。

BIMcloudからレガシー認証を使用している場合、古いバージョンのアプリで作業しているユーザーは、多要素認証を有効にしているとログインできません。たとえば、Archicad 25で作業するユーザーは、チームワークプロジェクトにログインする前に、Graphisoft IDプロファイルで多要素認証を無効にする必要があります。

方法	レガシー	最新
セキュリティレベル	古いバージョンのプロジェクトの場合は現状のまま（セキュリティプロトコルは更新されません）。	最新のセキュリティ・プロトコル
互換性	全て:サポートされているArchicadおよびDDScadのバージョン全て	制限あり:Archicad 27 以上 DDScad 19 以上
多要素認証	多要素認証を有効化したユーザーは、多要素認証をサポートしていないアプリにログインできません。	対応する全てのアプリで多要素認証を利用できます。
推奨事項	BIMcloudで古いバージョンのプロジェクトの使用を続ける（新規プロジェクトも同様）	BIMcloud上では最新バージョンのプロジェクトを使用

認証方法の切り替え

いつでも切り替えられます。

レガシーから最新に変更するということは、限られた互換性に変更するということです。その結果、レガシー認証方式を使用するアプリケーションはBIMcloudから切断されます。

BIMcloudのデータが失われることはありません。古いプロジェクトに再接続する場合は、いつでもレガシー認証に変更できます。

親トピック: [クラウドライセンスのBIMcloud SaaS](#)

BIMcloud Managerのライセンス管理（キーベースのライセンス）

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

従来のBIMcloud SaaSライセンス設定を（クラウドライセンスの代わりに）行っている場合は、BIMcloud Managerでライセンスを管理します。

ライセンスタイプ

- **自動（「フローティング」）ライセンス**：ユーザーがチームワークまたはその他のBIMcloud機能で作業を行うためにライセンスが必要になったときに、ライセンスプールから各ユーザーにライセンスが自動的に割り当てられます（「フローティング」）。ユーザーはチームワークプロジェクトを離れるまでこのBIMcloudライセンスを使用します。
- **ライセンスを手動で割り当て**：ローカルのBIMcloud上で手動でライセンスを割り当てます。このライセンスは、ユーザーがBIMcloudの全てのプロジェクトを閉じても、何らかの理由でオフラインになっても、永続的にユーザーに割り当てられたままになります。

管理者は、ユーザーに手動で割り当てたライセンスをBIMcloud Manager（[ユーザーとグループ]ページの[設定]パネルまたは[サーバー]ページの[BIMcloud Manager]-[設定]パネル）で無効にすることができます。可能な場合はこのユーザーに自動ライセンスが確保されます。

ユーザーのページでは、ライセンスタイプ別にユーザーリストをフィルタリングできます：[ユーザーリストのフィルタ](#)を参照してください。

ライセンス管理の場所

BIMcloud Managerでライセンスを割り当てる/取り消し/変更するには、以下のページを使用します：

- ユーザーとグループのページ - ユーザー設定



- Managerページ - ライセンスパネル

The screenshot shows the BIMcloud Manager software interface. At the top, there is a navigation bar with a bell icon and the text 'bc-team1-license2 - BIMcloud Software as a Service'. Below the navigation bar, the path 'ホーム > BIMcloud Manager > ライセンス >' is displayed. On the left, a sidebar shows a star icon and the text 'BIMcloud Manager'. The version 'バージョン: 28.0.117.4906' and status 'ステータス: 起動中' are also shown. The main content area is divided into two sections: 'BIMcloud ユーザーライセンス' and '他のオンラインユーザー'. The 'BIMcloud ユーザーライセンス' section shows a table with three rows of data. The columns are 'ユーザー' (User), 'オンライン...' (Online...), 'ステータス' (Status), '割り当て済み' (Assigned), '最終活動日' (Last Activity Date), and '参加済みチームワークプロジェクト' (Joined Teamwork Project). The data rows are: 'Test Free User1 (オフライン)' with status 'OK', 'Test Free User2 (オフライン)' with status 'OK', and 'User1 (オンライン)' with status 'OK'. The '他のオンラインユーザー' section shows a table with one row of data. The columns are 'ユーザー' (User), 'オンライン...' (Online...), '最終活動日' (Last Activity Date), and '参加済みチームワークプロジェクト' (Joined Teamwork Project). The data row is: 'Graphisoft IDに接続されたライセンスを使用しているユーザーはいません' (No user connected to the license is using it). There are also search and filter icons throughout the interface.

Graphisoft IDユーザーには、追加のライセンスオプションが使用可能です。 「[Graphisoft IDユーザー向けライセンスオプションの追加（キーベースのライセンス）](#)」を参照してください。

コミュニティの記事も参照ください。 [BIMcloud SaaSのライセンス](#)。

ライセンスの割り当てまたは取り消し(キーベースのライセンス)

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

Graphisoft IDユーザー向けライセンスオプションの追加（キーベースのライセンス）

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

クラウドライセンスへの切り替え

プロジェクトとユーザーをクラウドベースのライセンシングへ移行

親トピック: BIMcloud Software as a Serviceのライセンス

ライセンスの割り当てまたは取り消し(キーベースのライセンス)

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

1. BIMcloud Managerの[Manager]ページを開きます。
2. [ライセンス]タブで、ライセンスとユーザーのステータスを表示します。



The screenshot shows the BIMcloud Manager interface with the 'Licenses' tab selected. The page displays two sections: 'BIMcloud ユーザーライセンス' (User Licenses) and '他のオンラインユーザ' (Other Online Users).

BIMcloud ユーザーライセンス

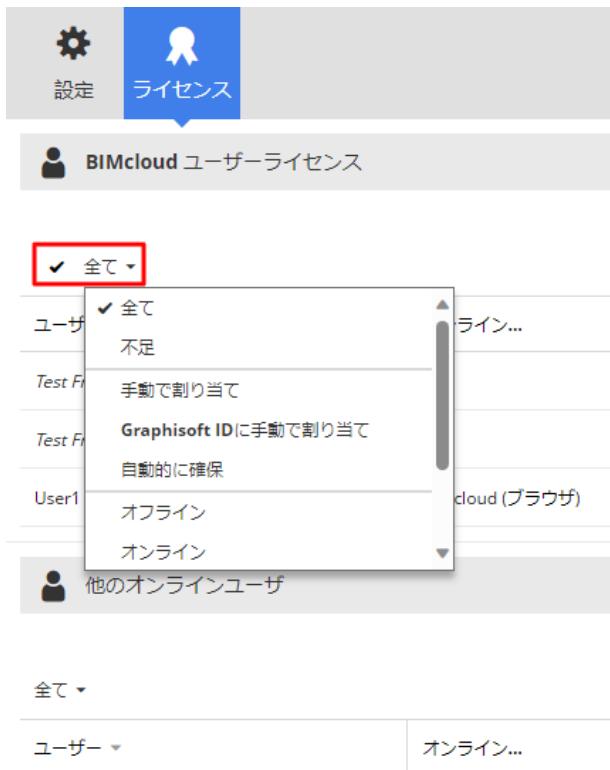
ユーザー	オンライン...	ステータス	割り当て済み	最終活動日	参加済みチームワークプロジェクト
Test Free User1 (オフライン)	-	OK	手動	2024-01-18 11:18	0
Test Free User2 (オフライン)	-	OK	手動	2024-01-18 11:21	0
User1 (オンライン)	BIMcloud (ブラウザ)	OK	自動	2024-01-18 12:28	0

他のオンラインユーザ

ユーザー	オンライン...	最終活動日	参加済みチームワークプロジェクト

BIMcloud ユーザーライセンス

プールからライセンスを現在使用しているユーザーをリストします。必要に応じて、フィルタを使用して特定のライセンスタイプのみ表示できます。



The screenshot shows the 'License' tab selected in the top navigation bar. A dropdown menu is open under the 'User' section, with the 'All' option checked. The menu includes options for 'Assign' and 'Insufficient' licenses, and dropdowns for 'Manual Assignment' and 'Automatic Assignment' based on 'Graphisoft ID' or 'Ensure'.

ライセンスを管理するユーザーのリスト行を選択します。

複数の行を選択して編集するには、フィルタの左側にある矢印アイコンをクリックします。



The screenshot shows the 'License' tab selected. A list of users assigned licenses is displayed, with two users selected: 'Balint Csenge (オンライン)' and 'Balint Reka (オンライン)'. The table includes columns for User, Status, Activation, Last Activity, and Workspaces.

ユーザー	オンライン...	ステータス	確保済	最終活動日	参加しているチームワークプロジェクト
<input checked="" type="checkbox"/> Balint Csenge (オンライン)	Archicad	OK	自動	2022-02-13 12:57	0
<input checked="" type="checkbox"/> Balint Reka (オンライン)	Archicad BIMcloud (ブラウザ)	OK	自動	2022-02-13 12:57	2

ライセンス管理コマンド

ライセンスを割り当てる

ユーザーにライセンスを手動で割り当てます。このライセンスは、ユーザーがBIMcloudの全てのプロジェクトを閉じても、何らかの理由でオフラインになっても、永続的にユーザーに割り当てられたままになります。

ライセンスを無効にする

管理者は、手動で割り当てたライセンスを無効にすることができます。

ユーザーのリスト行を選択して[無効にする]ボタンをクリックします。可能な場合、自動ライセンスが割り当てられます。

ライセンスを変更

同時に1人のGSIDユーザーのライセンスを変更します（複数選択はできません）。

他のオンラインユーザー

BIMcloudで作業しているユーザーの中で、他のBIMcloudからのライセンスを使用しているユーザーをリストします。これらのユーザーはBIMcloudのライセンスプールからのライセンスを確保していません。

Graphisoftコミュニティの記事も参照してください: [「BIMcloud as a Serviceでライセンスを割り当て」](#)

ライセンスの欠落

ユーザーのライセンスに「欠落」ステータスが表示される場合、BIMcloudライセンスのサブスクリプションがキャンセルされたか期限が終了した可能性があります。サブスクリプションを更新するか、追加ライセンスを購入してください。

ライセンスが再度有効になったら、GSIDユーザーがライセンスを使用できることを確認し、必要に応じて手動で割り当てます。

親トピック: [BIMcloud Managerのライセンス管理 \(キーベースのライセンス\)](#)

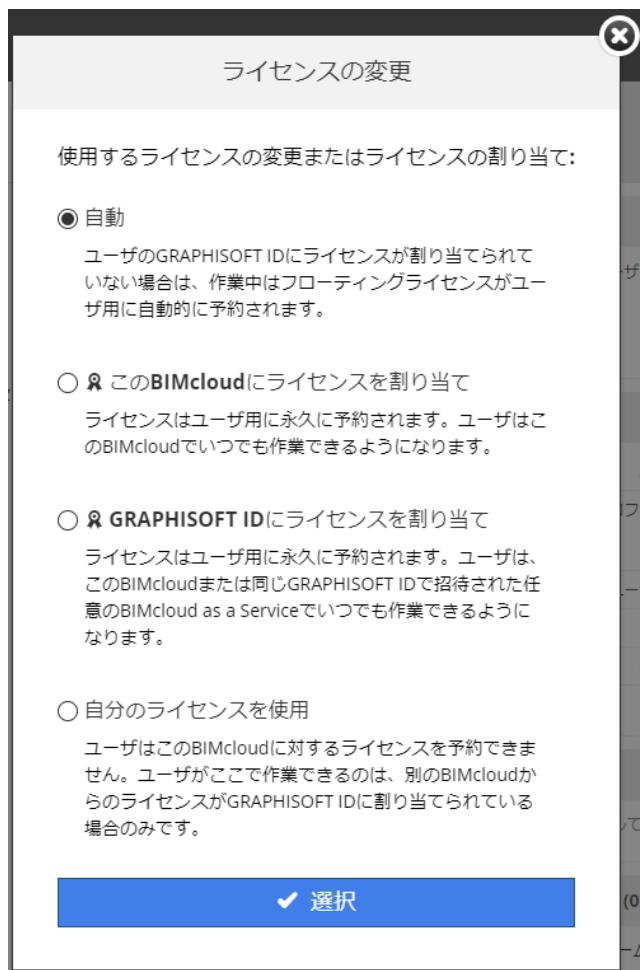
Graphisoft IDユーザー向けライセンスオプションの追加 (キーベースのライセンス)

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

1. BIMcloud Managerの[ユーザーとグループ]ページを開きます。
2. リストからユーザーを選択します。
3. ユーザー設定のライセンスパネルで、[変更]をクリックします。

注: このコマンドは、GSIDを介して接続されたBIMcloudユーザーに対してのみ使用できます。

4. 望ましいライセンスタイプを選択し、[選択]をクリックします。



- **Graphisoft IDにライセンスを割り当てる:** ライセンスはこのユーザー用に永続的に確保されます。このライセンスにより、ユーザーは招待された BIMcloud Software as a Service テナントで作業することができます。（これは手動で割り当てるライセンスに似ていますが、Graphisoft IDを介して割り当てる場合、ユーザーは1つのライセンスで同時に2つのBIMcloud Software as a Services プラットフォーム上で作業できます）。そのため、複数のプロジェクトやBIMcloudで共同作業しているオフィスでは、各ユーザーが2つのライセンスを消費しません。
- **自分のライセンスを使用:** 自分のライセンスを使用: このユーザーはBIMcloudのライセンスを使用できません。このユーザーは自分のライセンス、つまり別のBIMcloudから「自分のライセンスを持ち込む」場合のみ、ここで作業できます。これにより、別のテナントからライセンスをすでに取得しているユーザーのためにライセンスを消費しません。

注: Graphisoft Storeのサブスクリプションプロセスの一部として、ユーザーが「BIMcloud管理者」に指定された場合、「自分のライセンスを持ち込む」オプションは利用できません。このようなユーザーは、「自動」ライセンスを取得します。

Graphisoftコミュニティの記事：[「BIMcloud as a Serviceでライセンスを割り当て」](#)も参照してください。

自分のライセンスを使用（キーベースのライセンス）

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

親トピック: [BIMcloud Managerのライセンス管理（キーベースのライセンス）](#)

自分のライセンスを使用（キーベースのライセンス）

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

「自分のライセンスを使用」を使用して、キーベースのライセンスのBIMcloud SaaSを使用するカンパニー間の協力を促進します。

注: クラウドライセンスのBIMcloud SaaSをお持ちですか？[ポータブルライセンスのゲストユーザーをご覧ください。](#)

カンパニーAとカンパニーBは共同作業を行っており、お互いのBIMcloud Software as a Serviceで作業しています。各ユーザーに1つのライセンスを購入すると、ユーザーは両方のBIMcloudで作業できます。

1. GSIDを使用して全てのユーザーを会社Aに追加します（GSIDユーザーを招待）。
2. GSIDを使用して全てのユーザーを会社Bに追加します（GSIDユーザーを招待）。
3. 会社AのBIM Managerは、[Graphisoft IDにライセンスを割り当て]オプションを使用して自社の同僚にライセンスを付与します。
4. 会社AのBIM Managerは、会社Bの共同作業者にはライセンスを付与しません。代わりに、これらのユーザーには[自分のライセンスを使用]オプションを選択します。
5. 会社BのBIM Managerは、[Graphisoft IDにライセンスを割り当て]オプションを使用して自社の同僚にライセンスを付与します。
6. 会社BのBIM Managerは、会社Aの共同作業者にはライセンスを付与しません。代わりに、これらのユーザーには[自分のライセンスを使用]オプションを選択します。

このようにして、会社Aでは会社Aの同僚にのみライセンスを付与し、会社Bでは会社Bの同僚にのみライセンスを付与します。

Graphisoftコミュニティの記事も参照してください: [「BIMcloud as a Serviceでライセンスを割り当て」](#)

親トピック: [Graphisoft IDユーザー向けライセンスオプションの追加（キーベースのライセンス）](#)

クラウドライセンスへの切り替え

プロジェクトとユーザーをクラウドベースのライセンシングへ移行

切り替えると何が変わりますか？

GraphisoftのレガシーウェブショップでBIMcloudを購入されたお客様は、新しいウェブショップに移動されます。新しいセットアップでは：

- ・ユーザーとクラウドライセンスの管理は、（BIMcloudインターフェイスではなく）カンパニーアカウントで行います。
- ・サブスクリプションは新しいウェブショップで管理されます。

このプロセスでは、BIMcloudを新しいウェブショップに再リンクします。Graphisoftサポートがこのプロセスをお手伝いします。

一方、BIMcloud Managerでは、これらの今後の変更について警告が表示されます。BIMcloud Managerのプロジェクトとユーザーのページで、何が必要かを確認してください。



プロジェクトのページを確認：レガシープロジェクトの移行

クラウドライセンスのBIMcloud SaaSは、バージョン22以降のチームワークプロジェクトのみをサポートします。したがって、BIMcloudを新しいウェブショップに再リンクする前に、全ての古いチームワークプロジェクトをArchicad 22以降に移行してください。

BIMcloud Managerで、プロジェクトページを確認します。レガシーチームワークプロジェクトには赤いアイコンが表示されます。

BIMcloudの再リンク後もこのプロジェクトが必要な場合は、Archicad 22以降に移行してください。

プロジェクトで作業する必要がなくなった場合は、BIMcloudから削除するか、アーカイブ目的で別の場所に保存できます。

移行が必要なレガシープロジェクトだけを表示するには、プロジェクトリストをフィルタリングします：

ユーザーのページを確認：BIMcloudユーザーの移行

クラウドライセンスのBIMcloud SaaSに切り替えた後は、（BIMcloudインターフェースではなく）カンパニーアカウントでユーザーとクラウドライセンスを管理します。

この準備のために、BIMcloud Managerにアクセスし、ユーザーのページを確認します。まだ移行しなければならないユーザーは、赤いアイコンでマークされています。

The screenshot shows the user management interface for BIMcloud Software as a Service. On the left, a sidebar lists users and groups. The main area shows a user profile for 'DS Test User1' with a warning icon. The 'ライセンス' (License) section indicates '未使用(自動)' (Not used (Automatic)). A red box highlights the 'メンバーアカウントを招待する' (Invite member account) button. A red arrow points to this button. The 'ユーザー設定' (User Settings) section shows the 'ステータス' (Status) as 'Graphisoft ID接続済み' (Connected to Graphisoft ID), which is also highlighted with a red box. The 'GSID' column for this user is also highlighted with a red box.

- 全てのBIMcloudユーザーは、Graphisoftアカウント（GSID）に接続する必要があります。まだ接続していないユーザー：「ユーザーをGSIDに接続」をクリックします。
- 既存のBIMcloudユーザーをGraphisoft IDに接続を参照してください。
- 全てのBIMcloudユーザーをカンパニーアカウントのメンバーに招待する必要があります。まだメンバーではないユーザー：「メンバーを招待」をクリックして、Graphisoftカンパニーのアカウントを開き、招待を送信してください。

ユーザーリストをフィルタリングして、問題のある全てのユーザーを表示します：

The screenshot shows the user list filtering interface. A red box highlights the 'Graphisoft IDユーザー' (Graphisoft ID users) filter option in the dropdown menu. Below it, other filter options like 'ユーザー' (User), '管理者' (Administrator), 'チームワークプロジェクトに参加したユーザー' (User who participated in a team work project), 'グループ' (Group), 'BIMcloudユーザーライセンスの利用' (Use of BIMcloud user license), '自動BIMcloudユーザーライセンスの利用' (Use of automatic BIMcloud user license), and '割り当てBIMcloudユーザーライセンスの利用' (Use of assigned BIMcloud user license) are listed.

親トピック: [BIMcloud Managerのライセンス管理（キーベースのライセンス）](#)

BIMcloud Managerでの作業

BIMcloud Managerの概要

このWebインターフェースは、BIMcloudの管理をするためのコントロールセンターです。サーバー管理者はこれを使用して、BIMcloudに関連する全てのタスクを管理できます。管理者以外のユーザーは、BIMcloud Managerにアクセスして自身の設定を確認したり、現在作業中のプロジェクトに関する情報を取得したりできます。

BIMcloud Managerを開く

ブラウザでBIMcloud Managerインターフェースにアクセスします。

BIMcloudからのクイックリンク

ナビゲーション、言語の変更、通知表示のクイックコントロール

BIMcloudコンテンツの表示、フィルタリング、検索

探している項目を検索

選択された項目のクイック情報

選択したBIMcloudコンテンツ項目の主要情報を取得

設定の継承

上位の設定は下位の項目に継承

BIMcloudアクティビティの監視

プロジェクト、ユーザー、サーバーで起きていることを追跡します。

BIMcloud Managerを開く

ブラウザでBIMcloud Managerインターフェースにアクセスします。

BIMcloud ManagerのWebインターフェイスは、BIMcloudにネットワークアクセス可能などのコンピュータからでも開くことができます。以下のいずれかの操作を実行します：

- ブラウザで、Archicadで使用するものと同じURLに移動します
- BIMcloudトレイアプリケーションから、[BIMcloud Manager]をクリックしてから、コンテキストメニューの[BIMcloud Managerを開く]コマンドをクリックします
- Archicadチームワークプロジェクトから、[チームワーク]→[プロジェクト]→[BIMcloud Managerを開く]を使用します

注: BIMcloudのパスワード

- **GSID経由でBIMcloudに接続するユーザー**は、GSIDページでパスワードを管理します。
- **BIMcloud上のローカルユーザーの場合 (非GSID)**：
 - パスワードは12文字以上である必要があります
 - パスワードには、以下の各項目のうち少なくとも1つが含まれている必要があります:
 - アルファベットの小文字
 - アルファベットの大文字
 - 数字
 - 以下のリストにある特殊文字:
 - .. ! # \$ % & ' * + = ? ^ _ ` { | } ~ -

表示されるホームページには、BIMcloudコンテンツタイプへのショートカットが用意されています((使用可能なショートカットは権限によって異なります):



- プロジェクト
- ユーザーとグループ
- 役割

- マイタグ
- マネージャ
- ダッシュボード（デフォルトではサーバー管理者の場合に表示）

親トピック: [BIMcloud Managerでの作業](#)

BIMcloudからのクイックリンク

ナビゲーション、言語の変更、通知表示のクイックコントロール

言語の変更、ログアウト

ヘッダーの右側には、ユーザーのアバターと名前、およびポップアップがあります。

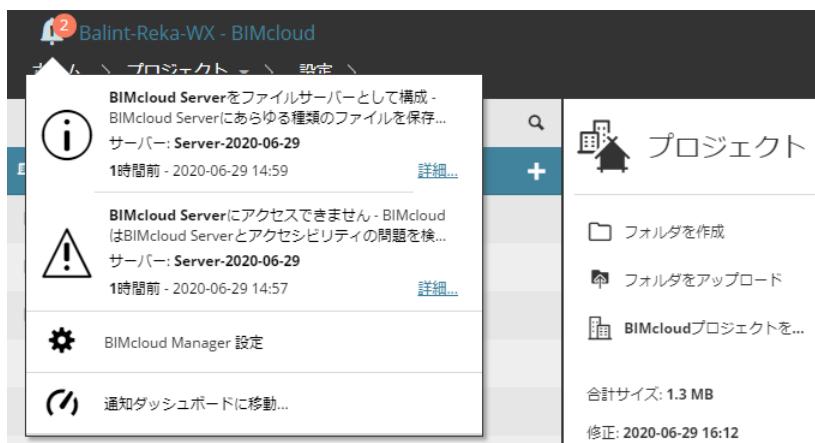


- ・ [ユーザー設定]を選択すると、ユーザー専用ページが表示されます。
- ・ [言語の変更]は、Webインターフェースの言語に影響します。（ここで行った言語の変更が他のユーザーに影響することはありません。変更したユーザー個人の設定となります）。
- ・ ログアウト

右端のヘルプリンクをクリックすると、BIMcloudのヘルプが表示されます。

通知

ヘッダーには、BIMcloudに関する通知と各種設定のショートカットが含まれています。



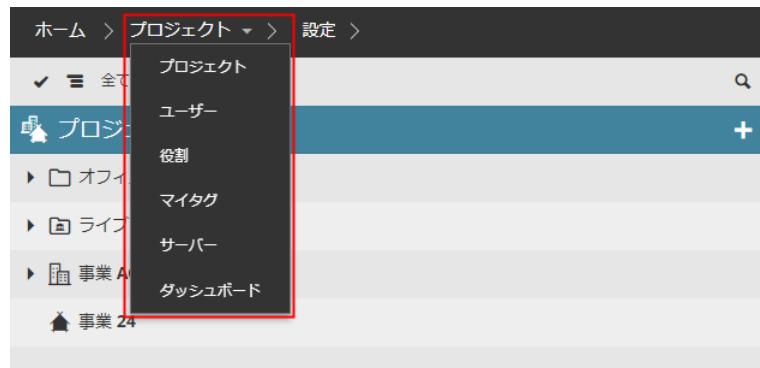
以下のクイック情報にはポップアップが使用されます：

- ・ 現在実行中のジョブ
- ・ BIMcloudに関する警告と情報
- ・ BIMcloud Managerの設定へのショートカット

注: このポップアップの内容は、ユーザーが持つアクセス権によって異なります。

BIMcloudコンテンツページ間の切り替え

ブレッドクラム内のポップアップを使用すると、各種コンテンツをすばやく切り替えることができます。



親トピック: [BIMcloud Managerでの作業](#)

BIMcloudコンテンツの表示、フィルタリング、検索

探している項目を検索

ナビゲータは、現在選択されているコンテンツタイプの全ての要素を一覧表示します（プロジェクトなど）。

ナビゲータには各コンテンツタイプのルート項目が含まれ、これはフォルダとして機能します。



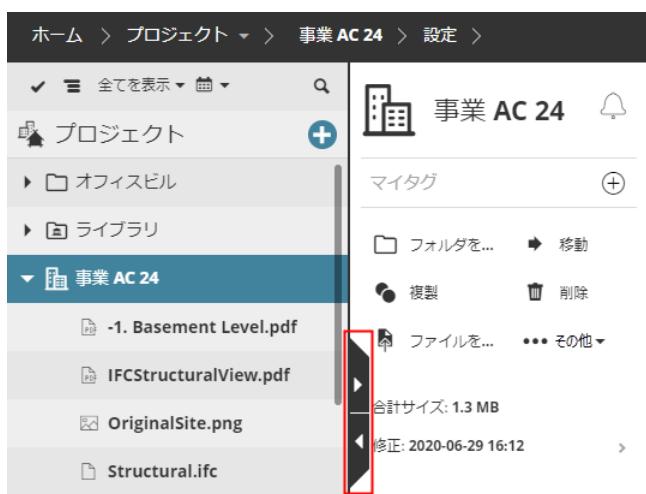
要素を選択して詳細情報を表示するには、その要素をクリックしてください。

注: 権限によって、表示されるコンテンツとコマンドは異なります。

表形式での項目の表示とソート

表（展開）形式に切り替えるには、ナビゲータの右側にある矢印を使用します。

注: 小型画面では表のレイアウトは使用できません。



また、必要な情報を見つけるために、列をソートすることも可能です。

例えば、プロジェクト表ではサイズ、最終修正日、ホストサーバーで並べ替えることができます。

The screenshot shows the BIMcloud Manager interface. At the top, the navigation bar includes the user profile 'Balint Reka-WX - BIMcloud' and a help icon. Below the navigation bar, the breadcrumb path is 'ホーム > プロジェクト > 事業 AC 24 > 設定 >'. The main content area displays a table of project files. The table has columns for Name, Version, Size, Last Snapshot, Last Modified, and Host Server. The table shows the following data:

名前	バージョン	サイズ	最後のスナ...	修正	ホストサーバー
オフィスビル			2020-06-29 1...		
ライブラリ			2020-06-29 1...		
事業 AC 24	1.3 MB	2020-06-29 1...			
-1. Basement Level.pdf	345.8 kB	2020-06-29 1...	Server-2020-06-29		
IFCStructuralView.pdf	168.3 kB	2020-06-29 1...	Server-2020-06-29		
OriginalSite.png	693.6 kB	2020-06-29 1...	Server-2020-06-29		
Structural.ifc	59.3 kB	2020-06-29 1...	Server-2020-06-29		

On the right side of the table, there is a context menu with options: フォルダを... (Folder to...), 移動 (Move), 複製 (Copy), 削除 (Delete), ファイルを... (File to...), その他... (More...), 合計サイズ: 1.3 MB (Total size: 1.3 MB), and 修正: 2020-06-29 16:12 (Last modified: 2020-06-29 16:12).

サーバー表では、最後のバックアップ、またはアクティブユーザー数でソートします。

ツリービューまたはフラットリスト

[プロジェクト]および[サーバー]ページで、階層ツリービューまたはフラットリストで項目を表示します。

The screenshot shows the BIMcloud Manager interface. The navigation bar includes the user profile 'Balint Reka-WX - BIMcloud' and a help icon. The breadcrumb path is 'ホーム > プロジェクト > 事業 AC 24 > 設定 >'. The main content area displays a list of project items. The list view is selected, indicated by a red box around the 'ツリービュー' (Tree View) option in the navigation bar. The list includes:

- オフィスビル
- ライブラリ
- 事業 AC 24**
- 事業 24

[役割]、[ユーザー]、[タグ]の各ページでは、フラットリストのみを使用します。

ナビゲータでの項目の選択/複数選択

- 要素をクリックして選択します。
- 複数選択: リストの左上にあるチェックマークアイコンをクリックし、複数選択を有効にします。

2 選択済み

マイタグ (+)

ファイルをダウンロード 移動 削除

すべて表示 全ての選択を解除

プロジェクト

すべて選択 全ての選択を解除

オフィスビル ライブラリ

事業 AC 24

- 1. Basement Level.pdf
- IFCStructuralView.pdf
- OriginalSite.png
- Structural.ifc
- Zones_REV.pdf
- デモプロジェクト 24

事業 24

項目をフィルタ

[プロジェクト]および[ユーザー]ページでは、フィルタを使用して表示項目を絞り込むことができます。

ホーム > プロジェクト > 設定 >

プロジェクト

全てを表示

BIMcloudプロジェクト

チームワークプロジェクト

BIMx Hyper-model

ライブラリ

フォルダ

ファイル

項目を検索

検索アイコンをクリックしてテキストを入力してからEnterキーを押します。

ホーム > 役割 > 準設 > 設定 >

役割

準設

準設計担当者

検索をキャンセルするには、[X]をクリックします。

検索結果は、常にフラットリストで表示されます。

フォルダにフォーカス ([プロジェクト]ページ)

フォルダ項目のフォーカスアイコンをクリックし、表示項目をフォルダの子要素に制限します。

フィルタポップアップは変化し、フィルタは階層でフォーカスされたブランチのみに適用されます。

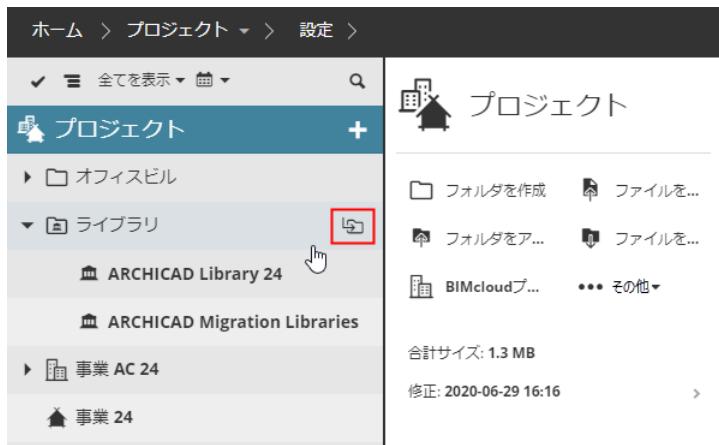


図 1. フォルダ項目にフォーカス

日付でフィルタ ([プロジェクト]ページ)

BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページにあるリストビューで、次のように操作してください:
カレンダーをクリックし、最終変更日によってリストをフィルタする日数範囲を設定します。

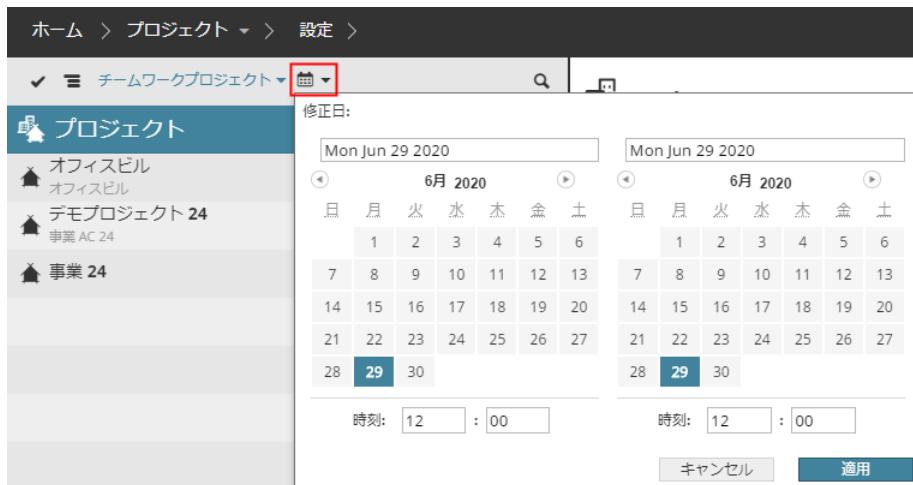


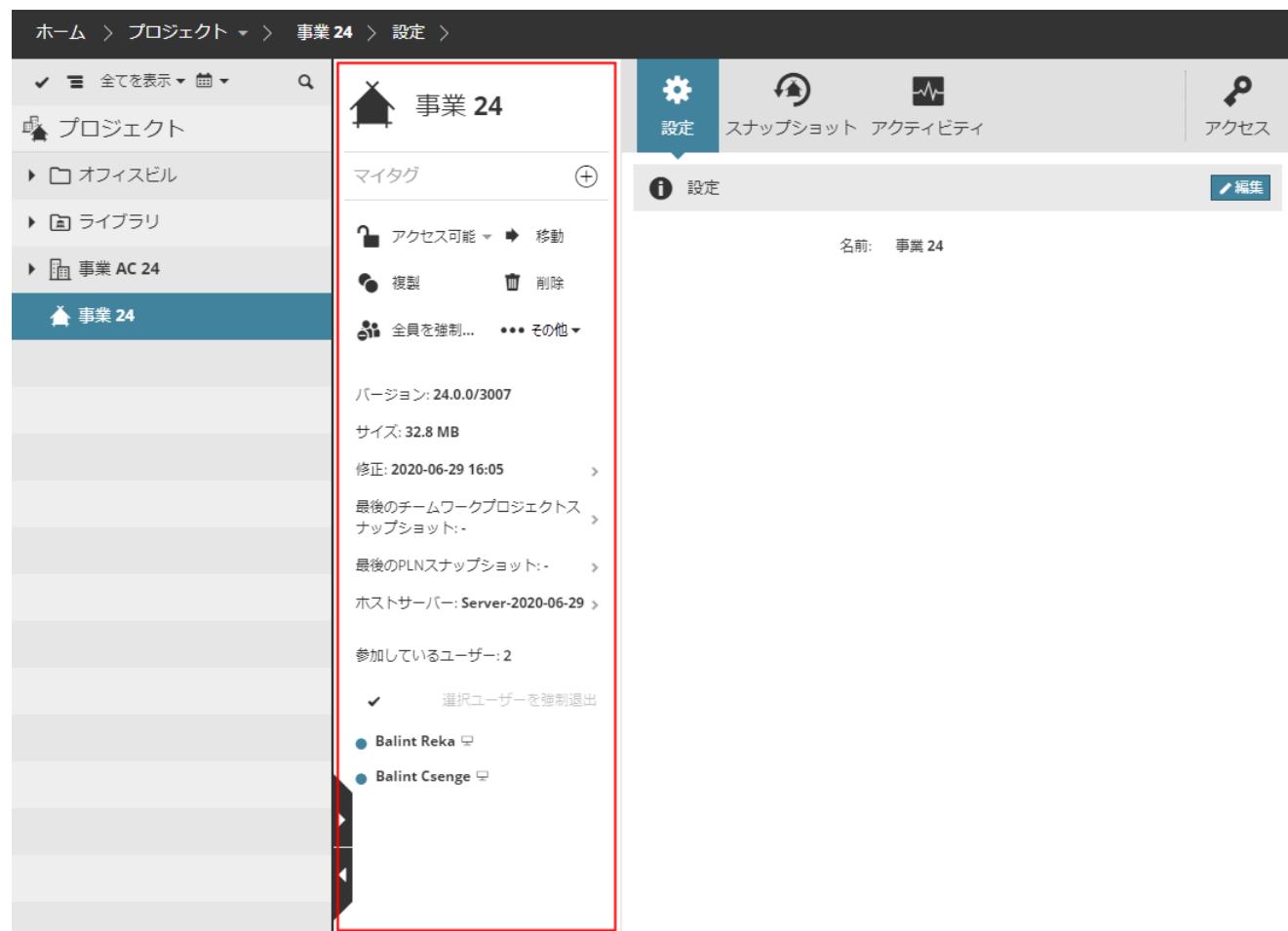
図 2. プロジェクト項目を変更日でフィルタします。

親トピック: [BIMcloud Managerでの作業](#)

選択された項目のクイック情報

選択したBIMcloudコンテンツ項目の主要情報を取得

BIMcloud Managerで項目を選択すると、概要セクションにクイック情報と関連機能が表示されます。



The screenshot shows the BIMcloud Manager interface with the following details:

- Breadcrumb:** ホーム > プロジェクト > 事業 24 > 設定 >
- Left Sidebar:** プロジェクト (オフィスビル, ライブライ, 事業 AC 24, 事業 24)
- Selected Project:** 事業 24 (with a red box around it)
- Project Overview:**
 - マイタグ
 - アクセス可能 (移動)
 - 複製
 - 削除
 - 全員を強制...
 - その他...
- Project Details:**
 - バージョン: 24.0.0/3007
 - サイズ: 32.8 MB
 - 修正: 2020-06-29 16:05
 - 最後のチームワークプロジェクトスナップショット: -
 - 最後のPLNスナップショット: -
 - ホストサーバー: Server-2020-06-29
- Participants:** 参加しているユーザー: 2
 - Balint Reka
 - Balint Csenge

Top Right: 設定 (selected), スナップショット, アクティビティ, アクセス, 編集

Bottom Right: 名前: 事業 24

 事業 24

発行予定  

 アクセス可能   移動

 複製  削除

 全員を強制...  その他 

バージョン: 24.0.0/3007

サイズ: 32.8 MB

修正: 2020-06-29 16:05 

最後のチームワークプロジェクトス
ナップショット: - 

最後のPLNスナップショット: - 

ホストサーバー: Server-2020-06-29 

参加しているユーザー: 2

   指定ユーザーを強制退出

 Balint Reka 

 Balint Csenge 



事業 24

発行予定 ▼ (+)

アクセス可能 ➡ 移動

検索 ➡ 削除

全員を強制... ➡ その他...

バージョン: 24.0.0/3007

サイズ: 32.8 MB

修正: 2020-06-29 16:05 ➡

最後のチームワークプロジェクトスナップショット: - ➡

最後のPLNスナップショット: - ➡

ホストサーバー: Server-2020-06-29 ➡

参加しているユーザー: 2

選択ユーザーを強制退出

Balint Reka ➡

Balint Csenge ➡



事業 24

発行予定  

■ アクセス可能   移動

● 複製  削除

● 全員を強制...  その他 

バージョン: 24.0.0/3007

サイズ: 32.8 MB

修正: 2020-06-29 16:05 

最後のチームワークプロジェクトスナップショット: - 

最後のPLNスナップショット: - 

ホストサーバー: Server-2020-06-29 

参加しているユーザー: 2

✓ 選択ユーザーを強制退出

● Balint Reka 

● Balint Csenge 



事業 24

発行予定  

■ アクセス可能   移動

● 複製  削除

● 全員を強制...  その他 

バージョン: 24.0.0/3007

サイズ: 32.8 MB

修正: 2020-06-29 16:05 

最後のチームワークプロジェクトスナップショット: - 

最後のPLNスナップショット: - 

ホストサーバー: Server-2020-06-29 

参加しているユーザー: 2

✓ 選択ユーザーを強制退出

● Balint Reka 

● Balint Csenge 



- ・名前
- ・タグ（プロジェクトページのみ）：項目に割り当てられたタグと関連するコマンド

- ・コンテンツタイプに応じた機能
- ・クイック情報:複数の行で表示されます。行の大部分は、詳細情報を確認できるページへのリンク機能も果たします。リンク項目の詳細を表示するアクセス権がない場合、リンクはブロックされます。
- ・参加しているユーザー/プロジェクト：
 - ユーザーが選択されている場合（ユーザーページのみ）：ユーザーが参加しているプロジェクト。
 - プロジェクトが選択されている場合（プロジェクトページのみ）：そのプロジェクトに参加しているユーザー。

親トピック: [BIMcloud Managerでの作業](#)

設定の継承

上位の設定は下位の項目に継承

BIMcloudでは、項目を階層に整理して、より上位の設定を適用することで、項目のグループに汎用ルールを設定できます：階層が下位の項目は上位の項目から設定を継承します。

例えば、プロジェクトルートの設定は、デフォルトでは全てのチームワークプロジェクトに継承されます。

必要なアクセス権がある場合は、継承される設定を下位レベルで上書きすることもできます。

注: 階層に整理できないコンテンツもあります。このような場合（ユーザー、役割など）は、ルート項目とその他の全ての項目間にのみ階層が存在します。これらのコンテンツでも、ルートに適用される設定は、全てのサブ項目に継承されます。

親トピック: [BIMcloud Managerでの作業](#)

BIMcloud アクティビティの監視

プロジェクト、ユーザー、サーバーで起きていることを追跡します。

[アクティビティ] パネルで以下の監視を有効にすることができます：

- ・ プロジェクト、プロジェクトフォルダ
- ・ ユーザー、グループ

使用可能なフィルタと列は、コンテンツタイプによって異なります。

アクティビティデータのフィルタ

ユーザー	時刻
server	2025-09-04 13:36
BCTest Simple1 Home	2025-09-04 10:15
BCTest Simple1 Home	2025-09-04 10:15
BCTest Simple1 Home	2025-09-04 10:15
BCTest Simple1 Home	2025-09-04 10:14
BCTest Simple1 Home	2025-09-04 10:13

- ・ **アクティビティタイプ**: 情報を表示する1つまたは複数のアクティビティタイプを選択します
- ・ **サイズ**: データイベントのサイズ別にアクティビティをフィルタリングします
- ・ **ユーザー**: ポップアップリストからユーザーを選択すると、そのユーザーのアクティビティのみが表示されます
- ・ **プロジェクト**: ポップアップリストからプロジェクトを選択すると、関連アクティビティのみが表示されます
- ・ **範囲**: 表示されるアクティビティのリストを制限します。過去50件のイベントをリストアップしたり、特定の日付/時間範囲のイベントをリストアップしたりできます。(最大日付範囲: 過去30日間)
- ・ **検索**: 検索するテキストを入力します。

さらに読み込む/全て読み込む: リストに一部の考えられる要素が含まれていない場合は、下部にあるこれらのボタンを使用してリストを展開します。

フィルタが設定されている場合、列名が青色で表示されます。フィルタをキャンセルするには、そのオプションから再度全てを選択します。

下部の「全てエクスポート」をクリックすると、全てのエントリがCSV形式でブラウザのダウンロードフォルダにダウンロードされます。(最大エクスポートサイズ: 100,000行)

注:

アクティビティデータの量によっては、エクスポート処理に1分以上かかる場合があります。

親トピック: [BIMcloud Managerでの作業](#)

BIMcloudユーザーの管理

ユーザーとグループの整理および管理

BIMcloud Managerの[ユーザーとグループ]ページでは、ユーザーリストの表示とフィルタリング、およびユーザー グループの作成ができます。使用できる機能は、ナビゲータでの選択内容（ユーザーまたはユーザーグループ）により異なります。

クラウドライセンスのBIMcloudでは、各ユーザーが自分のプロファイル及びライセンスを管理することもできます。

注: キーベースのライセンスでBIMcloud SaaSをご利用の場合は、BIMcloud Managerから直接ユーザーを管理できます。 「[ユーザーの追加（キーベースのライセンス）](#)」を参照してください。

ユーザーの追加/削除

クラウドライセンスのBIMcloud SaaS

ユーザーリストのフィルタ

ユーザーリストのフィルタおよびソート

ポータブルライセンスのゲストユーザー

クラウドライセンスのBIMcloud SaaS

ユーザーグループを作成

BIMcloudのユーザーグループを作成します

ユーザーまたはグループを複製

既存ユーザーまたはグループを複製します

ユーザーを有効化または無効化

無効化されたユーザーは一時的にBIMcloudにアクセスできなくなります

チームワークプロジェクト退出をユーザーに強制

1つまたは複数のチームワークプロジェクトからユーザーを削除します

メール送信

選択したBIMcloudユーザーにメールを送信します

ユーザーの追加（キーベースのライセンス）

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

ユーザーの追加/削除

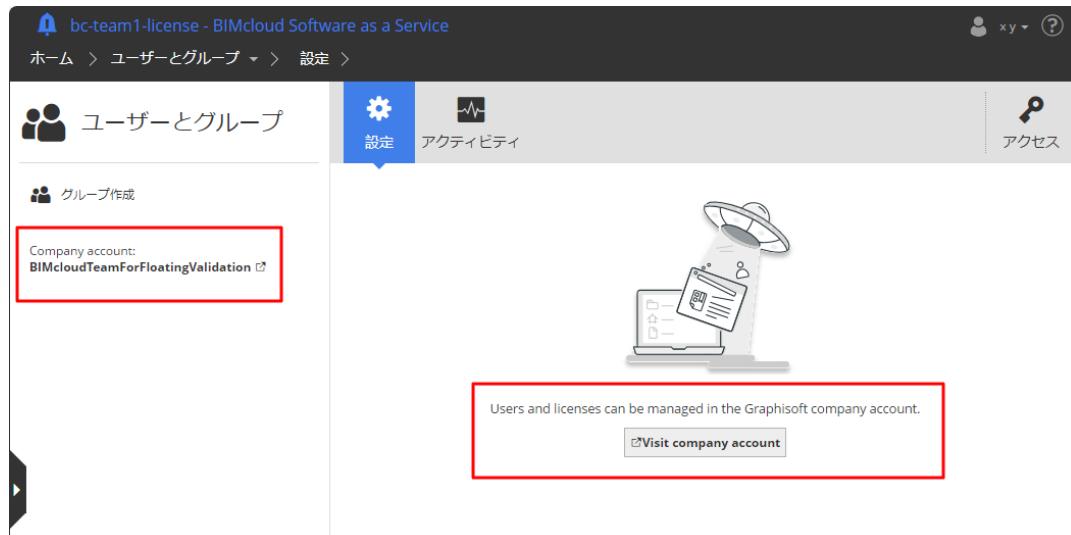
クラウドライセンスのBIMcloud SaaS

クラウドライセンスを使用してBIMcloud SaaSで作業するには、各ユーザーがGraphisoftカンパニーアカウントのメンバーである必要があります。

BIMcloudにユーザーを追加または削除するには、Graphisoftカンパニーアカウントを使用します。

BIMcloud Managerから自分のカンパニーアカウントへ移動します:

ユーザーとグループページから、カンパニーアカウントにアクセスをクリックするか、カンパニー名をクリックします



Graphisoftカンパニーアカウントから同期されたユーザーデータ

クラウドライセンスのBIMcloud SaaS

親トピック: [BIMcloudユーザーの管理](#)

Graphisoftカンパニーアカウントから同期されたユーザーデータ

クラウドライセンスのBIMcloud SaaS

クラウドライセンスを使用してBIMcloud SaaSで作業するには、各ユーザーがGraphisoftカンパニーアカウントのメンバーである必要があります。

ユーザーがGraphisoftカンパニーアカウントに招待されると、そのユーザーデータは自動的にBIMcloud SaaSに同期され、そのユーザーはBIMcloudユーザーリストに表示されます。

同期は定期的に行われ、テナント所有者がBIMcloudにログインする毎に行われます。

ユーザー名の要件

Graphisoft IDカンパニーアカウントからの同期を確実に成功させるために、各ユーザーの**Graphisoft IDユーザー名**は以下の規則に従う必要があります:

- 名前の最後にピリオドを使用しないでください。
- <>;*?"|// のような非印刷文字や特殊文字は使用しないでください。

認識できない文字を含むユーザー名は同期されません。

ユーザーは、id.graphisoft.comでGraphisoft IDの個人プロフィールを編集できます。

"保留中のユーザー"とは何でしょうか？

"保留中"のユーザーは、カンパニーアカウントのメンバーに招待されていますが、まだ招待に応答していません。招待を承諾するまで、BIMcloudユーザーリストには「保留中」と表示されます。保留中のユーザーは、招待が送信されたGraphisoft IDで使用されているEメールアドレスによって識別されます。

"保留中"のユーザーであっても、BIMcloudの管理者は、招待が受理されるまで待つ必要はなく、先に進み、権限、ユーザーグループのメンバーシップ、およびその他の設定を割り当てることができます。

ユーザーが招待を受諾すれば、すぐに共同作業を始められます。

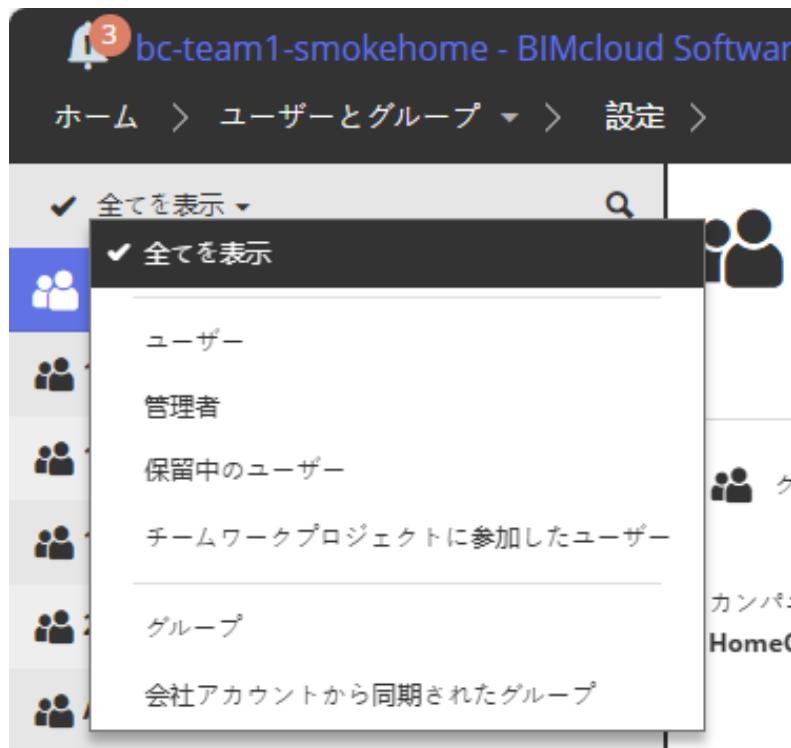
親トピック: [ユーザーの追加/削除](#)

ユーザーリストのフィルタ

ユーザーリストのフィルタおよびソート

必要に応じて、フィルタを使用してリストを絞り込みます。(フィルタの追加や別のフィルタが存在する場合があります)。

「「保留中のユーザー」とは何でしょうか?」も参照してください



The screenshot shows the BIMcloud Software interface with the following navigation path: ホーム > ユーザーとグループ > 設定 > フィルタ. A dropdown menu is open under 'フィルタ' with the following options:

- 全てを表示 (checked)
- ユーザー (checked)
- 管理者
- 保留中のユーザー
- チームワークプロジェクトに参加したユーザー
- グループ
- 会社アカウントから同期されたグループ

管理者は誰でしょうか?

管理者は、BIMcloud SaaSのカンパニー管理者です。カンパニー管理者は、ユーザーの作成、プロジェクトの管理、権限の割り当て、さらにチームワークのすべての権限など、全ての権限を持ちます。

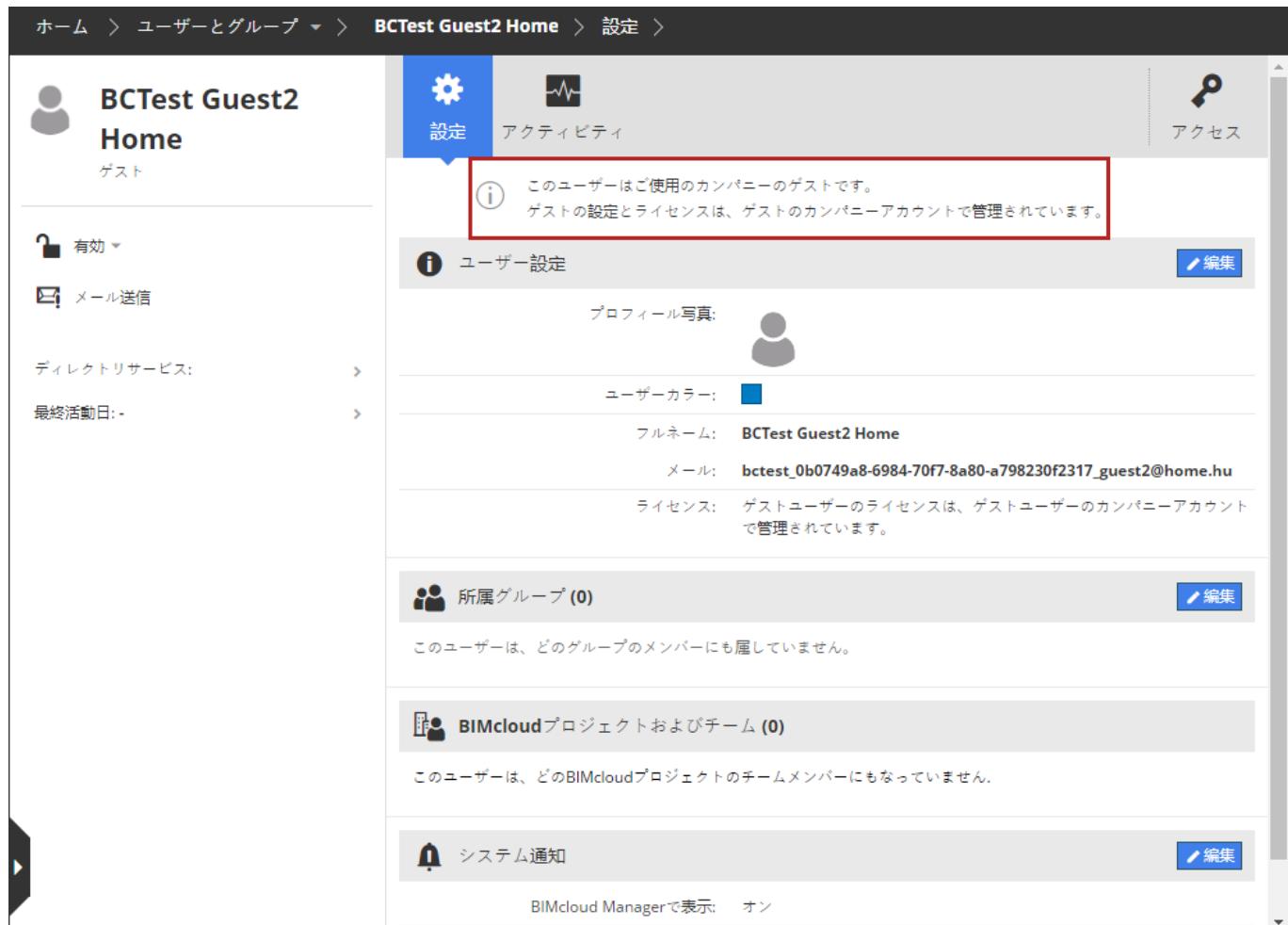
親トピック: [BIMcloudユーザーの管理](#)

ポータブルライセンスのゲストユーザー

クラウドライセンスのBIMcloud SaaS

カンパニー管理者は、他のカンパニーのユーザーをゲストとしてBIMcloudに招待できます。(Graphisoftのカンパニーアカウントから行います。)

BIMcloudにアクセスするには、招待されたゲストユーザーは、自分の会社のアカウントから「ポータブル」ライセンスを取得する必要があります。



The screenshot shows the 'User and Groups' settings page for a guest user named 'BCTest Guest2 Home'. The 'Settings' tab is selected. A red box highlights a note: 'このユーザーはご使用のカンパニーのゲストです。ゲストの設定とライセンスは、ゲストのカンパニーアカウントで管理されています。' (This user is a guest of the company you are using. Guest settings and licenses are managed from the guest company account.)

Below the note, the 'User Settings' section shows:

- プロフィール写真: (Placeholder)
- ユーザーカラー: (Placeholder)
- フルネーム: BCTest Guest2 Home
- メール: bctest_0b0749a8-6984-70f7-8a80-a798230f2317_guest2@home.hu
- ライセンス: ゲストユーザーのライセンスは、ゲストユーザーのカンパニーアカウントで管理されています。

Other sections shown are '所属グループ (0)', 'BIMcloudプロジェクトおよびチーム (0)', and 'システム通知'.

BIMcloud上のゲストユーザー

- 任意のユーザーグループまたはBIMcloudプロジェクトチームに追加できます。
- 他のBIMcloudユーザーと同様に、役割及びアクセス権を割り当てられます。

ゲストユーザーのライセンスとユーザー設定は、ゲストユーザー自身のカンパニーアカウントで管理されます。

詳しくは[Graphisoft Community](#)をご覧ください

親トピック: [BIMcloudユーザーの管理](#)

ユーザーグループを作成

BIMcloudのユーザーグループを作成します

[ユーザーとグループ]ページで以下の手順を実行します：

プラスをクリックしポップアップから**グループ作成**を選択します（ユーザーとグループルートを選択している場合は、[概要]パネルからこのコマンドを選択することもできます）。



ダイアログにグループ名を入力し、**作成**をクリックします。

注:

- グループ名の最後にピリオドを使用しないでください。
- <>;*?"||/のような非印刷文字や特殊文字は使用しないでください。

グループ設定パネルが開き、新しいグループにメンバーを追加できます。

ユーザーグループメンバーの追加または削除

ユーザーグループのメンバーを追加または削除します。

ユーザーグループ: ベストプラクティス

BIMcloud SaaSのベストプラクティス

BIMcloudに同期されたカンパニーユーザーグループ

クラウドライセンスのBIMcloud SaaS

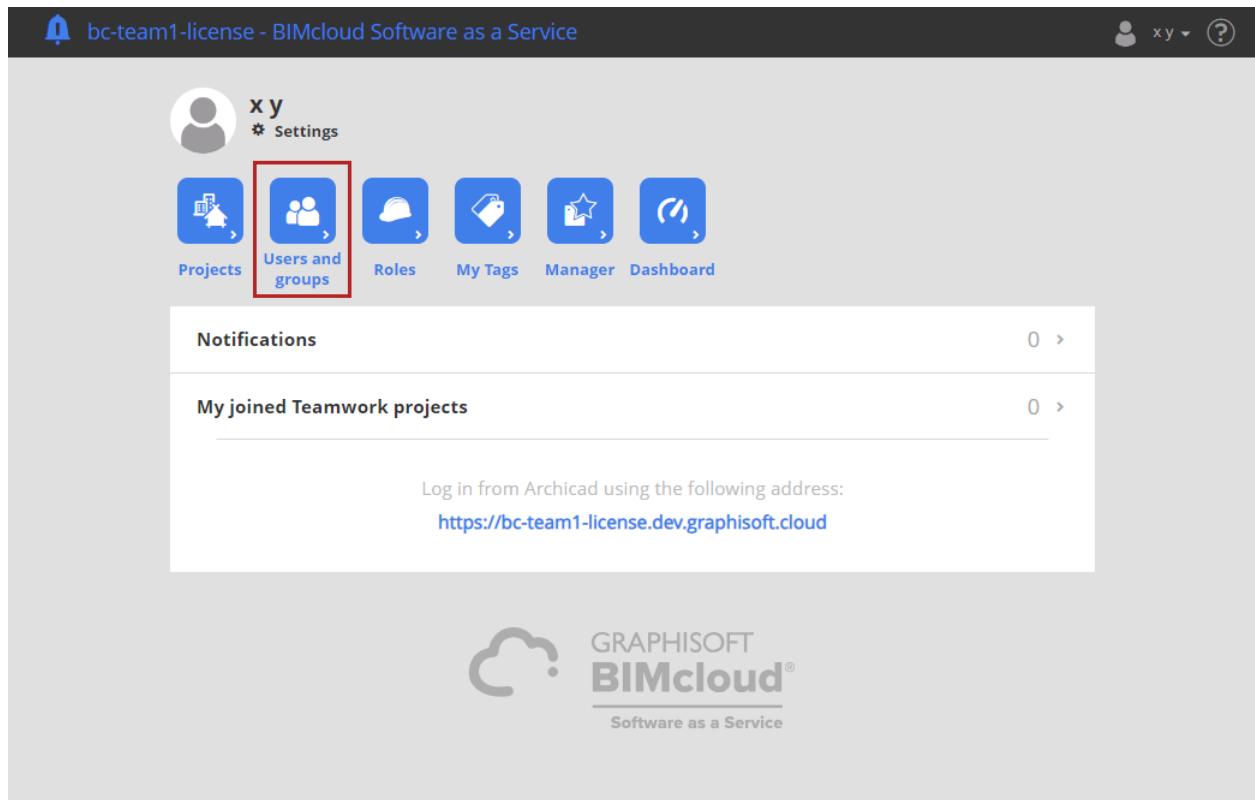
親トピック: [BIMcloudユーザーの管理](#)

ユーザーグループメンバーの追加または削除

ユーザーグループのメンバーを追加または削除します。

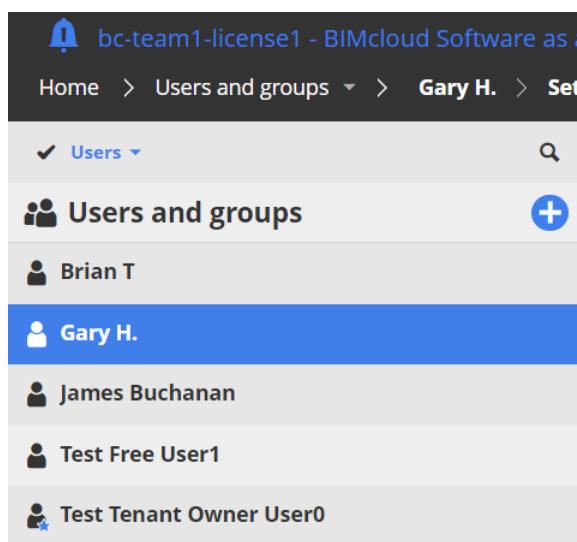
グループへのメンバーの追加

1. [ユーザーとグループ]ページで以下の手順を実行します。



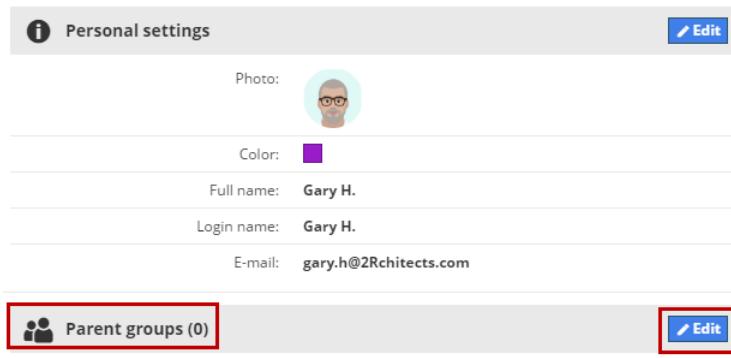
The screenshot shows the BIMcloud Software as a Service interface. At the top, there is a navigation bar with a bell icon, the text 'bc-team1-license - BIMcloud Software as a Service', and user profile icons. Below the navigation bar is a toolbar with icons for 'Projects', 'Users and groups' (which is highlighted with a red box), 'Roles', 'My Tags', 'Manager', and 'Dashboard'. The main content area displays 'Notifications' (0) and 'My joined Teamwork projects' (0). A message at the bottom instructs to 'Log in from Archicad using the following address: <https://bc-team1-license.dev.graphisoft.cloud>'. At the bottom right, the BIMcloud logo is visible.

2. 任意のユーザー名をクリックして選択します。



The screenshot shows the 'Users and groups' page. The navigation path is 'Home > Users and groups > Gary H. > Set'. The left sidebar shows a 'Users' dropdown and a search bar. The main list displays several users: 'Brian T', 'Gary H.' (which is highlighted with a blue background), 'James Buchanan', 'Test Free User1', and 'Test Tenant Owner User0'. A blue plus sign icon is located to the right of the user list.

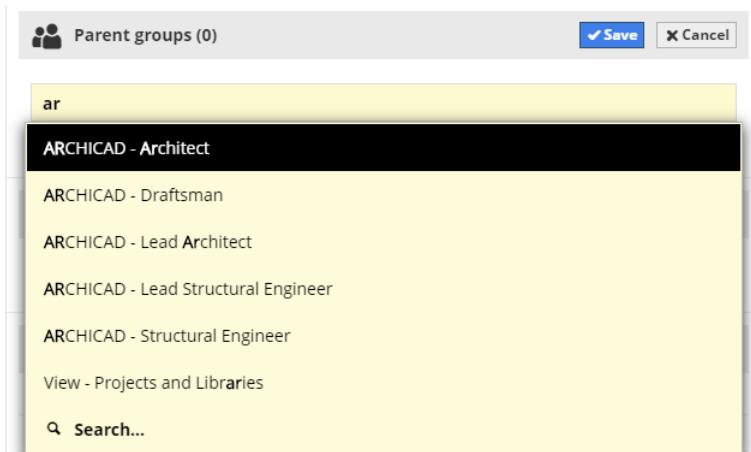
3. [所属グループ]に移動して[編集]をクリックします。



4. [グループ追加] フィールドをクリックしてグループ名の入力を始めます。



5. 表示されたリストから、グループ名をクリックしてユーザーを追加します。



6. 必要なだけ繰り返し、このユーザーを任意の数のユーザーグループに追加します。

7. [保存]をクリックしてプロセスを完了します。

グループからのメンバーの削除

1. ユーザーグループの[設定]の[メンバー]部分で、[編集]をクリックします。
2. 削除するユーザーの名前の上にカーソルを合わせてから、Xをクリックします。

構造エンジニア

設定 アクティビティ

名前: 構造エンジニア

所属グループ (0) 編集

メンバ (3) 編集

メンバー (3) 保存 キャンセル

メンバーを追加...

✓ 全てを表示 ▾

Balint Peter 削除

Balint Reka

Mahito Sakurai

複数メンバーの削除

1. ユーザーグループの[設定]の[メンバー]部分で、[編集]をクリックします。
2. チェックマークをクリックして、各ユーザーの横にあるチェックボックスを表示します。
3. 削除する各ユーザーのボックスをチェック（または[全て選択]を使用）してから、[削除]をクリックします。

構造エンジニア

設定 アクティビティ

名前: 構造エンジニア

所属グループ (0) 編集

このグループは、他のグループのメンバーにも属していません。

メンバー (3) 保存 キャンセル

メンバーを追加...

✓ 全てを表示 ▾

全て選択 全ての選択を解除 2 選択済み 削除

Balint Peter

Balint Reka

Mahito Sakurai

注: 所属グループのメンバーシップがLDAPデータベースに由来する場合は、その旨がラベルで示されます。LDAPデータベース由来の場合、ユーザーの所属グループを変更することはできません。

親トピック: [ユーザーグループを作成](#)

ユーザーグループ: ベストプラクティス

BIMcloud SaaSのベストプラクティス

チームワークで効率よく作業するには、各新規ユーザーを少なくとも、[Archicad]グループと[表示]グループの2つのグループに追加する必要があります。

各ユーザーは、これらの2つのグループの他に、必要な数のグループに追加できます。

注: 新しいユーザーグループを作成し、名前を付ける場合:

- グループ名の最後にピリオドを使用しないでください。
- <>;*?"||/のような非印刷文字や特殊文字は使用しないでください。

ユーザーグループの割り当ての例

2Rrchitectsは、ソルトレークシティにある従業員5名の建築事務所です。Gary H.氏はこの事務所の設立者であり、Archicadの上級ユーザーです。通常は、GaryがIT関連を担当します。

Garyは次のグループのメンバーです:

- 管理 - サービス管理者

The screenshot shows the 'User Settings' (ユーザー設定) page for a user named 'Gary H.'. The top section displays basic user information: profile picture (gray placeholder), user color (yellow square), full name (Gary H.), login name (Gary H.), and email (garyh@2rchitects.com). Below this is a 'Groups' (所属グループ) section, which shows one group: 'Management - Service Administrator' (Management - Service Administrator), which is highlighted with a red box.

Susan C.氏は、同事務所の準設計担当者です。Archicadを熟知していますが、オフィステンプレートの修正は許可されていません。最近、新しいプロジェクトのプロジェクトマネージャになりました。

Susanは次のグループのメンバーです:

- Archicad - 準設計担当者
- 表示 - プロジェクトとライブラリ
- 管理 - プロジェクトマネージャ



ユーザーグループ: ベストプラクティス

ユーザー設定

プロフィール写真: 

ユーザーカラー:

フルネーム: Susan C.

ログイン名: Susan C.

メール: susan.c@2Rchitects.com

所属グループ (3)

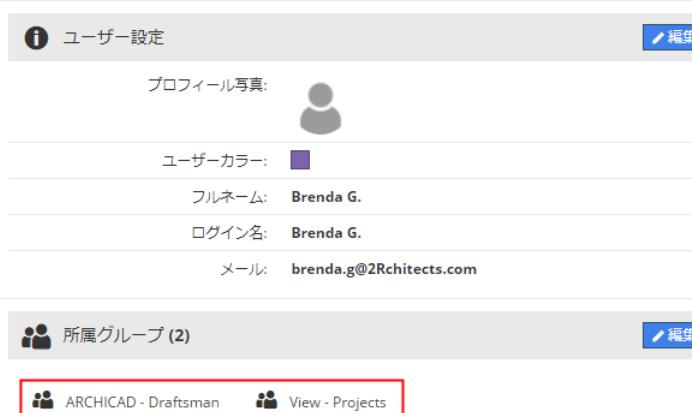
ARCHICAD - Architect View - Projects Management - Project Managers

ARCHICAD - Architect View - Projects Management - Project Managers

Brenda G. 氏は、この事務所の新しい研修生です。Archicadを学び始めたところです。

Brendaは次のグループのメンバーです：

- Archicad - 製図担当者
- 表示 - プロジェクトとライブラリ



ユーザーグループ: ベストプラクティス

ユーザー設定

プロフィール写真: 

ユーザーカラー:

フルネーム: Brenda G.

ログイン名: Brenda G.

メール: brenda.g@2Rchitects.com

所属グループ (2)

ARCHICAD - Draftsman View - Projects

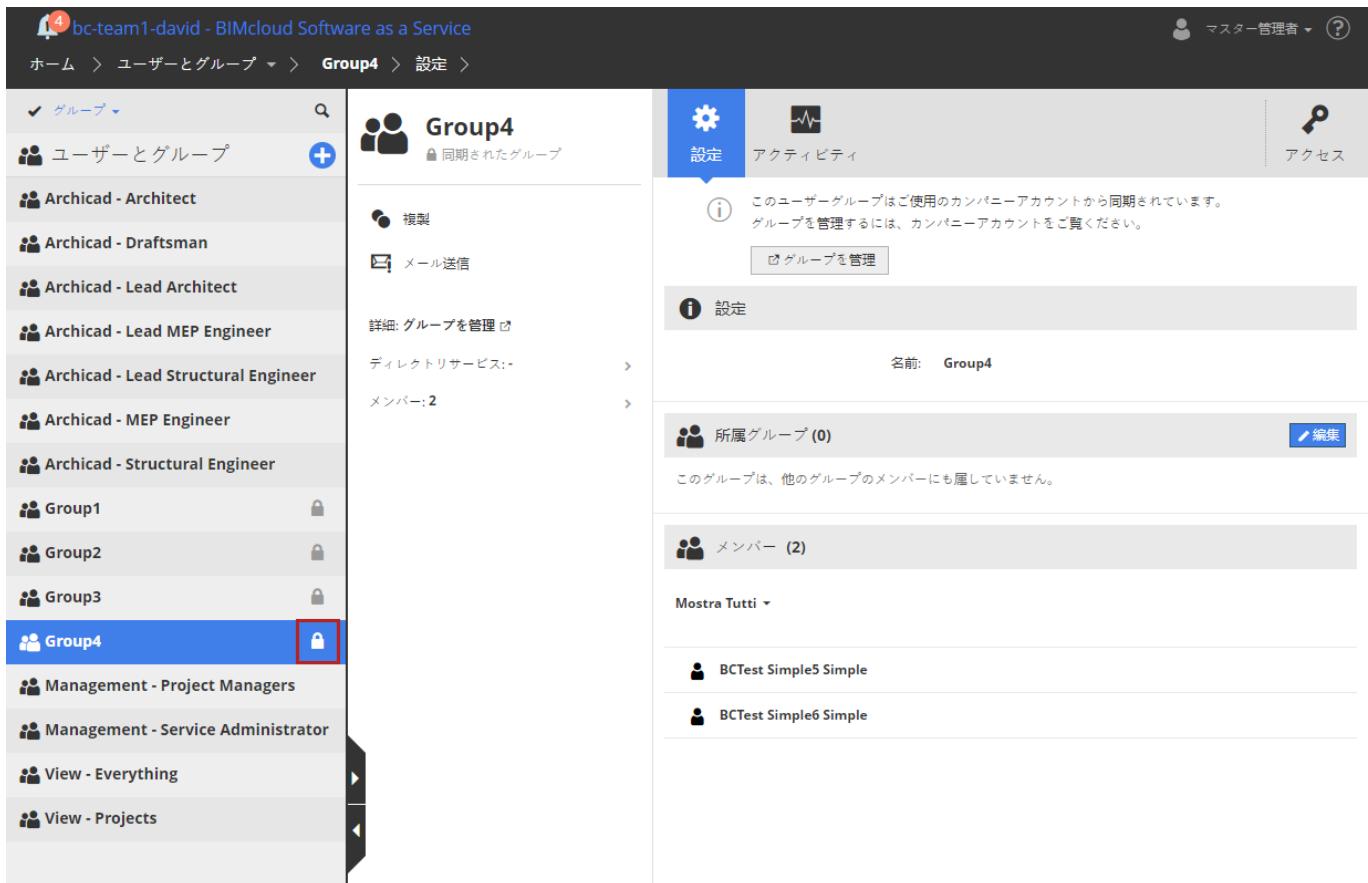
ARCHICAD - Draftsman View - Projects

親トピック: [ユーザーグループを作成](#)

BIMcloudに同期されたカンパニーユーザーグループ

クラウドライセンスのBIMcloud SaaS

カンパニーアカウントにユーザーグループが含まれる場合、それらは自動的にBIMcloudへ同期されます（グループとそのメンバー）。このように、BIMcloudで権限を設定する際は、あらかじめ定義されたユーザーグループを活用できます同期されたユーザーグループは、**ユーザーとグループ**ページにロックアイコン付きで表示されます。リストをフィルタリングして、同期しているグループだけを表示することができます。



The screenshot shows the BIMcloud Software as a Service interface. In the top navigation bar, the user is in the 'User and Groups' section, specifically under 'Group4'. The main content area shows 'Group4' details: '同期されたグループ' (Synchronized Group), '複製' (Duplicate), 'メール送信' (Email Send), '詳細: グループを管理' (Details: Manage Group), 'ディレクトリサービス' (Directory Service), and 'メンバー: 2' (Members: 2). Below these are sections for '所属グループ (0)' (Associated Groups) and 'メンバー (2)' (Members), listing 'BCTest Simple5 Simple' and 'BCTest Simple6 Simple'. On the left sidebar, a list of groups is shown, with 'Group4' being the active group, indicated by a red box around its lock icon.

同期されたユーザーグループには、他の任意グループやユーザーと同様に、チームワークプロジェクトやBIMcloud内のアイテムへのアクセス権を与えることができます。

同期されたグループの注記

- BIMcloudで同期されたグループを削除、編集、エクスポートすることはできません。同期されたグループを編集するには、カンパニーアカウントで行います。
- 同期されたグループを親グループとして使用することはできません。
- 以下の場合を除き、グループは自動的に同期されます。
 - BIMcloudに既に同じ名前のユーザーグループがある場合
 - ユーザーグループの名前が命名規則に違反している場合

注: GSIDユーザーグループ名の規則:

- 名前の最後にピリオドを使用しないでください。
- <>;*?"||/のような非印刷文字や特殊文字は使用しないでください。

認識できない文字を含むユーザーグループ名は同期されません。

親トピック: [ユーザーグループを作成](#)

ユーザーまたはグループを複製

既存ユーザーまたはグループを複製します

注:

BIMcloud SaaSでは、ユーザーグループを複製できます。(ただし個人ユーザーは不可)

既存のユーザーまたはグループを選択し、[複製]をクリックします。



複製するユーザーに新しい名前を付けます。[設定]パネルで設定を調整します。

親トピック: [BIMcloudユーザーの管理](#)

ユーザーを有効化または無効化

無効化されたユーザーは一時的にBIMcloudにアクセスできなくなります

デフォルトではユーザーは有効です。ユーザーを無効化すると、BIMcloudへのアクセスが一時的に無効になりますが、チームワークプロジェクトのオフライン作業は可能です。ユーザーが再び有効になると、変更内容をBIMcloudに送信できるようになります。

BIMcloud Managerの[ユーザーとグループ]ページで以下の手順を実行します：

ユーザーを選択し、[有効]/[無効]コマンドを使用します。



無効化されたユーザーは、ユーザーリストに赤いバッジで表示されます。



親トピック: [BIMcloudユーザーの管理](#)

チームワークプロジェクト退出をユーザーに強制

1つまたは複数のチームワークプロジェクトからユーザーを削除します

1. ナビゲータからユーザーを選択します。
2. [参加済みチームワークプロジェクト]リストで、プロジェクト名の上にカーソルを合わせて**強制退出**アイコンを表示し、クリックします。

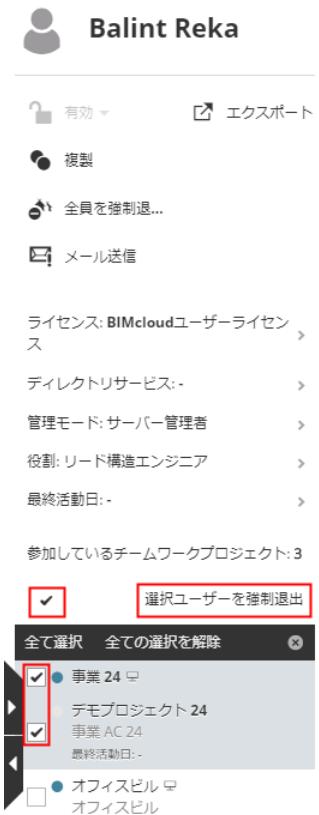
The screenshot shows the BIMcloud user profile for 'Balint Reka'. The user has a profile picture and the name 'Balint Reka' in bold. Below the name are several buttons: '有効' (Enabled) with a dropdown arrow, 'エクスポート' (Export), '複製' (Duplicate), '全員を強制退...' (Force Exit for all), and 'メール送信' (Send Email). A horizontal line separates this from the user's details: 'ライセンス: BIMcloudユーザーライセンス', 'ディレクトリサービス: -', '管理モード: サーバー管理者', '役割: リード構造エンジニア', and '最終活動日: -'. Below these details is a section titled '参加しているチームワークプロジェクト: 3'. Under this, there is a list of projects: '事業 24' (selected), 'デモプロジェクト 24' (unchecked), and 'オフィスビル 24' (unchecked). The 'オフィスビル' project has a red box around its '強制退出' (Force Exit) icon, which is a person icon with a hand pointing to it.

図 1. 単一プロジェクトからユーザーを強制退出

選択した複数のプロジェクトから強制退出

1. [参加済みプロジェクト]リストで、リストの上のチェックマークをクリックしてチェックボックスをオンにします。
2. ユーザーを強制退出させるプロジェクトを選択します。

3. [選択ユーザーを強制退出]ボタンが有効になります。クリックしてユーザーを強制退出させます。



Balint Reka

有効 エクスポート

複製

全員を強制退...

メール送信

ライセンス: BIMcloudユーザーライセンス

ディレクトリサービス: -

管理モード: サーバー管理者

役割: リード構造エンジニア

最終活動日: -

参加しているチームワークプロジェクト: 3

選択ユーザーを強制退出

事業 24

デモプロジェクト 24

事業 AC 24

最終活動日: -

オフィスビル

図 2. 選択したプロジェクトから強制退出

注: ユーザーの強制退出はすぐ有効になり、強制退出させられたユーザーは変更を送信できなくなります。強制退出させられたユーザーは、制約を受けることなくプロジェクトに即座に再参加できます。ユーザーをプロジェクトに再参加させたくない場合は、プロジェクトのアクセスパネルでそのユーザーのアクセス権を無効にしてください。

全てのチームワークプロジェクトからの退出をユーザーに強制

1. ナビゲータで、ユーザーまたはユーザーグループを1つ以上選択します。
2. [全員を強制退出]をクリックします。

親トピック: [BIMcloudユーザーの管理](#)

メール送信

選択したBIMcloudユーザーにメールを送信します

例えば、サーバーメンテナンス予定の通知メールを送信する場合などです。

ユーザーリストから1つまたは複数のユーザーを選択するか、またはユーザーグループを選択します。

メール送信をクリックしてメッセージを構成します。



The screenshot shows the 'User Management' section of the BIMcloud interface. On the left, a list of users is displayed with checkboxes next to their names. Two users, 'Balint Csenge' and 'Mahito Sakurai', have their checkboxes selected. On the right, a summary box indicates '2 選択済み' (2 selected). Below this, there are several buttons: '有効' (Enabled), 'エクスポート' (Export), '全員を強制退出' (Force Logout All), '削除' (Delete), and a large red-bordered button labeled 'メール送信' (Email Send).

親トピック: [BIMcloudユーザーの管理](#)

ユーザーの追加（キーベースのライセンス）

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

Graphisoft ID (GSID) を持っているユーザーをBIMcloudに追加できます。以下のトピックを参照してください。

クラウドライセンスを使用するBIMcloud SaaSサブスクリプションをお持ちですか？その場合、Graphisoftカンパニーアカウントでライセンスとユーザーを管理できます。「[クラウドライセンスのBIMcloud SaaS](#)」を参照してください。

Graphisoft IDユーザーをBIMcloudに招待

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

既存のBIMcloudユーザーをGraphisoft IDに接続

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

既存のBIMcloudユーザーのGSIDアカウントを変更

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

親トピック: [BIMcloudユーザーの管理](#)

Graphisoft IDユーザーをBIMcloudに招待

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

このワークフローを使用して、Graphisoft IDを通して新しいユーザーをBIMcloudに招待します。（ユーザーはすでにGraphisoft IDを持っている必要があります）。

1. BIMcloud Managerの[ユーザーとグループ]ページを開きます。
2. [GSIDユーザーを招待]をクリックします（概要パネルまたはプラス (+) アイコン（プロジェクトナビゲータ）から）。



3. 表示されているダイアログにユーザーのGraphisoft IDのEメールアドレスが表示されます。

注:

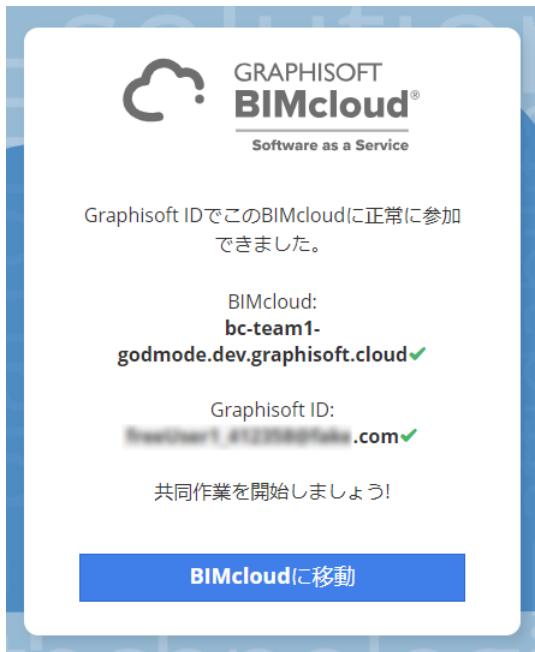
- BIMcloudの各ユーザーは、一意のGraphisoft IDのEメールアドレスを持つ必要があります。
- 入力したEメールアドレスがGraphisoft IDのEメールアドレスでないかスペルが間違っている場合、ユーザーのプロファイルから[GSIDに接続]をクリックして新しいアドレスを入力してください。

4. [招待を送信]をクリックします。



5. ユーザーはリンクを含むEメールを受け取ります。

6. リンクをクリックすると、パスワードを入力して[参加]をクリックするBIMcloudダイアログが表示されます。
7. 新しく参加したBIMcloudとそのGraphisoft IDに関するフィードバックがユーザーに表示されます。



8. [BIMcloudに移動]をクリックすると、BIMcloudのホーム画面が開きます。ユーザーはArchicadを使用して、このBIMcloud上のチームワークプロジェクトに参加することもできます。

ユーザーデータはGSIDから同期

BIMcloudに招待されたGSIDユーザーの場合、外部のGSIDサービスからユーザーデータを取得できます:

- ユーザーが招待を承認すると、BIMcloudユーザープロファイル（フルネーム、ログイン名、メールアドレス）がGraphisoft IDデータベースから更新されます。これらのデータは、BIMcloud Managerでは変更できません。
- Graphisoft IDパスワードもGraphisoft IDページで管理され、BIMcloud Managerでは変更できません。
- Graphisoft IDユーザーのパスワードを変更した場合、新しいパスワードでBIMcloudにログインできます。

注: Graphisoft IDユーザーをインポートまたはエクスポートすることはできません。Graphisoft IDユーザーは外部サービス（GSID）に接続されています。

招待ステータスを確認

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

親トピック: [ユーザーの追加（キーベースのライセンス）](#)

招待ステータスを確認

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

GSIDを介してBIMcloudに参加するようにユーザーを招待します：

ユーザー設定に招待のステータスと有効期限が表示されます。招待は7日後に自動的に有効期限が切れます。



The screenshot shows the 'User Settings' page for a user. At the top, there is a red box highlighting the 'Status' section which contains the following information: 'Invitation sent: 2024-01-18', 'Expiration date: 2024-01-25', and 'Invited GSID: [REDACTED]@graphisoft.com'. Below this, there are fields for 'Profile photo', 'User color' (a small pink square), and three email addresses. Each email address has a 'GSID' button to its right. The 'Profile photo' field contains a placeholder icon of a person.

招待を送付済

ユーザーは招待をまだ承認していません。この場合、以下の点に注意する必要があります。

- このユーザーのアクセス権、チームなどを設定できます
- このユーザーにGSIDタイプのライセンスを（まだ）割り当てることはできません

接続済み

ユーザーは招待を承認し、ステータスは接続済みになりました。

- ユーザーはGraphisoft ID/パスワードを使用してBIMcloudにログインできます
- ユーザーはデフォルトで「自動的に確保された」ライセンスを取得します（ライセンスが使用可能な場合）
- ユーザーのライセンスタイプを他のオプションに変更できます

招待の期限切れ

招待は送信されましたが、有効期限が切れました。Eメール内の承認リンクは機能しなくなります。[GSIDに接続]ボタンをクリックすると、再度招待を送信できます。

親トピック: [Graphisoft IDユーザーをBIMcloudに招待](#)

既存のBIMcloudユーザーをGraphisoft IDに接続

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

既存のBIMcloudユーザーをGraphisoft IDアカウントに接続するには、このワークフローを使用します。これにより、Graphisoft IDユーザーのみが使用できる追加ライセンスオプションが有効になります。

以下の手順に従ってください:

1. BIMcloud Managerの[ユーザーとグループ]ページを開きます。
2. リストからユーザーを選択します。
3. [GSIDに接続]をクリックします（概要パネルまたはユーザー設定のライセンスパネルから）。



4. 表示されているダイアログにユーザーのGraphisoft IDのEメールアドレスが表示されます。



注:

- BIMcloudの各ユーザーは、一意のGraphisoft IDのEメールアドレスを持つ必要があります。
- 入力したEメールアドレスがGraphisoft IDのEメールアドレスではない、もしくはスペルが間違っている場合、ユーザーのプロファイルから[GSIDに接続]をクリックして新しいアドレスを入力してください。

5. ユーザーはログインリンクを含むEメールを受け取ります。リンクをクリックし、Graphisoft ID認証情報を使用してBIMcloudにログインします。
6. これでユーザーはGraphisoft IDを介してBIMcloudに接続されます。

注記

- 接続プロセスの間、ユーザーはチームワークプロジェクトを中断することなく作業を続けられます（すぐに招待を承認する必要も、すぐにログアウトしてログインし直す必要もありません）。
- ユーザーが招待を承認するまでは、引き続き古いユーザー名とパスワードを使用してBIMcloudにログインできます。
- 招待を承認したら、Graphisoft ID認証情報を使用してArchicadに再ログインする必要があります。
- Graphisoft IDユーザーをインポートまたはエクスポートすることはできません。Graphisoft IDユーザーは外部サービス（GSID）に接続されています。

親トピック: [ユーザーの追加（キーベースのライセンス）](#)

既存のBIMcloudユーザーのGSIDアカウントを変更

キーベースのライセンスのBIMcloud SaaS

既存の Graphisoft ID ユーザーを別のGraphisoft ID アカウントに接続するには、このワークフローを使用します。（例えば、ユーザーが複数のGraphisoft IDアカウントを持っていて、カンパニーに接続されているアカウントを使用させたい場合など）。

以下の手順に従ってください：

1. BIMcloud Managerの[ユーザーとグループ]ページを開きます。
2. リストからユーザーを選択します。
3. **GSID変更**をクリックします。



4. 表示されるダイアログで、新しいGSIDアカウントのEメールを入力します。



5. ユーザーはログインリンクを含む招待Eメールを受け取ります。新しいGSID接続は、ユーザーが招待を承認するまで保留のままで。

注記

- 接続プロセスの間、ユーザーは中断することなくチームワークプロジェクトで作業を続行できます（すぐに招待を承認する必要も、すぐにログアウトしてログインし直す必要もありません）。
- ユーザーが招待を承認するまでは、引き続き古いGSIDを使用してBIMcloudにログインできます。ステータスが保留である限り、ユーザー名は両方のユーザーフィルタに表示されます：「Graphisoft IDユーザー」、及び "GSID招待待ち"。
- 招待を承認したら、新しいGraphisoft ID認証情報を使用してArchicadに再ログインする必要があります。

- Graphisoft IDユーザーをインポートまたはエクスポートすることはできません。Graphisoft IDユーザーは外部サービス (GSID) に接続されています。

親トピック: [ユーザーの追加 \(キーベースのライセンス\)](#)

BIMcloudのプロジェクトとファイル

プロジェクトページにてプロジェクトやファイルを整理および管理します。



プロジェクトページには以下の内容を表示することができます：

- Archicadから共有されたチームワークプロジェクト
- BIMcloudライブラリ（チームワークプロジェクトを共有する際に自動でアップロード）
- フォルダ（ユーザーがアップロードした標準フォルダとライブラリのフォルダ）
- ユーザーがアップロードしたファイル、またはユーザーがArchicadから発行したファイル
- アップロード済みBIMx Hyper-model
- BIMcloudプロジェクト（関連ファイルをグループ化するためにBIMcloud上でユーザーが作成し、ユーザーのチームに関連付ける「コンテナ」）

アクセス権があれば、必要に応じてこれらの項目をフォルダ階層に整理することができます。

ArchicadからBIMcloudへの発行

プロジェクト、発行項目、またはBIMcloud Hyper-modelを直接BIMcloudに発行し、Archicadからアクセスします。

チームワークプロジェクトをBIMcloudに共有

BIMcloudからチームワークのArchicadプロジェクトを共有します

BIMcloudへのフォルダまたはファイルのアップロード

Archicadプロジェクトファイル（PLNなど）、BIMxモデル、PDF、Excelファイル、イメージファイルをアップロードします

BIMxモデルまたは画像ファイルの表示

BIMcloudにアップロードされた画像やBIMxモデルを表示またはナビゲートします

プロジェクトおよびファイルの管理コマンド

選択したBIMcloud項目に対して、使用可能なコマンドを使用して管理します。

チームワークプロジェクト/ライブラリのエクスポート

BIMcloudからチームワークプロジェクトまたはライブラリをコンピュータにダウンロードします

チームワークプロジェクトまたはライブラリをインポート

チームワークプロジェクトファイルまたはライブラリファイルをBIMcloudにインポートします

BIMcloudプロジェクト

任意のプロジェクト、ファイル、サブフォルダを1つにグループ化し、ユーザーのチームを割り当てます。

スナップショットの作成および管理

チームワークプロジェクトまたはライブラリのバックアップを作成

タグの使用

タグを使用して、プロジェクト、フォルダ、ファイルを分類し、場所を特定します。

ArchicadからBIMcloudへの発行

プロジェクト、発行項目、またはBIMcloud Hyper-modelを直接BIMcloudに発行し、Archicadからアクセスします。

以下のいずれかの操作をArchicadから実行します。

- ・ [ファイル]→[BIMcloudへエクスポート]を使用します。さまざまな形式の現在のモデルをBIMcloudにアップロードします。
- ・ [発行]を使用し、1つ以上の発行セットまたは項目を設定します。[発行セットプロパティ]ダイアログの参照ボタンを使用し、[BIMcloudへ]を選択します。
- ・ [課題オーガナイザ]からバージョンを選択し、BCF形式でBIMcloudにエクスポートします。
- ・ [ファイル]→[BIMx Hyper-modelを発行する]を使用します。

いつものように、動作中のBIMcloudに有効なユーザーとして適切なアクセス権でログインし、アクセス権があるエクスポート先フォルダを選択する必要があります。

BIMcloudに発行されたこのような全てのファイルに対して、ファイルのバージョン管理を使用し、変更通知を登録することができます。

ArchicadからBIMcloudファイルへのアクセス

Archicadでは、BIMcloudに発行された全てのファイルに直接アクセスできます。次に例を示します。

- ・ ホットリンクされたモデルをBIMcloudから直接配置および更新
- ・ 図面をBIMcloudから直接配置および更新（例：DWG、DXF）
- ・ 図面またはモデルをBIMcloudから現在のプロジェクトに結合（[ファイル]→[相互運用性]→[BIMcloudから結合]）

親トピック: [BIMcloudのプロジェクトとファイル](#)

チームワークプロジェクトをBIMcloudに共有

BIMcloudからチームワークのArchicadプロジェクトを共有します

新しいチームワークプロジェクトを作成する処理を「共有」と呼びます。単独のArchicadプロジェクトファイル(.pln)を開き、[共有]コマンドを使用してBIMcloudに追加します。

1. Archicadを開きます
2. スタートアップダイアログで**[新規プロジェクトを作成]**をクリックするか、既存のプロジェクトを開きます。
3. **[チームワーク]→[プロジェクト]→[共有]**に移動します。
4. 必要に応じてプロジェクト名を入力します。
5. ターゲットフォルダを選択し、クリックして選択します（これはBIMcloud上のフォルダで、チームワークプロジェクトを配置する場所です）。
6. **[共有]**をクリックします。

親トピック: [BIMcloudのプロジェクトとファイル](#)

BIMcloudへのフォルダまたはファイルのアップロード

Archicadプロジェクトファイル（PLNなど）、BIMxモデル、PDF、Excelファイル、イメージファイルをアップロードします

アップロードされたファイルとフォルダに対して、ファイルバージョンの保存と変更通知の登録を行うことができます。

1. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページに移動します
2. プロジェクトツリーで項目を選択し、[ファイルをアップロード]または[フォルダをアップロード]をクリックします。

注:

[フォルダをアップロード]コマンドはInternet Explorerでは使用できません。

1. ダイアログから[ファイルを選択]をクリックし、項目を参照します。
2. [アップロード]をクリックします。

注: BIMcloudにアップロードするPLNファイルは、共有チームワークプロジェクトと異なります。アップロードしたPLNファイルをチームワークで使用することはできません。チームワークプロジェクトを作成するには、Archicadからプロジェクトを共有する必要があります。「[チームワークプロジェクトをBIMcloudに共有](#)」を参照してください。

ファイルバージョンの保存

ファイルの古いバージョンをBIMcloudに保存および取得します

変更のサブスクリプ

特定のファイルやフォルダの変更通知を受け取ります

親トピック: [BIMcloudのプロジェクトとファイル](#)

ファイルバージョンの保存

ファイルの古いバージョンをBIMcloudに保存および取得します

これらの古いバージョンは、以前の状態を取得したり、ロールバックしたりする場合に便利です。ただし、古いバージョンを保存しておくと容量が圧迫されます。BIMcloudのバージョン管理ルールを使用して、ファイルのバージョンを保存するかどうか、またどのくらいの期間保存するかを決めてください。

注: スナップショットを持つことができるファイルタイプ（チームワークプロジェクト、ライブラリ、PLNスナップショット）では、ファイルのバージョン管理を使用することはできません。

バージョン管理ルールの設定

1. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページを開きます。
2. ナビゲータから[プロジェクト]ルートを選択します。
3. [バージョン]パネルに移動します。
4. [バージョン管理ルール]で[編集]をクリックします。

注: バージョン管理は、最上位のプロジェクトルートでのみ設定することができます。ここで設定した内容は、[プロジェクト]ページにリストアップされた全てのファイルとフォルダに適用されます。

5. ルールを選択します。

- [全バージョンを保持します]:これはデフォルトです。スペースが許す限り、以前の全てのバージョンを無期限に保持します。
- [どのバージョンも保持しません]:スペースを節約する場合に選択します。以前のバージョンは全て自動的に削除されます。このオプションでは、アップロードされた各ファイルの最新バージョンのみが表示されます。
- [最後の () 日のバージョンを全て保持してください]:特定の日数だけ以前のバージョンを保持する場合に選択します。日数を入力します。この制限よりも古いファイルは自動的に削除されます。

注: 古い項目の削除を伴う別のバージョン管理ルールに切り替えた場合、それらは次回の自動スキャン時に削除されます（即時ではなく、1週間以内に削除されます）。

ファイルのバージョンを取得する

1. ナビゲータから、[プロジェクト]ページでファイルを選択します。
2. 保存したファイルのバージョン一覧を表示する[バージョン]パネルを開きます。
3. バージョンリストから、必要なファイルを選択します。
4. コマンドを選択します。
 - **コピー**:表示されたダイアログから、選択したファイルをコピーする保存先を選択します。
 - **ロールバック**:このファイルのバージョンを取得し、最新（現在の）バージョンにします。（ロールバックの結果、ファイルバージョンが削除されることはありません）。
 - **ダウンロード**:選択したファイルバージョンのコピーをブラウザのダウンロードフォルダにダウンロードします。

フォルダのバージョンを取得する

あるフォルダの以前のバージョンを、その中に含まれる全てのファイルとともに取得します。

1. ナビゲータから、プロジェクトページでフォルダを選択します。

2. [バージョン]パネルを開きます。
3. カレンダーから、必要なフォルダバージョンの日付を選択します。
4. コマンドを選択します。
 - **コピー**:表示されたダイアログからコピー先を選択し、そこにフォルダをコピーします。

注: コピーしたフォルダには、各アップロードファイルの最新バージョンのみが含まれます。

- **ロールバック**:このフォルダ内のファイルは、選択された日付にロールバックされます。
- **ダウンロード**:選択したフォルダをzip形式でダウンロードフォルダにダウンロードします。

親トピック: [BIMcloudへのフォルダまたはファイルのアップロード](#)

関連情報

[変更のサブスクリプション](#)

変更のサブスクライブ

特定のファイルやフォルダの変更通知を受け取ります

BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページで項目をサブスクライブし、ファイルとフォルダの変更をBIMcloudで追跡します。「フォルダ」の場合は、通常のフォルダ、BIMcloudプロジェクト、ライブラリフォルダでこれが可能です。

ファイルまたはフォルダをサブスクライブすると、ファイルが変更されるたびに通知されます。フォルダの場合は、そのファイルが変更されるたびに通知されます

チームワークプロジェクトまたはライブラリの変更は、BIMcloudでは追跡されず、これらの項目はサブスクライブできません。

サブスクライブとサブスクライブ解除の方法

BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページで次のように操作します。

ファイルまたはフォルダを選択し、ベルアイコンをクリックします。

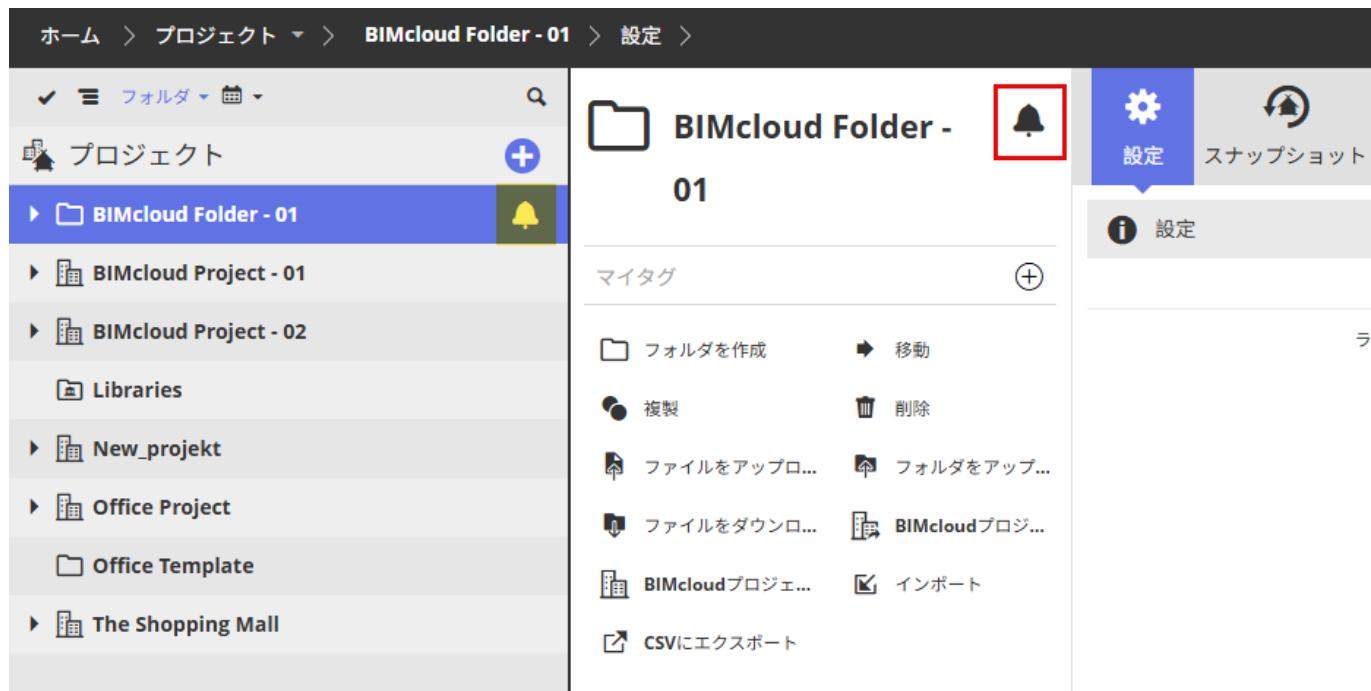


図 1. クリックしてサブスクライブ

サブスクライブできる項目は、表示アクセス権がある項目のみです。このような項目には全てベルアイコンがあります。

注: トランザクションのためにフォルダしか表示されない場合は、そのフォルダをサブスクライブできません。明示的な表示アクセス権を保持する必要があります。

サブスクライブを解除するには、ベルをもう一度クリックします。

サブスクライブは個人用です。他のユーザーは、あなたがサブスクライブしている項目を確認できません。マネージャがユーザーのためにサブスクライブを一元的に作成することはできません。

注: 変更サブスクライブの登録は、システム通知の有効化とは異なります。システム通知では、BIMcloud Serverの機能に関する問題が警告されます。「[システム通知](#)」を参照してください。

変更とみなされるもの

項目をサブスクライブすると、変更日が変化するたびに通知されます。

ファイルをサブスクライブしている場合は、次のイベントによって通知がトリガされます:

- ファイルをロールバック
- 移動とコピー
- 新規バージョンのアップロード
- 名前を変更

フォルダをサブスクライブしている場合は、次のイベントによって通知がトリガされます:

- 新規ファイルのアップロード
- ファイルの新規バージョンのアップロード
- このフォルダへの既存ファイルの移動
- このフォルダへの既存フォルダ（空でない）の移動
- 他の場所へのこのフォルダの移動

注: サブスクライブしたユーザーは、表示アクセス権がない場所にフォルダが移動されると、表示アクセス権が付与されるまで通知を受けなくなります。

- 名前を変更
- フォルダのロールバック（例外：ロールバックによってファイルの削除のみが行われ、既存のファイルが置き換わらない場合、変更は記録されません。）

親トピック: [BIMcloudへのフォルダまたはファイルのアップロード](#)

関連情報

[ファイルバージョンの保存](#)

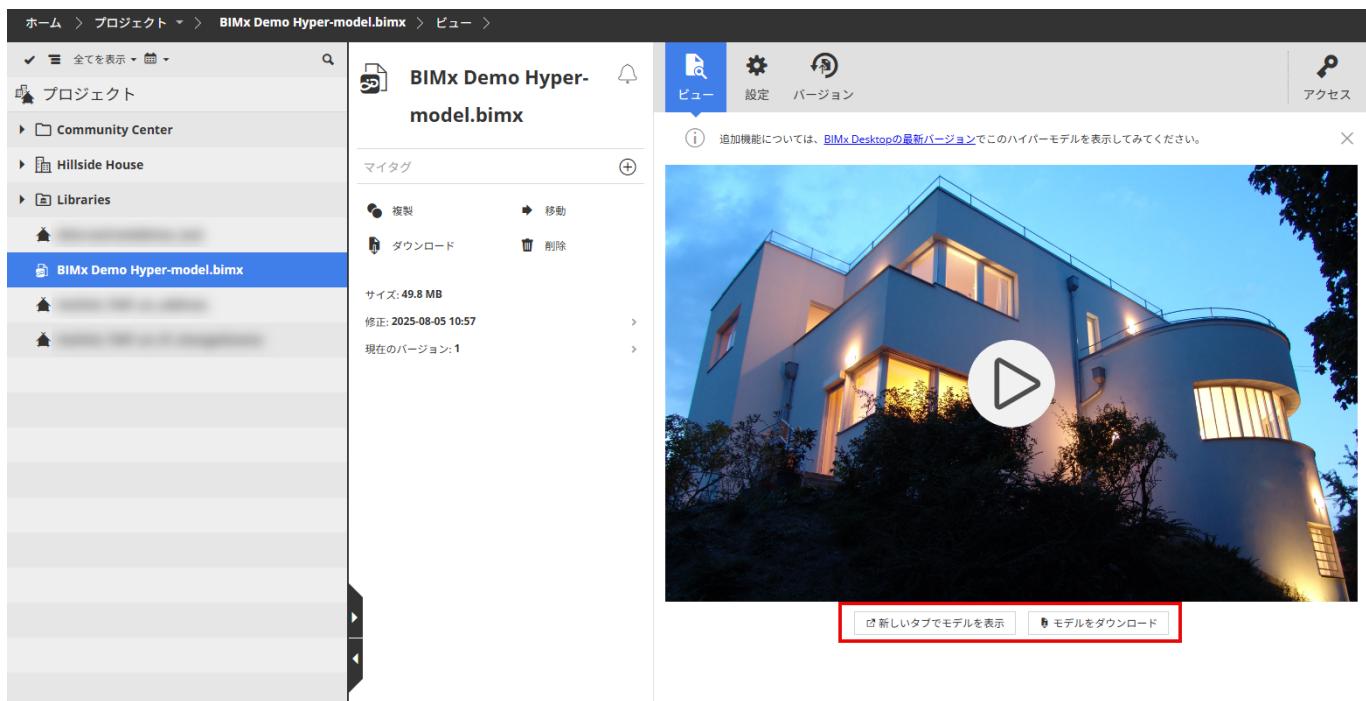
BIMx モデルまたは画像ファイルの表示

BIMcloud にアップロードされた画像や BIMx モデルを表示またはナビゲートします

1. BIMcloud Manager の [プロジェクト] ページに移動します
2. アップロードされた BIMx モデルおよび/または画像タイプのファイルのうち、.bmp、.jpeg、.jpg、.png、.gif 形式の画像を表示するにはビューパネルをクリックします。
3. 設定タブを使用してファイル名を編集します。
4. ファイルのバージョンがある場合は、バージョンタブを使用して取得します。

BIMx モデルの場合:

- 矢印をクリックしてモデル内のナビゲーションを開始します
- モデルを新しいタブで表示するか、ダウンロードします



注: BIMx モデルを表示するには、BIMcloud コンポーネント (BIMcloud Manager、BIMcloud Server) が最新である必要があります。1つまたは複数のコンポーネントが古い場合、ビューページは更新するよう警告します。

注: BIMcloud にまだ組み込まれていない BIMx Desktop Viewer の更新版を利用できる場合があります。その他の機能については、この Hyper-model を最新の [BIMx Desktop](#) で表示してみてください。

親トピック: [BIMcloud のプロジェクトとファイル](#)

プロジェクトおよびファイルの管理コマンド

選択したBIMcloud項目に対して、使用可能なコマンドを使用して管理します。

使用可能なコマンドは、ナビゲータで次のどれを選択したかによって異なります：ルート、フォルダ、チームワークプロジェクト、BIMcloudプロジェクト、ライブラリ、その他のファイルタイプ。

項目の情報概要を確認する

選択した項目の主要データを[プロジェクト]ページで確認する

プロジェクト名、フォルダ名、ホストサーバーの定義

プロジェクト設定を使用して、プロジェクトの名前、デフォルトフォルダ、ホストサーバーを定義または表示します。

チームワークプロジェクトのステータス確認

サーバーが稼動しているか、プロジェクトデータは使用可能かを確認します。

チームワークプロジェクトのロックまたはロック解除

管理者が管理機能を実行する間、プロジェクトを一時的にロックします

プロジェクトフォルダの作成

現在のフォルダの内部に新規フォルダを作成します

フォルダ内容のリストをエクスポート

内容のリストをエクスポートし、エクセルで開きます

項目の移動

選択されている項目を新しいフォルダに移動します

項目を複製

[プロジェクト]ページで選択した項目のコピーを作成します

項目の削除

選択した項目を[プロジェクト]ページから削除します

チームワークプロジェクトのユーザーリストを表示

現在チームワークプロジェクトに参加しているユーザーを表示します

チームワークプロジェクト退出をユーザーに強制

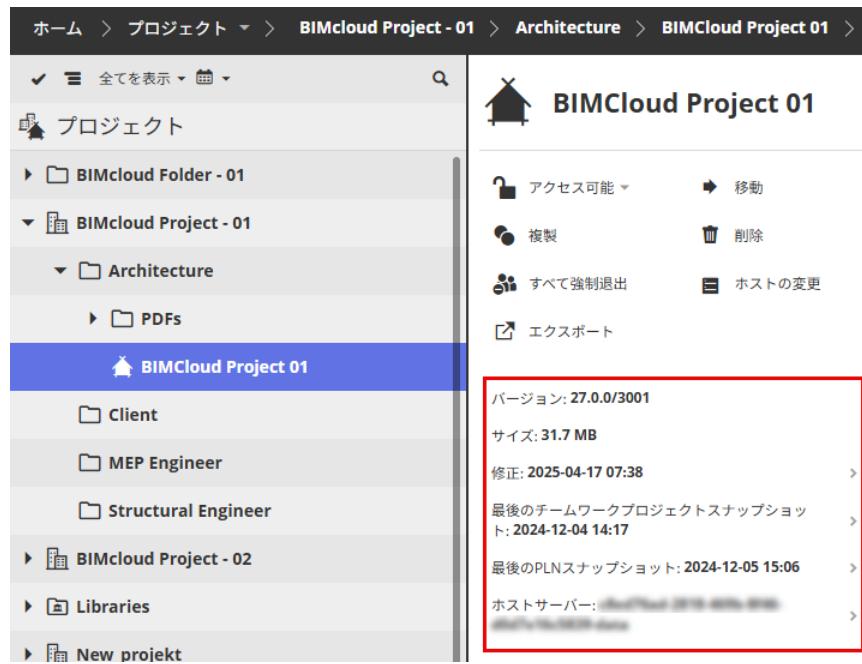
チームワークプロジェクトから参加済みユーザーを削除します

親トピック: [BIMcloudのプロジェクトとファイル](#)

項目の情報概要を確認する

選択した項目の主要データを[プロジェクト]ページで確認する

選択したプロジェクト項目ごとに概要情報が表示されます。



The screenshot shows the BIMcloud Manager interface. The left sidebar shows a tree view of projects and subfolders. The 'BIMCloud Project 01' folder is selected and highlighted in blue. The right panel displays detailed information for this project, including its version, size, and last update. A red box highlights the version information: 'バージョン: 27.0.0/3001'.

バージョン	27.0.0/3001
サイズ	31.7 MB
修正	2025-04-17 07:38
最後のチームワークプロジェクトナップショット	2024-12-04 14:17
最後のPLNナップショット	2024-12-05 15:06
ホストサーバー	cloudHost (2019-08-06-09:00)

該当する場合は、項目をクリックしてBIMcloud Managerの関連ページに移動します（例えば、[ホストサーバー]項目をクリックして[サーバー]ページを開きます）。

親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

プロジェクト名、フォルダ名、ホストサーバーの定義

プロジェクト設定を使用して、プロジェクトの名前、デフォルトフォルダ、ホストサーバーを定義または表示します。

プロジェクト、ライブラリ、フォルダ、ファイルを選択します。設定を編集するには、[設定]タブを使用します。

名前

チームワークプロジェクトの場合は、チームワークプロジェクトごとに必ず異なる名前を使用してください。大文字小文字関係なく、既存のプロジェクトと同じ名前を使用しないでください（例、OfficeProjectとOFFICERSPROJECT）。この場合、ユーザーはプロジェクトを開く、または参加することができないことがあります。



ライブラリフォルダ

プロジェクトルートまたは選択したフォルダで使用可能です。

選択した項目のデフォルトライブラリフォルダです。

Archicadからチームワークプロジェクトを共有すると、共有プロセス（ライブラリダイアログ）で、ここに表示されているライブラリフォルダにライブラリがアップロードまたはリンクされます。

このフォルダは、プロジェクトルートに自動的に作成されるため、削除/変更できません。

選択したフォルダでは、デフォルトのライブラリの場所を変更できます。

1. [編集]をクリックします。
2. [ライブラリフォルダ]ポップアップから
 - [フォルダの選択]を選択して、デフォルトとして別のフォルダを選択します。または、
 - [Archicadから手動で定義]：この設定を使用すると、Archicadからの共有プロセスで、ユーザーがBIMcloud上のライブラリフォルダを指定する必要があります。

チームワークプロジェクトのデフォルトサーバー

ユーザーがArchicadからプロジェクトを共有し、それを現在選択しているBIMcloudフォルダに配置した場合、プロジェクトはここで選択したBIMcloud Serverで自動的にホストされます。

Archicadのバージョンごとに個別のデフォルトホストサーバーを設定することも、全てのArchicadバージョンで1つのデフォルトサーバーを使用することもできます。

「デフォルト」を変更するには、[編集]をクリックします。

[割り当て]をクリックするとダイアログが開き、任意または全てのArchicadバージョンにデフォルトホストサーバーを個別に設定できるようになります。

その他全てのArchicadバージョン（特定のホストサーバーを割り当てなかったもの）にはデフォルトを使用するか、ポップアップをクリックして別のホストサーバーを割り当てます。

ファイルのデフォルトサーバー

BIMcloudにアップロードしたファイルをホストするBIMcloud Serverの名前が表示されます。このサーバーは、BIMcloudのインストールプロセス中に自動的に選択されて設定されます。

このサーバーをここで変更することはできません。ファイルサーバーを変更するには（マスター管理者のみ）、BIMcloud Managerの[サーバー]ページに移動します。

親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

チームワークプロジェクトのステータス確認

サーバーが稼動しているか、プロジェクトデータは使用可能かを確認します。

BIMcloudのプロジェクトページでは、選択したプロジェクトのステータスが表示されます。

- ・ そのホストサーバーが実行中かつアクセス可能かどうか
- ・ そのデータがホストサーバー上で使用可能かどうか
- ・ チームワークプロジェクトがアクセス可能か、ロック状態か

ポップアップには異なるコマンドが、それぞれの状態に応じて表示されます：

- ・ ロック/ロック解除：ロック状態またはアクセス可能な状態に応じて表示されます。
- ・ リンク先...:ホストサーバーにプロジェクトデータが見つからない場合、異なる、現在の未使用のプロジェクトに再リンクできます。



The screenshot shows the BIMcloud interface for managing projects. The top navigation bar includes 'ホーム', 'プロジェクト', '事業 AC 24', 'デモプロジェクト 24', '設定', and a back arrow. The left sidebar has sections for 'プロジェクト' (selected), 'オフィスビル', 'ライブラリ', and '事業 AC 24' (selected). Under '事業 AC 24', there are files: '-1. Basement Level.pdf', 'IFCStructuralView.pdf', 'OriginalSite.png', 'Structural.ifc', and 'Zones_REV.pdf'. The right panel shows 'デモプロジェクト 24' with a house icon. It displays the following details:

- マイプロジェクト (selected) / 実行予定
- アクセス可能 (highlighted with a red box)
- 移動, 削除, 全員を強制退出, その他...
- バージョン: 24.0.0/3007
- サイズ: 32.8 MB
- 修正: 2020-06-29 16:12
- 最後のチームワークプロジェクトスナップショット: -
- 最後のPLNスナップショット: -
- ホストサーバー: Server-2020-06-29

親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

チームワークプロジェクトのロックまたはロック解除

管理者が管理機能を実行する間、プロジェクトを一時的にロックします

プロジェクトのロック中は、参加中のユーザーは変更の送受信やプロジェクトデータへの変更ができません。

プロジェクトは、チームワークプロジェクトを別のバージョンに移行する場合も自動的にロックされます（[チームワーク]→[プロジェクトを移行]）

ロックされたプロジェクトは、ナビゲータで赤いバッジ付きでリストされます。



The screenshot shows the BIMcloud interface with the following navigation path: ホーム > プロジェクト > 事業 AC 24 > デモプロジェクト 24 > 設定 > . On the left, the '事業 AC 24' folder is expanded, showing sub-items: -1. Basement Level.pdf, IFCStructuralView.pdf, OriginalSite.png, Structural.ifc, Zones_REV.pdf, and デモプロジェクト 24 (which is highlighted with a red box). On the right, the 'デモプロジェクト 24' details page is displayed. The 'ロック状態' (Lock Status) section shows a lock icon and the text 'ロック解除' (Unlock) with a red box around it. Other details shown include: マイプロジェクト (My Project), 発行予定 (Scheduled Release), 移動 (Move), 削除 (Delete), 全員を強制退出 (Force Logout All), その他 (More), バージョン: 24.0.0/3007, サイズ: 32.8 MB, 修正: 2020-06-29 16:12, 最後のチームワークプロジェクトスナップショット: -, 最後のPLNスナップショット: -, and ホストサーバー: Server-2020-06-29.

図 1. ロックされたプロジェクト

同様に、ロックされたプロジェクトは、ロックアイコン付きでArchicadの[チームワークプロジェクトを開く/参加]ダイアログボックスに表示されます。

プロジェクトのロックが解除されると、ユーザーは再度そのプロジェクトで作業を行い、変更を送信/受信することができます。

親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

プロジェクトフォルダの作成

現在のフォルダの内部に新規フォルダを作成します

この機能は、ルートフォルダやその他のフォルダを選択している場合に[プロジェクト]ページで使用できます。



[フォルダを作成]をクリックし、表示されたダイアログに新しいフォルダの名前を入力します。新しいフォルダの名前がそのフォルダ内で一意であることを確認してください。

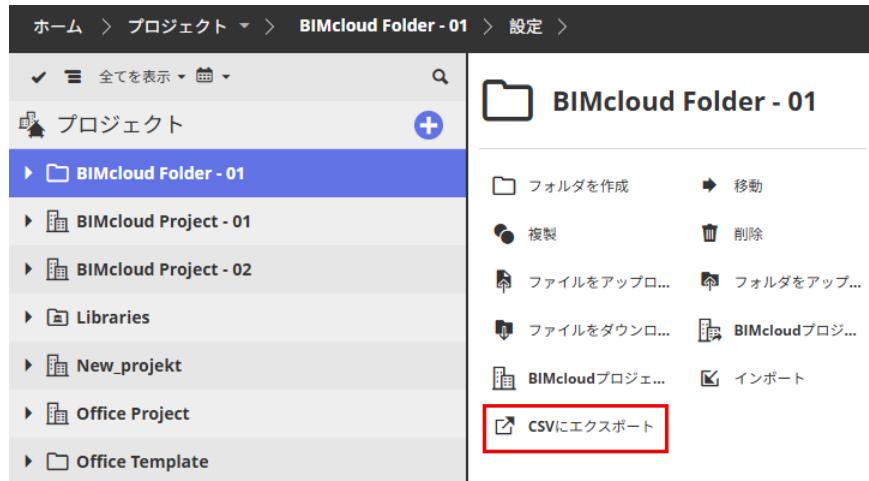
親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

フォルダ内容のリストをエクスポート

内容のリストをエクスポートし、エクセルで開けます

フォルダコンテンツのリスト（チームワークプロジェクトおよびキーデータを含む全てのライブラリ）がCSV形式でzipファイルに圧縮されてダウンロードされます。このリストはExcelで開くことができます。

1. ナビゲータで、フォルダを選択します。
2. 機能エリアから、**[CSVにエクスポート]**をクリックします。



親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

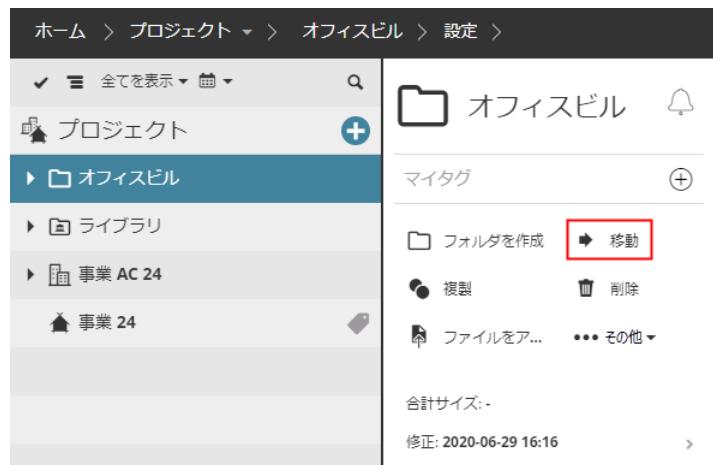
項目の移動

選択されている項目を新しいフォルダに移動します

BIMcloudの[プロジェクト]ページでは、プロジェクトルートを除く全ての項目に移動機能を使用できます。

フォルダを移動すると、フォルダの子項目も移動します。

[移動]をクリックし、項目の移動先フォルダを選択します。



注: フォルダピッカーにはナビゲータに表示されている全てのフォルダが含まれていますが、移動先フォルダを選択するには、そのフォルダの「フォルダ内容の修正」アクセス権が必要です。移動先としてフォルダを選択するには、そのフォルダを修正できる権限が必要です。

親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

項目を複製

[プロジェクト]ページで選択した項目のコピーを作成します

BIMcloudの[プロジェクト]ページでは、プロジェクトルートを除く全ての項目に複製機能を使用できます。

フォルダを複製すると、全てのサブ項目が複製されます。新しく作成された項目は、元のアクセス権と新しい親のアクセス権の両方を継承します。

1. 既存の項目を選択します。
2. 機能エリアから**[複製]**をクリックします。
3. 表示されたダイアログで、複製する項目に新しい名前を付けます。
4. 複製項目の保存先フォルダを選択します。
5. **[複製]**をクリックしてコピーを作成します。

親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

項目の削除

選択した項目を[プロジェクト]ページから削除します

選択した項目を削除します。フォルダを選択した状態で削除すると、その内容も全て削除されます。

親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

チームワークプロジェクトのユーザーリストを表示

現在チームワークプロジェクトに参加しているユーザーを表示します

BIMcloud Managerのプロジェクトページで、チームワークプロジェクトを選択します。現在参加済みのユーザーがリストアップされます。点の色は、このプロジェクトでの各ユーザーのステータスを表します。

- ・ オンライン:B (青)
- ・ オフライン:グレー

The screenshot shows the BIMcloud interface for a project titled '事業 24'. At the top, there are buttons for '発行予定' (Scheduled Release) and a plus sign. Below these are icons for 'アクセス可能' (Accessible), '移動' (Move), '複製' (Copy), '削除' (Delete), '全員を強制退出' (Force Logout All), and 'その他' (Other). The main area displays project details: 'バージョン: 24.0.0/3007', 'サイズ: 32.8 MB', '修正: 2020-06-29 16:05', '最後のチームワークプロジェクトスナップショット: -', '最後のPLNスナップショット: -', and 'ホストサーバー: Server-2020-06-29'. A red box highlights the '参加しているユーザー: 2' section, which lists 'Balint Reka' and 'Balint Csenge', each with a small blue icon. A tooltip '選択ユーザーを強制退出' (Force Logout Selected User) is shown over the 'Balint Reka' entry.

各ユーザー名の横にあるアイコンは、ユーザーが作業しているクライアントアプリケーションのタイプを示しています（例：Archicadアプリケーション、モバイルBIMxアプリケーション）。

This screenshot shows a user profile for 'Balint Reka'. It lists 'Balint Reka' with a blue icon and 'Balint Peter' with a grey icon. Below this, a timestamp '最終活動日: 2018-06-28 20:18' is shown. The blue icons for 'Balint Reka' are highlighted with red boxes.

親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

チームワークプロジェクト退出をユーザーに強制

チームワークプロジェクトから参加済みユーザーを削除します

1. ナビゲータで、1つ以上のプロジェクトを選択します。
2. [参加しているユーザー]リストで、ユーザー名の上にカーソルを合わせて**強制退出**アイコンを表示します。
3. クリックして強制退出させます。



事業 24

発行予定 ▾ ⊕

アクセス可能 ▾ 移動
複製 削除
全員を強制退出 その他 ▾

バージョン: 24.0.0/3007
サイズ: 32.8 MB
修正: 2020-06-29 16:05

最後のチームワークプロジェクトスナップショット: -
最後のPLNスナップショット: -
ホストサーバー: Server-2020-06-29

参加しているユーザー: 2

✓ 選択ユーザーを強制退出
Balint Reka
Balint Csenge 強制退出

複数のユーザーを強制退出

1. [参加しているユーザー]リストで、リストの上のチェックマークをクリックしてチェックボックスをオンにします。



事業 24

発行予定 +/-

アクセス可能 移動

複製 削除

全員を強制退出 その他

バージョン: 24.0.0/3007

サイズ: 32.8 MB

修正: 2020-06-29 16:05

最後のチームワークプロジェクトスナップショット: -

最後のPLNスナップショット: -

ホストサーバー: Server-2020-06-29

参加しているユーザー: 2

選択ユーザーを強制退出

全て選択 全ての選択を解除 ×

Balint Reka ...

Balint Csenge ...

- プロジェクトから強制退出させるユーザーを選択します。「選択ユーザーを強制退出」ボタンが有効になります。
- 「選択ユーザーを強制退出」をクリックします。

注: ユーザーの強制退出はすぐ有効になり、強制退出させられたユーザーは変更を送信できなくなります。強制退出させられたユーザーは、制約を受けることなくプロジェクトに即座に再参加できます。ユーザーをプロジェクトに再参加させたくない場合は、プロジェクトのアクセスパネルでそのユーザーのアクセス権を無効にしてください。

親トピック: [プロジェクトおよびファイルの管理コマンド](#)

チームワークプロジェクト/ライブラリのエクスポート

BIMcloudからチームワークプロジェクトまたはライブラリをコンピュータにダウンロードします

この機能を使用し、ファイル形式が.BIMProjectまたは.BIMLibraryのチームワークプロジェクトまたはライブラリをコンピュータにダウンロードします。

1. ナビゲータでチームワークプロジェクトまたはライブラリを選択します。
2. 機能エリアから、**エクスポート**をクリックします。



必要な場合は、エクスポートファイルにスナップショットを含めるオプションにチェックを入れます。



注: ブラウザがファイルの保存先を要求する場合は、指定してください。それ以外の場合、エクスポートしたファイルはデフォルトのダウンロードフォルダにダウンロードされます。

親トピック: [BIMcloudのプロジェクトとファイル](#)

チームワークプロジェクトまたはライブラリをインポート

チームワークプロジェクトファイルまたはライブラリファイルをBIMcloudにインポートします

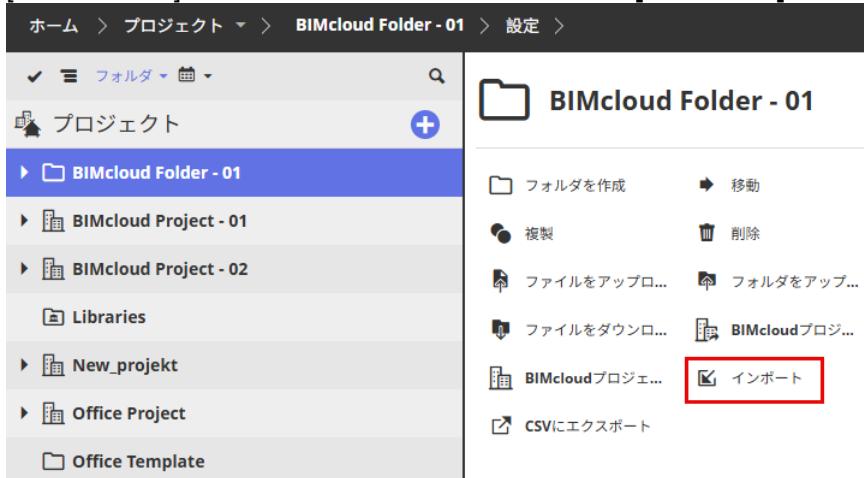
BIMcloudで選択したフォルダに、チームワークプロジェクトファイル（拡張子.BIMProject）またはライブラリファイル (.BIMLibrary) をインポートすることができます。

これらのファイル形式を使用できるのは、次のいずれかの場合です。

- BIMcloudからチームワークプロジェクト/ライブラリをエクスポートした。（「[チームワークプロジェクト/ライブラリのエクスポート](#)」を参照）
- プロジェクトまたはライブラリのスナップショットを作成した。（「[スナップショットの作成および管理](#)」を参照）

1. ナビゲータでフォルダを選択します（プロジェクトルート、BIMcloudプロジェクト、通常フォルダ）。

2. [プロジェクト]ポップアップまたは機能エリアから、[インポート]をクリックします。



3. [ファイルを選択]をクリックし、インポートするファイル (.BIMProjectまたは.BIMLibrary) を参照します。

4. インポート先としてホストサーバーを選択します。

5. [インポート。]をクリックします

拡張子が.archiveのファイル（保存されたスナップショット）をインポートすることもできます。この場合、このファイルがプロジェクトまたはライブラリのいずれであるかを確認するダイアログが表示されます。

親トピック: [BIMcloudのプロジェクトとファイル](#)

BIMcloudプロジェクト

任意のプロジェクト、ファイル、サブフォルダを1つにグループ化し、ユーザーのチームを割り当てます。

BIMcloudプロジェクトは、特別な種類のフォルダとして機能します。例えば、BIMcloudプロジェクトには、チームワークプロジェクト、任意の形式のファイル、任意の階層のサブフォルダを含めることができます。BIMcloudプロジェクトおよび/またはそのサブアイテムに、固有のユーザーチームを割り当てることができます。



注: BIMcloudにアップロードするPLNファイルは、共有チームワークプロジェクトと異なります。PLNファイルをBIMcloudにアップロードしても、それをチームワークで使用することはできません。チームワークプロジェクトを作成するには、Archicadからプロジェクトを共有する必要があります。「[チームワークプロジェクトをBIMcloudに共有](#)」を参照してください。

BIMcloudプロジェクトを作成

新しいBIMcloudプロジェクトを作成します

BIMcloudプロジェクトチーム

チームは、BIMcloudプロジェクトに関連するユーザーのグループです。

フォルダをBIMcloudプロジェクトに変換

通常のフォルダをBIMcloudプロジェクトにすると、チームを割り当てられるようになります。

BIMcloudプロジェクトをフォルダに変換

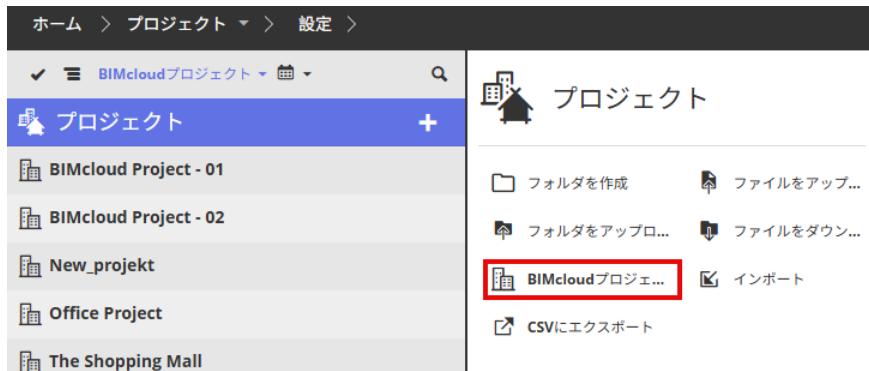
BIMcloudプロジェクトではなく、通常のフォルダにファイルを整理する

親トピック: [BIMcloudのプロジェクトとファイル](#)

BIMcloudプロジェクトを作成

新しいBIMcloudプロジェクトを作成します

1. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページに移動します
2. プロジェクトツリーのプロジェクトルートまたは任意のフォルダから、[BIMcloudプロジェクトを作成]をクリックします。



注:

BIMcloudプロジェクト内にBIMcloudプロジェクトを含めることはできません。

親トピック: [BIMcloudプロジェクト](#)

関連情報

[BIMcloudプロジェクトチーム](#)

[フォルダをBIMcloudプロジェクトに変換](#)

[BIMcloudプロジェクトをフォルダに変換](#)

BIMcloudプロジェクトチーム

チームは、BIMcloudプロジェクトに関連するユーザーのグループです。

BIMcloudプロジェクトのチームを作成するときは、既存のBIMcloudユーザーからチームメンバーを選択します。BIMcloudプロジェクトチームは、多くの場合、「構造エンジニア」、「設計者」などの分野を表します。

- チームには個人ユーザーのみが含まれます。ユーザーグループをチームに追加することはできません。
- ユーザーは複数のチームのメンバーにできます。
- チームは、BIMcloudプロジェクトおよびプロジェクト内に含む項目のみに関連します。

チームは、ユーザーグループとは異なり、特定のBIMcloudプロジェクト専用に使用します。

- 各チームはBIMcloudプロジェクトに固有です。複数のBIMcloudプロジェクトにチームを再利用することはできません。
- ただし、同じ名前のチームを複数作成し、それらを異なるBIMcloudプロジェクトに追加することは可能です。

[BIMcloudプロジェクトチームの作成または追加](#)

BIMcloudプロジェクトにチームを設定します

[BIMcloudプロジェクトおよびチームのアクセス権](#)

BIMcloudプロジェクトへ割り当て済みのチームに対する権限の定義

親トピック: [BIMcloudプロジェクト](#)

関連情報

[BIMcloudプロジェクトを作成](#)

[フォルダをBIMcloudプロジェクトに変換](#)

[BIMcloudプロジェクトをフォルダに変換](#)

BIMcloudプロジェクトチームの作成または追加

BIMcloudプロジェクトにチームを設定します

1. BIMcloud Managerのプロジェクトページから、BIMcloudプロジェクトを選択します。
2. チームパネルに移動し、[チームを作成]をクリックします。
3. チーム名（「MEPエンジニア」など）を入力し、[作成]をクリックします。
4. 表示される[ユーザー]フィールドをクリックし、ユーザー名の入力を開始します。または[検索]をクリックし、ユーザーの検索可能リストを表示します。必要な名前をクリックして追加します。
5. [保存]をクリックします。



ホーム > プロジェクト > 事業 AC 24 > チーム >

プロジェクト

事業 AC 24

マイタグ

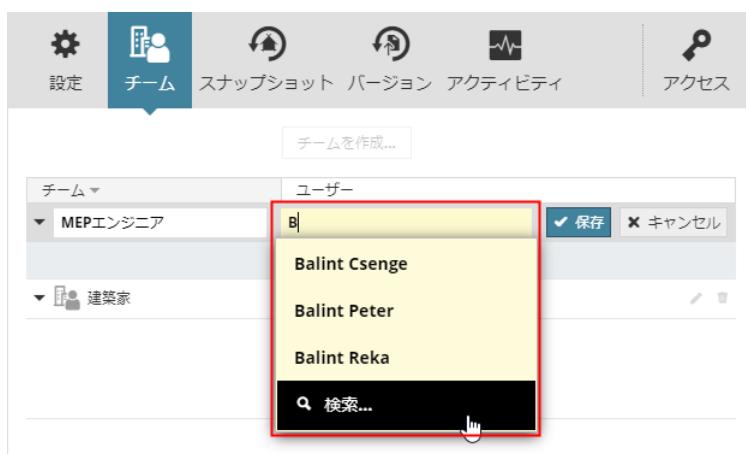
チームを作成...

チーム ユーザー

建築家

Balint Csenge

Ayumi Tsuda

チームを作成...

チーム ユーザー

Balint Csenge

Balint Peter

Balint Reka

検索...

保存 キャンセル

親トピック: [BIMcloudプロジェクトチーム](#)

関連情報

[BIMcloudプロジェクトおよびチームのアクセス権](#)

BIMcloudプロジェクトおよびチームのアクセス権

BIMcloudプロジェクトへ割り当て済みのチームに対する権限の定義

BIMcloudプロジェクトチームには外部コンサルタントが含まれることが多く、幅広いプロジェクト職務を負っています。会社のニーズに最適なチーム設定を使用してください。

- さまざまな設計チームがさまざまな責任を負う現実のプロジェクト環境を反映させるには、チームに特定のアクセス権を割り当て、BIMcloudプロジェクトにアクセスできるようにします。
- チーム間で責任を区別する必要がない場合、マネージャは[全チームメンバー]オプションを選択して、BIMcloudプロジェクトの全チームの全メンバーに同一のアクセス権を付与することができます。

BIMcloudプロジェクトを表示する権限

チームに追加されたユーザーは、自動的に[BIMcloudプロジェクトを表示]アクセス権限を取得します。BIMcloudプロジェクトのチームパネルが表示され、他のチームメンバーの一覧を参照できます。ただし、BIMcloudプロジェクト内のサブ項目（フォルダなど）の一部は自動的に表示されません。

専用チームフォルダ

BIMcloudプロジェクトでは特定のチーム専用のフォルダを作成して、排他的なデータ交換を行うことができます。このフォルダ内のファイルを修正できるのは、そのフォルダを変更するアクセス権があるチームのみです。

このチームフォルダを表示または修正するアクセス権は、必要に応じて微調整してください。

親トピック: [BIMcloudプロジェクトチーム](#)

関連情報

[BIMcloudプロジェクトチームの作成または追加](#)

フォルダをBIMcloudプロジェクトに変換

通常のフォルダをBIMcloudプロジェクトにすると、チームを割り当てられるようになります。

BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページで次のように操作します。

1. フォルダを選択します。
2. **BIMcloudプロジェクトに変換**をクリックします。

新しいBIMcloudプロジェクト用にチームを作成して割り当てができるようになりました。

親トピック: [BIMcloudプロジェクト](#)

関連情報

[BIMcloudプロジェクトを作成](#)

[BIMcloudプロジェクトチーム](#)

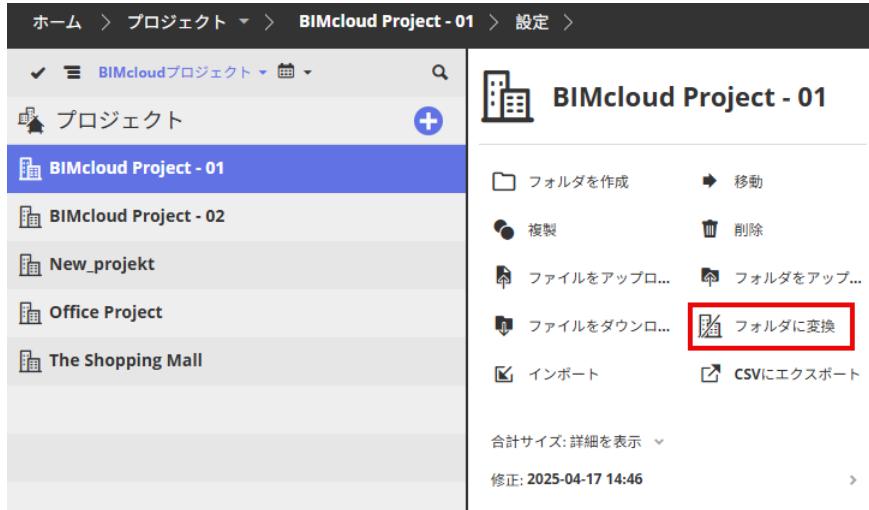
[BIMcloudプロジェクトをフォルダに変換](#)

BIMcloudプロジェクトをフォルダに変換

BIMcloudプロジェクトではなく、通常のフォルダにファイルを整理する

BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページを開きます。

1. BIMcloudプロジェクトを選択します。
2. フォルダに変換をクリックします。



The screenshot shows the BIMcloud Manager interface. The left sidebar lists projects: 'BIMcloud Project - 01' (selected and highlighted in blue), 'BIMcloud Project - 02', 'New_projekt', 'Office Project', and 'The Shopping Mall'. The right panel displays the details for 'BIMcloud Project - 01', including a toolbar with icons for 'Create Folder' (blue plus), 'Move' (arrow), 'Delete' (trash), 'Upload File' (up arrow), 'Upload Folder' (up arrow with folder), 'Download File' (down arrow), 'Convert to Folder' (highlighted with a red box), 'Import' (checkbox), and 'Export to CSV' (checkbox). Below the toolbar, it says 'Total size: Show details' and 'Last modified: 2025-04-17 14:46'.

BIMcloudプロジェクトをフォルダに変換すると、チームおよび関連アクセスの定義は失われます（チームはBIMcloudプロジェクトにのみ関連し、BIMcloudの通常フォルダまたはその他の項目では意味がありません）。

親トピック: [BIMcloudプロジェクト](#)

関連情報

[BIMcloudプロジェクトを作成](#)

[BIMcloudプロジェクトチーム](#)

[フォルダをBIMcloudプロジェクトに変換](#)

スナップショットの作成および管理

チームワークプロジェクトまたはライブラリのバックアップを作成

BIMcloudデータの自動または手動スナップショットを作成して、プロジェクトやサーバーに障害が発生した場合、またはプロジェクトが特定のマイルストーンに達した場合にバックアップを確保します。

スナップショットの種類

PLNスナップショット、チームワークプロジェクトスナップショット、ライブラリスナップショット

自動スナップショットのスケジュール

自動バックアップのスケジュールを作成

手動のスナップショット

チームワークプロジェクトまたはライブラリの手動スナップショットをいつでも作成

スナップショットからデータを復元

保存したスナップショットからデータを復元します

親トピック: [BIMcloudのプロジェクトとファイル](#)

スナップショットの種類

PLNスナップショット、チームワークプロジェクトスナップショット、ライブラリスナップショット

スナップショットには次の3種類があります:

- チームワークプロジェクトスナップショット
- ライブラリスナップショット
- PLNプロジェクトスナップショット

チームワークプロジェクトのスナップショットとライブラリスナップショット

- チームワークプロジェクトのスナップショットには、モデルデータ、およびBIMcloud関連の全ての情報（ユーザーデータや役割など）が含まれます。サーバー障害が発生したときに、それを修復するか新規BIMcloudをセットアップする場合、作業を継続するためにチームワークプロジェクトのスナップショットをロールバックする必要があります。Archicadはチームワークプロジェクトスナップショットからデータを読み取ることができません（ただし、ArchicadはPLNスナップショットを読み取ることができます。以下を参照してください）。
- ライブラリスナップショットには、ライブラリのライブラリ部品の全てのデータが含まれます。確保データは無視されます。すなわち、ライブラリ部品は、スナップショットの時点で特定のユーザーによって確保された場合でも、ロールバック後に未確保になります。

自動スケジュールされたスナップショットは、両方のタイプ（チームワークプロジェクトスナップショット/ライブラリスナップショット）で、スナップショット一覧表に従ってバックグラウンドで作成されます。ユーザーの操作は必要ありません。

PLNプロジェクトスナップショット

PLNプロジェクトスナップショットにはモデルデータのみ含まれます。また、Archicadの単独モードでチームワークプロジェクトを開くことができます。ロールバックを行う必要はありません。ArchicadでPLNプロジェクトを再度開き、チームワークプロジェクトとしてBIMcloudへ再共有するだけです。

PLNスナップショットの作成には、実行中のチームワークプロジェクトに参加済みのユーザーによる確認が必要です。

チームワークプロジェクト内のPLNスナップショットが（手動またはスケジュールによる自動で）作成されると、参加済みの全てのユーザーにスナップショットが保留中であることが（チームワークパレットのアイコンで）通知されます。このスナップショットは、ユーザーの一人が送受信中にスナップショットの作成をクリックすると、作成されます。

注: PLNスナップショットは、役割に以下の権限が含まれるユーザーのコンピュータにのみ作成できます："PLNスナップショット - 作成にコンピューターを使用

保留中のPLNスナップショットがある場合、オンラインになったユーザーに警告され実行を求められますが、続行をクリックしてバックアップを実行する必要があるのは1名のユーザーです。残りのユーザーは通常どおりに作業できます。PLNスナップショット処理中は、続行を確定したユーザーはArchicadの操作を行うことができず次の通知が表示されます。

親トピック: [スナップショットの作成および管理](#)

関連情報

[自動スナップショットのスケジュール](#)

[手動のスナップショット](#)

[スナップショットからデータを復元](#)

自動スナップショットのスケジュール

自動バックアップのスケジュールを作成

スナップショットパネルで、プロジェクトルート、任意のフォルダ、または個別のチームワークプロジェクトのレベルで、自動スナップショットのスケジュールを作成できます。

デフォルトでは、全てのチームワークプロジェクトとライブラリは、親フォルダのスナップショットスケジュールを継承します。

必要な場合、これら全ての子項目には、別のスナップショットスケジュールをローカルで定義できます。



The screenshot shows the BIMcloud interface with the following details:

- Left sidebar:** Shows a tree view of projects: 'オフィスビル', 'ライブラリ', '事業 AC 24', and '事業 24'. The '事業 24' node is expanded.
- Center top:** 'プロジェクト' (Project) section with icons for '設定' (Settings), 'スナップショット' (Snapshot), 'バージョン' (Version), and 'アクティビティ' (Activity).
- Right side:** 'Snapshot Schedule' section with three entries:
 - PLNスナップショット:** 1時間ごとに作成。最後の10コピーを保持。開始時刻 15:45、開始日 2020-06-29。
 - チームワークプロジェクトスナップショット:** 1時間ごとに作成。最後の5コピーを保持。開始時刻 15:45、開始日 2020-06-29。
 - ライブラリスナップショット:** 1時間ごとに作成。最後の5コピーを保持。開始時刻 15:46、開始日 2020-06-29。

フォルダのスナップショット設定を定義しても、そのフォルダの内容はバックアップされません。フォルダのスナップショット設定を定義する目的は、定義したスナップショット設定をそこに含まれるチームワークプロジェクト/ライブラリに適用することだけです。

[編集]をクリックしてスケジュールを選択します:



The dialog box for editing the 'PLNスナップショット' (PLN Snapshot) is shown:

- Buttons:** 設定 (Settings), **スナップショット** (Snapshot) (highlighted with a red box), アクティビティ.
- Buttons (Top right):** 保存 (Save), キャンセル (Cancel).
- PLNスナップショット:** 毎日作成。最後の10コピーを保持。開始時刻 21:10、開始日 2020-06-29. **ローカルで定義** (Local Definition) (highlighted with a red box).
- Schedule Options:**
 - 毎日 (Daily):** 1 日ごと、開始時刻 21 : 10. 最後の 10 コピーを保持.
- Next Start Date:** 開始: Mon Jun 29 2020. A calendar shows the month of June 2020 with the 29th highlighted in blue.
- Teamwork Project Snapshot:** 1時間ごとに作成。最後の5コピーを保持。開始時刻 15:45、開始日 2020-06-29. 継承元プロジェクトルート.

継承（デフォルト）:親フォルダのスナップショット設定を使用します。

ローカルで定義:ローカルレベルでスナップショットスケジュールを設定し、親フォルダのスナップショット設定を上書きします。

スナップショットスケジュール

PLNスナップショット: 1時間ごとに作成。最後の10コピーを保持。
開始時刻 21:10、開始日 2020-06-29。
ローカルで定義 ▾

作成しない
 1時間毎
1 時間ごと、開始時刻 21 : 10

毎日
1 日ごと、開始時刻 21 : 10

最後の 10 コピーを保持

次の開始日:

開始 Mon Jun 29 2020

6月 2020	6月 2020					
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

- 作成しない:このスナップショットタイプは作成されません。
- 1時間毎:下記の設定に基づいて、スナップショットが1時間ごとに作成されます。
- 毎日:スナップショットは設定した時間に毎日作成されます。
- データを維持:保持するスナップショットの数を入力します。（少なくとも1つは保持する必要があります）。自動スナップショットが追加されるたびに、最も古いスナップショットが削除されます。

[保存]をクリックします。

スナップショット保持（自動削除防止）

PLNスナップショットでは使用できません。

スナップショットパネルの下端のリストから、自動スナップショットを選択します。

削除がスケジュールされた後でもこの自動スナップショットを保持するには、[保持]をクリックします。

[保持]をクリックすると、自動スナップショットは手動スナップショットになります。名前は編集可能になり、手動スナップショットとしてリストされます。

親トピック: [スナップショットの作成および管理](#)

関連情報

[スナップショットの種類](#)

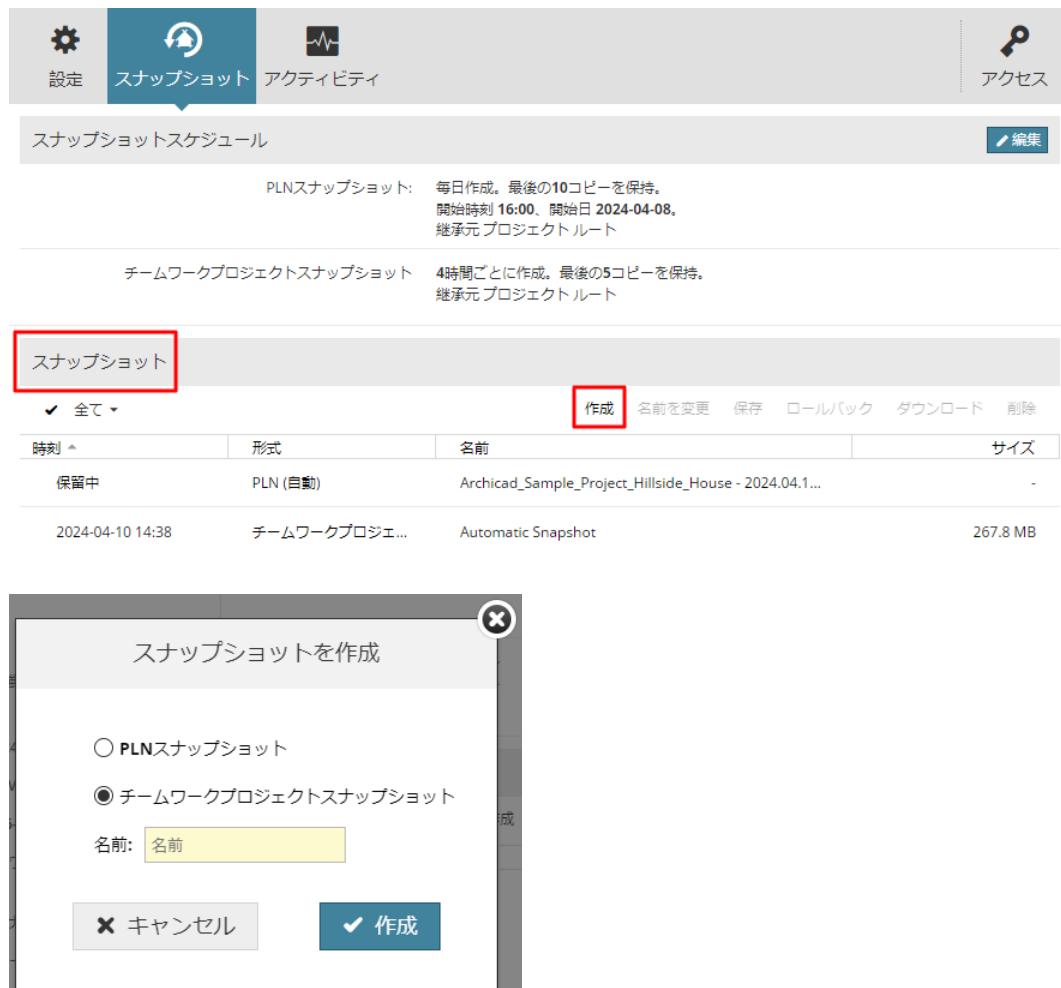
[手動のスナップショット](#)

[スナップショットからデータを復元](#)

手動のスナップショット

チームワークプロジェクトまたはライブラリの手動スナップショットをいつでも作成

1. プロジェクトルートで、スナップショットが必要なチームワークプロジェクトまたはライブラリを選択します。
2. スナップショットパネルのスナップショットリストのセクションで、[作成]をクリックします。



The screenshot shows the BIMcloud interface with the following details:

- Top Navigation:** Includes icons for Settings (ギア), Snapshot (スナップショット), Activity (アクティビティ), and Access (アクセス).
- Snapshot Schedule:** Shows a schedule for a PLN Snapshot: "毎日作成。最後の10コピーを保持。開始時刻 16:00、開始日 2024-04-08。継承元 プロジェクトルート" (Create daily. Keep last 10 copies. Start time 16:00, start date 2024-04-08. Inherited from Project Root).
- Teamwork Project Snapshot:** Shows a schedule for a Teamwork Project Snapshot: "4時間ごとに作成。最後の5コピーを保持。継承元 プロジェクトルート" (Create every 4 hours. Keep last 5 copies. Inherited from Project Root).
- Snapshot List:** A table showing existing snapshots:

時刻	形式	名前	サイズ
保留中	PLN (自動)	Archicad_Sample_Project_Hillside_House - 2024.04.1...	-
2024-04-10 14:38	チームワークプロジェクト...	Automatic Snapshot	267.8 MB
- Snapshot Creation Dialog:** A modal window titled "スナップショットを作成" (Create Snapshot) with the following fields:
 - Radio buttons: PLNスナップショット (PLN Snapshot) and チームワークプロジェクトスナップショット (Teamwork Project Snapshot). The latter is selected.
 - Text input: "名前" (Name) with the placeholder "名前" (Name).
 - Buttons: "× キャンセル" (Cancel) and "✓ 作成" (Create).

- プロジェクトの場合：スナップショットのタイプ（PLNまたはチームワークプロジェクト）を選択し、名前を付けます。
- ライブラリの場合：スナップショットに名前を付けます。

注: スナップショットファイル名には、次の文字を含めることはできません：
<>;?*|/|

- チームワークプロジェクトスナップショットがバックグラウンドジョブとして即座に開始されます。完了後には通知が届きます新しいスナップショットはスナップショットリスト（および[アクティビティ]パネル）に一覧表示されます。
- **PLNプロジェクトのスナップショットの場合：**「[PLNプロジェクトスナップショット](#)」を参照してください。

選択した種類のスナップショットが既に進行中または保留中の場合、最初のスナップショットが完了するまで別のスナップショットを作成することはできません。

親トピック: [スナップショットの作成および管理](#)

関連情報

[スナップショットの種類](#)

[自動スナップショットのスケジュール](#)

[スナップショットからデータを復元](#)

スナップショットからデータを復元

保存したスナップショットからデータを復元します

サーバーやプロジェクトに障害が発生した場合、スナップショットからさまざまな方法でデータを修復することができます。

- チームワークプロジェクトやライブラリタイプのスナップショットでは、現在のBIMcloudにロールバックするか、別のBIMcloudにインポートします。
- PLNスナップショットの場合は、単独のArchicadプロジェクトとして開いてから再共有します。

同じBIMcloudにプロジェクト/ライブラリのスナップショットをロールバック

スナップショットスケジュール

PLNスナップショット: 1時間ごとに作成。最後の10コピーを保持。
開始時刻 21:13、開始日 2020-06-29。
ローカルで定義

チームワークプロジェクトスナップショット: 1時間ごとに作成。最後の5コピーを保持。
開始時刻 21:13、開始日 2020-06-29。
ローカルで定義

スナップショット

時刻	形式	名前	サイズ
保留中	PLN (自動)	事業 24 - 2020.06.29 21:13	-
2020-06-2...	チームワーク...	自動スナップショット	4.1 MB
2020-06-2...	チームワーク...	06.29	4.1 MB

1. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページのナビゲータから、プロジェクトまたはライブラリを選択します。
2. [スナップショット]パネルを開きます。
3. スナップショットリストから、チームワークプロジェクトスナップショットまたはライブラリスナップショットを選択します。
4. [ロールバック]をクリックします。
5. ロールバックオプションを選択します:
 - [このチームワークプロジェクト/ライブラリを上書き]: 選択したスナップショットで現在選択されている項目を上書きして置き換えます。
 - チームワークプロジェクトのロールバックの場合は、全てのユーザーがプロジェクトの新しいバージョンに再参加する必要があります（ユーザーは未送信の変更を破棄するか、現在のバージョンを単独プロジェクトとして保存する必要があり、上書きされたプロジェクトに未送信の変更を送信することはできません）。
 - [スナップショットから新規チームワークプロジェクト/ライブラリを作成]: 選択したスナップショットファイルは、新しい別のプロジェクト/ライブラリとしてサーバー上に作成されます。
6. [ロールバック]、[OK]をクリックします。



プロジェクトまたはライブラリがBIMcloud Managerの[プロジェクト]ページで使用できるようになりました。

スナップショットをダウンロードし、別のBIMcloudへインポートします。

機能している他のBIMcloud上でチームワークプロジェクト/ライブラリで作業を行う場合は、スナップショットファイルをダウンロードしてから、他のBIMcloudにこのファイルをインポートします。

1. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページのナビゲータから、プロジェクトまたはライブラリを選択します。
2. [スナップショット]パネルを開きます。
3. スナップショットリストから、チームワークプロジェクトスナップショットまたはライブラリスナップショットを選択します。
4. [ダウンロード]をクリックします。
5. スナップショットの保存先フォルダを選択します。
6. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページを使用して、機能しているBIMcloudにこの保存済みのスナップショットをインポートします。「[チームワークプロジェクトまたはライブラリをインポート](#)」を参照してください。

注: チームワークプロジェクトスナップショットには全てのユーザーデータや役割が含まれるため、ユーザーの追加や役割の定義を再度行わなくてもすぐに作業を再開できます。

PLNスナップショットをダウンロードし、開いて再共有します。

PLNスナップショットは単独のArchicadプロジェクトとしてのみ開くことができます。PLNバックアップはどのバージョンのArchicadでも開くことができます。機能しているBIMcloudにアクセスが得られたら、プロジェクトを共有してチームワークでの作業を続行できます。

1. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページのナビゲータから、プロジェクトを選択します。
2. [スナップショット]パネルを開きます。
3. スナップショットの一覧から任意のPLNスナップショットを選択します。
4. [ダウンロード]をクリックします。
5. スナップショットファイルの保存先フォルダを選択します。
6. このPLNファイルをArchicadの単独プロジェクトとして開きます。
7. BIMcloudが再稼働したらすぐにプロジェクトを再共有して、チームワークで作業を続行します。

親トピック: [スナップショットの作成および管理](#)

関連情報

[スナップショットの種類](#)

[自動スナップショットのスケジュール](#)

[手動のスナップショット](#)

タグの使用

タグを使用して、プロジェクト、フォルダ、ファイルを分類し、場所を特定します。

例えば、日々作業する2つのプロジェクトにタグ付けしておくと、検索とフィルタを使用して、これらのプロジェクトをナビゲータにすばやく表示できます。

タグは個人用です。BIMcloudにアクセスする他のユーザーには、自分が使用しているタグは表示されません。

BIMcloud Managerの[マイタグ]ページを開きます:

- タグはナビゲータにフラットリストで表示されます。
- 選択したタグには、関連コマンドを実行できます（次のセクションを参照）。

デフォルトタグセット

最初に[マイタグ]ページを開いたときには、あらかじめ定義されている5つのタグを追加するオプションが表示されます。



これを使用すると便利ですが、必ずしも追加または使用する必要はありません。デフォルト設定に加えていくつでもタグを作成できます。

タグリストが空の場合、コマンドを使用していつでもデフォルトタグセットを作成できます。



項目にタグ付け

プロジェクトページの項目にタグを追加します

タグの作成または複製

タグを新規作成するか、既存のタグをコピーします

タグの編集または削除

タグ名やカラーを変更したり、タグを削除したりします

タグを使用して項目を検索

タグを使用して、BIMcloud Managerでプロジェクト項目をフィルタリングおよび検索します

タグを削除

プロジェクト項目からタグを削除します

親トピック: [BIMcloudのプロジェクトとファイル](#)

項目にタグ付け

プロジェクトページの項目にタグを追加します

タグを追加できる項目は、[BIMcloudプロジェクト]ページに表示される全ての項目、つまりチームワークプロジェクト、BIMcloudプロジェクト、ライブラリ、フォルダ、アップロードしたファイルです。

項目にはタグをいくつでも割り当てることができます。

1. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページを開きます。
2. 1つまたは複数の項目を選択します。

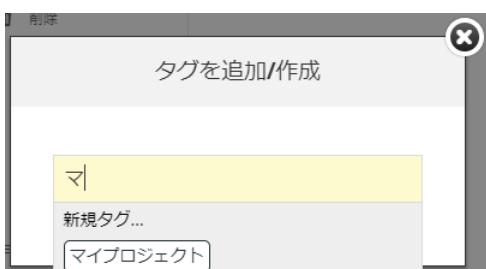


3. [マイタグ]でプラス符号をクリックします。



4. [タグの追加/作成]ダイアログが表示されます。以下のいずれかを実行します:

- 既存のタグの名前を入力し（例：「マイプロジェクト」）、下のリストに目的のタグが表示されるまで待ちます。クリックして割り当てます。



- 新しいタグを作成するには、[新規タグ]をクリックします

タグ（例、「マイプロジェクト」）が、選択した項目に割り当てられました。

タグ付けされた項目には、プロジェクトナビゲータでタグアイコンが表示され、概要セクションにタグが表示されます。



手順を繰り返して、選択した項目に任意の数のタグを追加します。

親トピック: [タグの使用](#)

関連情報

[タグの作成または複製](#)

[タグの編集または削除](#)

[タグを使用して項目を検索](#)

[タグを削除](#)

タグの作成または複製

タグを新規作成するか、既存のタグをコピーします



1. BIMcloud Managerの[マイタグ]ページを開きます。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - [マイタグ]ルート項目のプラス符号をクリックします。
 - [タグを作成]コマンドをクリックします。
 - 既存のタグを選択し、[複製]を選択します。
3. 表示されたダイアログで、新規（または複製）タグの名前を入力します。タグ名はそれぞれ一意にする必要があります。
4. 10個のカラー ボタンのいずれかをクリックして、それを新規タグに使用します。同じカラーを任意の数のタグに使用できます。



注: プロジェクトページで新しいタグを作成することもできます。

親トピック: [タグの使用](#)

関連情報

[項目にタグ付け](#)

[タグの編集または削除](#)

[タグを使用して項目を検索](#)

[タグを削除](#)

タグの編集または削除

タグ名やカラーを変更したり、タグを削除したりします

1. BIMcloud Managerの[マイタグ]ページを開きます。
2. 編集するタグを選択します。

タグ名またはカラーの編集

[設定]で、[編集]をクリックします。

名前および/またはカラーを修正し、[保存]をクリックします。



タグの削除

概要セクションで[削除]をクリックします。

これでタグが完全に除去されます。タグはそれを使用している全ての項目から削除されます。

親トピック: [タグの使用](#)

関連情報

[項目にタグ付け](#)

[タグの作成または複製](#)

[タグを使用して項目を検索](#)

[タグを削除](#)

タグを使用して項目を検索

タグを使用して、BIMcloud Managerでプロジェクト項目をフィルタリングおよび検索します

以下のいずれかを実行します:

タグの検索 ([プロジェクト]ページ)

1. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページを開きます。
2. [検索]アイコンをクリックします。
3. 検索フィールド内をクリックします。タグがリスト化されました。
4. 希望するタグをクリックして検索フィルタに追加するか、タグ名を入力します（例：「作業」）。
5. 必要に応じてタグを追加します。結果リストは、これらのタグに基づいてフィルタリングされます。



検索用語の追加

検索用語（テキストやタグ）を追加するには、それを入力してプラス符号をクリックします。

テキストのみで（タグの代わりに）検索するには、テキストを入力してEnterキーを押します。



[検索]フィールドで[x]をクリックすると、検索をキャンセルして全要素を再表示します。

タグで項目をフィルタ ([プロジェクト]ページ)

1. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページを開きます。
2. 項目を選択します。
3. 概要セクションで、フィルタするタグをクリックしてそのドロップダウンメニューを開きます。
4. [プロジェクトをフィルタ]をクリックします。



リストがフィルタされ、そのタグを含む全ての項目が表示されます。



タグで項目をフィルタ (マイタグ)

1. BIMcloud Managerの[マイタグ]ページを開きます。
2. フィルタするタグを選択します（例：「マイプロジェクト」）。
3. [使用されているタグ]行をクリックします。



[プロジェクト]ページが開きます。リストがフィルタされ、そのタグを使用する全てのプロジェクトが表示されます。



親トピック: [タグの使用](#)

関連情報

[項目にタグ付け](#)

[タグの作成または複製](#)

[タグの編集または削除](#)

[タグを削除](#)

タグを削除

プロジェクト項目からタグを削除します

1. BIMcloud Managerの[プロジェクト]ページを開きます。
2. ナビゲータで項目を選択します。
3. 概要セクションで、削除するタグをクリックします。
4. [タグを削除]をクリックします。



親トピック: [タグの使用](#)

関連情報

[項目にタグ付け](#)

[タグの作成または複製](#)

[タグの編集または削除](#)

[タグを使用して項目を検索](#)

BIMcloudの役割の管理

役割と役割に対するアクセス権を表示、作成、変更します。

役割は、それぞれの役割を定義されたユーザーまたはグループが、BIMcloud Managerまたは、Archicadチームワークプロジェクトの両方で、特定の要素タイプやデータタイプに対して何ができるかを設定するアクセス権のコンビネーションです。

管理者は役割を使用して特定のユーザーが使用できる機能を制限することができ、プロジェクトに対する不慮の損傷や不要な改変を防止することができます。各ユーザーは、プロジェクトごとに異なる役割を持つことができます。「閲覧者（表示のみ）」の役割を作成することで、何も変更せずにプロジェクトに参加することも可能です。

役割を作成

役割を新規作成

役割を複製

既存の役割のコピーを作成します

役割を編集

役割に関連付けられるアクセス権を微調整します

役割の削除

BIMcloudから1つまたは複数の役割を削除します。

役割のインポート

既存の役割データを別のBIMcloudからインポートします

役割をエクスポート

役割を別のBIMcloudへ転送する場合、またはバックアップとして使用します

ユーザーまたはグループに役割を割り当て

ArchicadおよびBIMcloudの機能へのユーザーアクセスの制御

役割を作成

役割を新規作成

役割ルートの横にあるプラス記号または[ルートの概要]から**役割を作成**をクリックします。役割名を入力します。



[設定]パネルのチェックボックスを編集し、設定を調整します

「[役割を編集](#)」も参照してください。

親トピック: [BIMcloudの役割の管理](#)

役割を複製

既存の役割のコピーを作成します

既存の役割と同様の設定でユーザーを作成する場合に使用します。



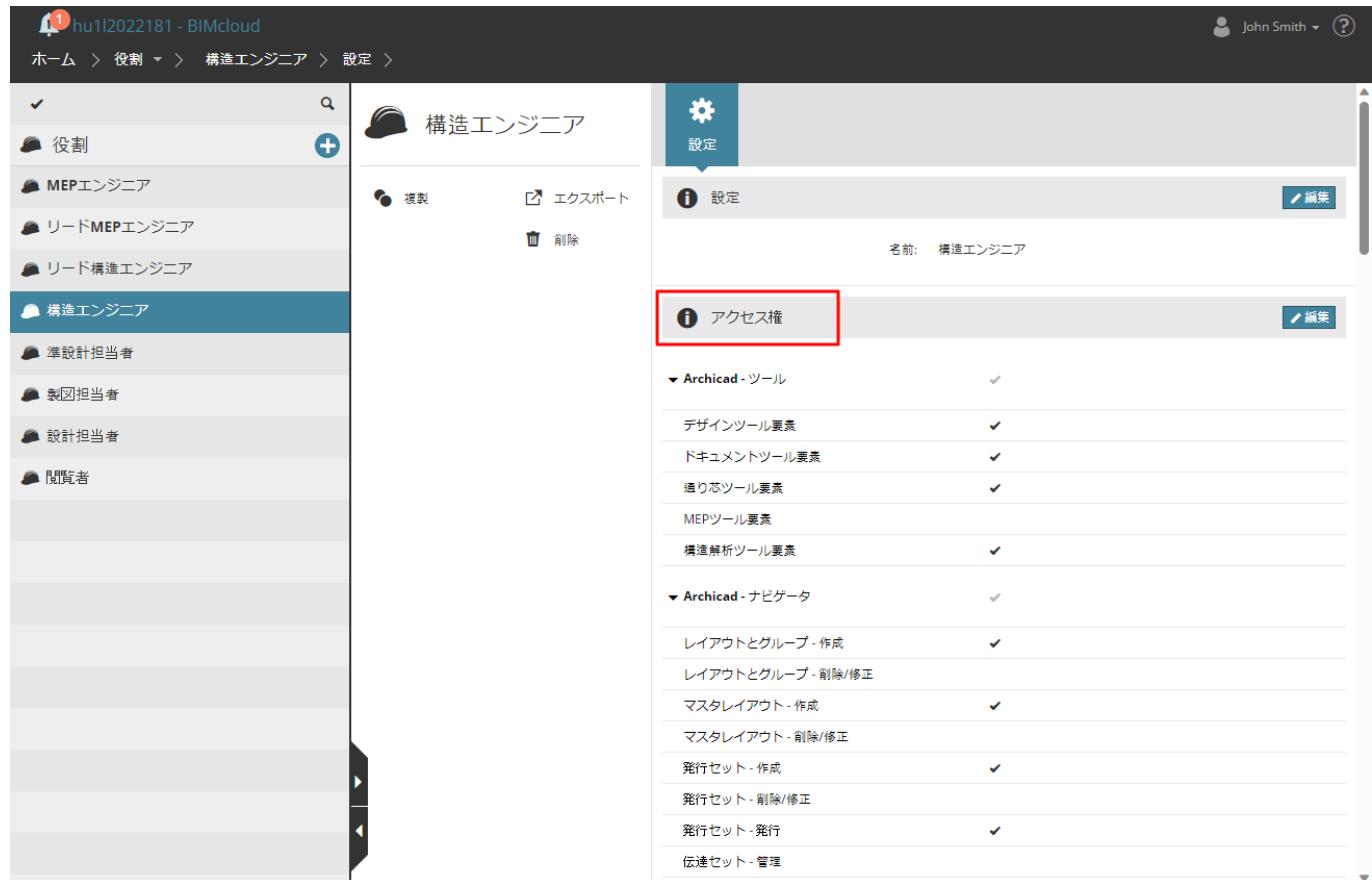
既存の役割を選択し、[概要]パネルから**[複製]**をクリックします。複製する役割に新しい名前を付けます。[設定]パネルで設定を調整します。

親トピック: [BIMcloudの役割の管理](#)

役割を編集

役割に関連付けられるアクセス権を微調整します

BIMcloud Managerの[役割]ページに移動し、役割を選択してその権限を確認します。



The screenshot shows the BIMcloud Manager interface. The left sidebar lists roles: '役割' (selected), 'MEPエンジニア', 'リードMEPエンジニア', 'リード構造エンジニア', '構造エンジニア' (selected), '準設計担当者', '製図担当者', '設計担当者', and '閲覧者'. The main content area is titled '構造エンジニア' and shows the '設定' (Settings) tab selected. The 'アクセス権' (Access Rights) section is highlighted with a red box. It lists 'Archicad - ツール' (Tools) and 'Archicad - ナビゲータ' (Navigator) with their respective access rights. The 'アクセス権' section has a '編集' (Edit) button.

役割のアクセス権は、Archicad関連の権限の6つのグループと、アクセス権管理の1つのグループに分類されます。それぞれのリストを展開/最小化するには、カテゴリヘッダーをクリックします。

「[Archicad関連の権限](#)」および「[管理関連の権限](#)」を参照してください。

注: アクセス権の管理は**簡易管理モード**を使用している場合は利用できません。

現在選択されている役割に対するアクセス権を編集するには、[編集]をクリックします。

- アクセス権を追加または削除する場合は、チェックボックスをオンまたはオフにします。
- あるグループの全てのアクセス権を一度に追加/削除する場合は、そのアクセス権のグループ名をオンまたはオフにします。

 製図担当者

名前: 製図担当者

● アクセス権 ✓ 保存 ✗ キャンセル

▶ Archicad - ツール	<input checked="" type="checkbox"/>
▶ Archicad - ナビゲータ	<input type="checkbox"/>
▶ Archicad - 属性	<input type="checkbox"/>
▼ Archicad - その他	<input checked="" type="checkbox"/>
3Dスタイル - 作成	<input checked="" type="checkbox"/>
3Dスタイル - 削除/修正	<input checked="" type="checkbox"/>
要素転送設定 - 作成	<input type="checkbox"/>
要素転送設定 - 削除/修正	<input type="checkbox"/>
お気に入り - 作成	<input type="checkbox"/>
お気に入り - 削除/修正	<input type="checkbox"/>
表現の上書き - 作成	<input checked="" type="checkbox"/>
表現の上書き - 削除/修正	<input checked="" type="checkbox"/>
IFC変換設定 - 管理	<input type="checkbox"/>
案件 - 作成/修正	<input type="checkbox"/>
案件 - 削除	<input type="checkbox"/>

アクセス権のグループのチェックマークがグレーになっている場合は、そのグループのアクセス権の一部（全てではない）が有効になっています。

親トピック: [BIMcloudの役割の管理](#)

役割の削除

BIMcloudから1つまたは複数の役割を削除します。

削除する役割を1つ以上選択します。

注: 注記: ナビゲータで項目を複数選択するには、ページの上部にあるチェックマークをクリックしてチェックボックスをオンにします。



親トピック: [BIMcloudの役割の管理](#)

役割のインポート

既存の役割データを別のBIMcloudからインポートします

まず、別のBIMcloudから役割をエクスポートします。この手順については、「[役割をエクスポート](#)」を参照してください。

次に、以下の手順に従って役割ファイルを現在のBIMcloudにインポートします。



1. 役割ルートを選択します。
2. 以下のいずれかを実行します:
 - 使用可能な機能からインポートをクリックします
 - 役割ルートの+ボタンをクリックしてから[インポート]をクリックします
3. インポートする役割を含むファイル（拡張子**.bimroles**）を検索し、[開く]をクリックします。

役割ファイルがBIMcloud Managerにインポートされます。

既存のBIMcloud役割と同じ名前の役割をインポートする場合：既存の役割は変更されず、インポートされた役割は新規名（接尾辞付き）で追加されます。

親トピック: [BIMcloudの役割の管理](#)

役割をエクスポート

役割を別のBIMcloudへ転送する場合、またはバックアップとして使用します

1. エクスポートする役割を選択します。

注: 注記: ナビゲータで項目を複数選択するには、ページの上部にあるチェックマークをクリックしてチェックボックスをオンにします。

2. [エクスポート]をクリックします。



エクスポートする全ての役割のデータが単一ファイルに保存され、拡張子**.bimroles**が付けられてブラウザのデフォルトダウンロードフォルダにダウンロードされます。

親トピック: [BIMcloudの役割の管理](#)

ユーザーまたはグループに役割を割り当てる

ArchicadおよびBIMcloudの機能へのユーザーアクセスの制御

BIMcloud項目の[アクセスパネル]を使用して、ナビゲータで現在選択している項目（プロジェクトやフォルダなど）に対してユーザーまたはグループに役割を付与します。

「[BIMcloudへのアクセスと権限](#)」を参照してください。

親トピック: [BIMcloudの役割の管理](#)

BIMcloudへのアクセスと権限

BIMcloudコンテンツへのアクセスと権限の設定

トラブルシューティング：アクセス権のデッドロック

アクセスが全て失敗した場合の対処

Archicad関連の権限

チームワークプロジェクトでの権限と可能な操作

アクセスの無効化

ユーザーアクセスの無効化

BIMcloud Software as a Serviceでの権限設定

ユーザーにBIMcloudコンテンツへのアクセス権を提供する方法

BIMcloudアクセスパネル

各コンテンツ項目にアクセスできるユーザーをBIMcloud Managerで確認できます。

トラブルシューティング：アクセス権のデッドロック

アクセスが全て失敗した場合の対処

システムのデッドロックが発生した場合は、マスター管理者のアカウントを利用して、問題を解決してください（例：管理者権限を全てのユーザーから取り下げてしまい、サーバーのコントロールが不可能）。



マスター管理者はシステムに組み込まれているユーザーです。常にサーバーのフルアクセス権を所有し、削除することはできません。マスター管理者はユーザーリストに表示されません。

マスター管理者のログイン名：**masteradmin**です。パスワードはサーバーのインストール時のサーバー設定中に定義されています。パスワードを忘れた場合は、BIMcloud Managerの設定を起動してください、パスワードの再設定ができます。

注: 日常的な作業のために、マスター管理者のアカウントを使用することはお勧めできません。緊急時のみ使用してください。

親トピック: [BIMcloudへのアクセスと権限](#)

Archicad関連の権限

チームワークプロジェクトでの権限と可能な操作

下記のアクセス権があれば、Archicadユーザーはチームワークプロジェクトで特定のデータタイプの作成、削除、修正、管理ができます。

アクセス権の名前から内容は理解できるかと思います。次の表では、必要な場所に簡潔な説明を加えました。

Archicad - ツール	
デザインツール要素	デザインツール要素サブメニューにリストされる全てのArchicadツール
ドキュメントツール要素	ドキュメントツール要素サブメニューにリストされる全てのArchicadツール
構造解析ツール要素	
通り芯ツール要素	
MEPツール要素	

Archicad - ナビゲータ	
レイアウトとグループ - 作成	
レイアウトとグループ - 削除/修正	
マスタレイアウト - 作成	
マスタレイアウト - 削除/修正	
発行セット - 作成	
発行セット - 削除/修正	
発行セット - 発行	
伝達セット - 管理	<ul style="list-style-type: none"> • 新規伝達セットを作成 • レイアウトの追加と削除 • オープン伝達セットのデータ編集 • 現在の伝達セットを削除 • 伝達セットを閉じる

Archicad - ナビゲータ	
伝達セット - 修正管理	<ul style="list-style-type: none"> 前回の伝達セットを再開 閉じた伝達セットのデータ（改訂名、ID）。
一覧表とインデックス - 作成	
一覧表とインデックス - 削除/修正	
フロア-作成	<ul style="list-style-type: none"> ナビゲータのコンテキストメニューまたはフロアの設定ダイアログで新規ストーリーを作成（ダイアログは必ず確保してください。） [ビューポイント - 管理]アクセス権に関連しません。
フロア - 削除/修正	[ビューポイント - 管理]アクセス権に関連しません。
リスト設定 - 管理	
ビューポイント - 管理	<p>ビューポイント - 管理ユーザーは、ソースマーカーと個別マーカー（新規ビューポイントを作成するマーカー）の作成、修正、削除ができます。</p> <p>この権利がない場合は、リンクタイプの断面/立面/IEマーカーおよび詳細図/ワークシートマーカーのみを配置できます。</p>
ビューとフォルダ - 作成	
ビューとフォルダ-削除/修正	

Archicad - 属性	
ビルディングマテリアル - 作成	
ビルディングマテリアル - 削除/修正	
都市 - 作成	
都市 - 削除/修正	
複合構造 - 作成	
複合構造 - 削除/修正	

Archicad - 属性	
塗りつぶし種類 - 作成	
塗りつぶし種類 - 削除/修正	
レイヤー/レイヤーセット - 作成	
レイヤー/レイヤーセット - 削除/修正	
線種 - 作成	
線種 - 削除/修正	
MEPシステム - 作成	
MEPシステム - 削除/修正	
マークアップスタイル - 作成	
マークアップスタイル - 削除/修正	
材質 - 作成	
材質 - 削除/修正	
オペレーションプロファイル - 作成	
オペレーションプロファイル - 削除/修正	
ペンセット - 作成	
ペンセット - 削除/修正	
断面形状 - 作成	
断面形状 - 削除/修正	
リノベーション上書きスタイル - 管理	v19までのArchicadプロジェクトに対応

Archicad - その他	
3Dスタイル - 作成	
3Dスタイル - 削除/修正	
要素転送設定 - 作成	
要素転送設定 - 削除/修正	
お気に入り - 作成	
お気に入り - 削除/修正	
表現の上書き - 作成	
表現の上書き - 削除/修正	
IFC変換設定 - 管理	
バージョン - 作成	
バージョン - 削除/修正	
案件タグ - 作成/修正/削除	
キーノート - 作成	
ペンセット - 削除/修正	
モデル表示オプション - 作成	
モデル表示オプション - 削除/修正	
PLNスナップショット - 作成にコンピューターを使用	PLNスナップショット - 作成用のコンピュータを使用 このユーザーのコンピュータで実行するようPLNスナップショット (BIMcloud Managerでスケジュール) を有効にします。
分類とプロパティ - 作成	
分類とプロパティ - 削除/修正	

Archicad - その他	
パブリック検索/選択条件 - 作成	
パブリック検索/選択条件セット - 削除/修正	
レンダリングシーン - 作成	
レンダリングシーン - 削除/修正	
リノベーションフィルタ - 作成	
リノベーションフィルタ - 削除/変更	
変更 - 作成	
変更 - 削除/修正	
PLN/PLA/TPL、MOD、GSM形式で保存	
変更 - 削除/修正	
DXF/DWGとして保存	
IFCとして保存	
RVTとして保存	
SAFとして保存	
構造解析モデル生成ルール - 管理	
SAF変換設定 - 管理	
負荷マネージャ、負荷の作成 - 作成	
負荷マネージャ、負荷の作成 - 削除/修正	
最新のArchicad製造番号にアップデート	

Archicad - 詳細、情報	
プロジェクト情報	
プロジェクトの場所（測点を含む）	
プロジェクト注記	
プロジェクト設定	
プロジェクトレビュー	
MEP設定	

Archicad - 外部コンテンツ	
アドオン設定-管理	アドオン設定-管理ユーザーは、アドオンマネージャにリストされているプロジェクトのアドオンをロード/ロード解除できます
ホットリンクインスタンス	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーは、配置されたホットリンクモジュールのインスタンスの確保、修正、削除ができます。 ユーザーは、プロジェクトの既存ホットリンクの別のインスタンスを配置することができます。 <p>ユーザーはプロジェクトのホットリンクを管理できません。</p>
外部図面 - 管理	<ul style="list-style-type: none"> 図面を外部から配置する 配置先図面を外部リンクする
ホットリンクとXREF - 管理	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトに新しいホットリンクを追加する ホットリンクマネージャーのすべてのコマンドを使用する。 XREFをアタッチ XREF管理でXREFソースを管理する
IFCプロジェクトマネージャ - 管理	<ul style="list-style-type: none"> IFCプロジェクトマネージャ、([ファイル]→[相互運用性]→[IFCプロジェクトマネージャ])でデータ（プロジェクト、建築物、現場、IfcGroup、IfcZoneの各プロパティ）を確保して修正できます。

Archicad - 外部コンテンツ	
	<ul style="list-style-type: none"> 他のユーザーが確保していない要素の要素レベルのIFCプロパティを編集可能。 <p>注記:要素を確保している場合、アクセス権がなくても、設定ダイアログボックスで要素のIFCプロパティを編集できます。</p>
ライブラリ追加/削除	<p>ライブラリマネージャーを使用してプロジェクトにBIMcloudライブラリを追加する</p> <p>(ユーザーはサーバーライブラリを管理できません。サーバーライブラリの管理にはBIMcloud Manager上のアクセス権が必要です)。</p>
ライブラリ部品 - 作成	
ライブラリ部品 - 削除/修正	
XREFインスタンス	<ul style="list-style-type: none"> XREFインスタンスの確保・変更・削除 プロジェクトの既存Xrefの別のインスタンスを付けることができます。 <p>ユーザーはプロジェクトのXrefを管理できません。</p>

親トピック: [BIMcloudへのアクセスと権限](#)

アクセスの無効化

ユーザーアクセスの無効化

コンテンツ項目に対するユーザーのアクセスを無効にするには：

1. コンテンツ項目の[アクセス]パネルを開きます。
2. 削除するユーザーの上にカーソルを合わせます。
3. [削除]アイコンをクリックします。



ただし、グループのメンバーとしてユーザーにアクセスが承認されている場合、ユーザー個人のアクセスを無効にすることはできません。

この場合の解決策は、ユーザーにカスタム役割を割り当て、特定のアクセス権を無効にすることです。

1. ユーザーの名前を入力し、ポップアップリストから名前を選択します。
2. 役割のポップアップから**カスタム役割**を選択してください。
3. [保存]をクリックします。

選択されているユーザーのアクセス権ビューが即座に表示されます。ボックスを2回クリックして赤い×を作成し、アクセス権を無効にします。



注: [カスタム]列の[項目の表示]アクセス権ボックスのチェックを外すだけで、全てのアクセス権を無効にできます。現在、ユーザーは現在のコンテンツ項目をまったく表示できないため、他の既存のアクセス権も実行できません。

同様に、階層の上位レベルのコンテンツ項目に関するアクセスがユーザーに承認されている場合、カスタム役割をユーザーに割り当てることで、下位レベルでそのアクセス権を無効にできます。

親トピック: [BIMcloudへのアクセスと権限](#)

BIMcloud Software as a Service での権限設定

ユーザーにBIMcloudコンテンツへのアクセス権を提供する方法

アクセス権はBIMcloud Software as a Service でどのように機能しますか?

BIMcloud Software as a Serviceには、事前に定義された役割と権限を持つデフォルトユーザーグループが付属します。このデフォルトユーザーグループにユーザーを割り当てることをお勧めします。次に、このグループを役割および関連するアクセス権セットに接続します。

全てのアクセス権があるカンパニー管理者

BIMcloudには、購入手続きの際に指定したカンパニー管理者アカウントが1つ付属します。

カンパニー管理者は、ユーザーの作成、プロジェクトの管理、権限の割り当て、さらにチームワークのすべての権限など、全ての権限を持ちます。

デフォルトユーザーグループはどちらですか?

ユーザーとグループページでは、デフォルトのユーザーグループを見つけることができます：

- [Archicad]グループにはArchicadへのアクセス権があり、ツールの使用やビューの作成および管理などができます。
- [管理]グループはBIMcloudへのアクセス権があり、プロジェクト、ライブラリ、ユーザーを管理できます。
- [表示]グループはBIMcloud ManagerのWebインターフェースとその内容の表示のみのアクセス権があります。

注: コンテンツ項目の表示と管理をBIMcloudだけでなくArchicadでも行うには、ユーザーに[表示]アクセス権が必要です。

Archicad - 製図担当者

製図担当者には、プログラムやワークフローを学ぼうとしている新規雇用者や研修生などがあります。Archicadツール（壁ツールや階段ツールなど）の使用のみに制限され、お気に入りやビューなどの要素の作成や修正はできません。

Archicad - 準設計担当者

準設計担当者のアクセス権は、Archicadを熟知していても、テンプレート設定を修正できる権限を持つべきでない同僚に有用な場合があります。これらのユーザーは、構造解析モデルに関する機能（ツール、SAF形式での保存および変換、生成ルール）とMEP Modelerツールと環境設定を除く全てのArchicadツールを使用することができます。属性や発行セットなどの新規要素を作成できますが、それらの修正や削除はできません。

Archicad - 構造エンジニア

設計担当者グループに似ていますが、メンバーは構造解析モデルの作成とエクスポートに関連するツールや機能も使用できます。

Archicad - MEPエンジニア

設計担当者グループに似ていますが、メンバーはMEPツール要素の使用、MEPシステムの削除と変更、MEP設定の変更もできます。通り芯ツール要素は使用できません。

Archicad - リード設計担当者

設計担当者は、MEPツールや環境設定、構造解析モデルに関する機能を除き、あらゆる種類の要素を作成、修正し、プロジェクトのあらゆる側面を管理することができます。通常は、Archicadの上級ユーザーで、ドキュメンテーションプロセスを担当します。

Archicad - リード構造エンジニア

設計担当者グループに似ていますが、メンバーはMEP Modelerや構造解析モデルに関連する全てのツールと機能も使用することができます。

Archicad - リード設備エンジニア

設計担当者グループに似ていますが、メンバーはMEP Modelerや構造解析モデルに関連する全てのツールと機能も使用することができます。

管理 - プロジェクトマネージャ

設計担当者やエンジニアと比べて、プロジェクトマネージャにはプロジェクト管理に関する特別な権限があります。他のユーザーのプロジェクトへのアクセスを修正したり、ManagerのWebインターフェースのコンテンツを修正したりできます。このグループのユーザーは、上記のArchicadグループのいずれかのメンバーでもある場合を除いて、Archicadを使用できません。

管理 - サービス管理者

サービス管理者には、ArchicadとBIMcloud Manager Webインターフェースへのフルアクセスおよび全ての権限があります。あなたが選んだ最初のユーザーがデフォルトでサービス管理者になります。

注: 初期GSIDメンバーをサービス管理者グループから削除しないでください。

表示 - 全部

このグループのユーザーはBIMcloudの全てを表示できますが、コンテンツ、アクセス、ユーザーの修正はできません。タグを使用することができます。

表示 - プロジェクトとライブラリ

このグループのユーザーはBIMcloudのチームワークプロジェクトとライブラリのみアクセスでき、コンテンツの修正はできません。タグを使用することができます。

親トピック: [BIMcloudへのアクセスと権限](#)

BIMcloud アクセスパネル

各コンテンツ項目にアクセスできるユーザーをBIMcloud Managerで確認できます。

BIMcloud Managerでコンテンツ項目を選択します。アクセスパネルには、どのユーザーまたはグループがその項目にアクセスできるかが表示されます。

MEP Library 27へのアクセス許可できるユーザー/グループを指定

- MEP Engineers Lead MEP Engineer
- Project Administrators Lead Architect
- 全員 カスタム
- 全員 メンバーのデフォルト

アクセスパネルは、アクセス権を持つユーザーを2つの異なる方法で表示することができます:

- コンパクトビュー:

- リストの上部には、この特定の項目へのアクセスを許可されたユーザー/グループが表示されます（管理者が手動で名前を追加します。[アクセスを承認](#)を参照）。
- 下部（「親フォルダから継承されたアクセス」）には、すでに親フォルダへのアクセス権を持っているため、この項目にアクセスできるユーザー/グループが表示されます。フォルダ階層の上位レベルで承認されたアクセスは、下位の全てのサブ要素に継承されます。

事業 24へのアクセス許可できるユーザー/グループを指定

- Ayumi Tsuda デフォルト (準設計担当者)
- Balint Csenge デフォルト (設計担当者)
- 全員 メンバーのデフォルト

プロジェクトルートからアクセス許可を継承する

- ユーザー別:この項目にアクセスできるユーザー及びグループのフラットリストです。

コンパクトビューとユーザー別ビューは、リストの上にあるポップアップで切り替えます。

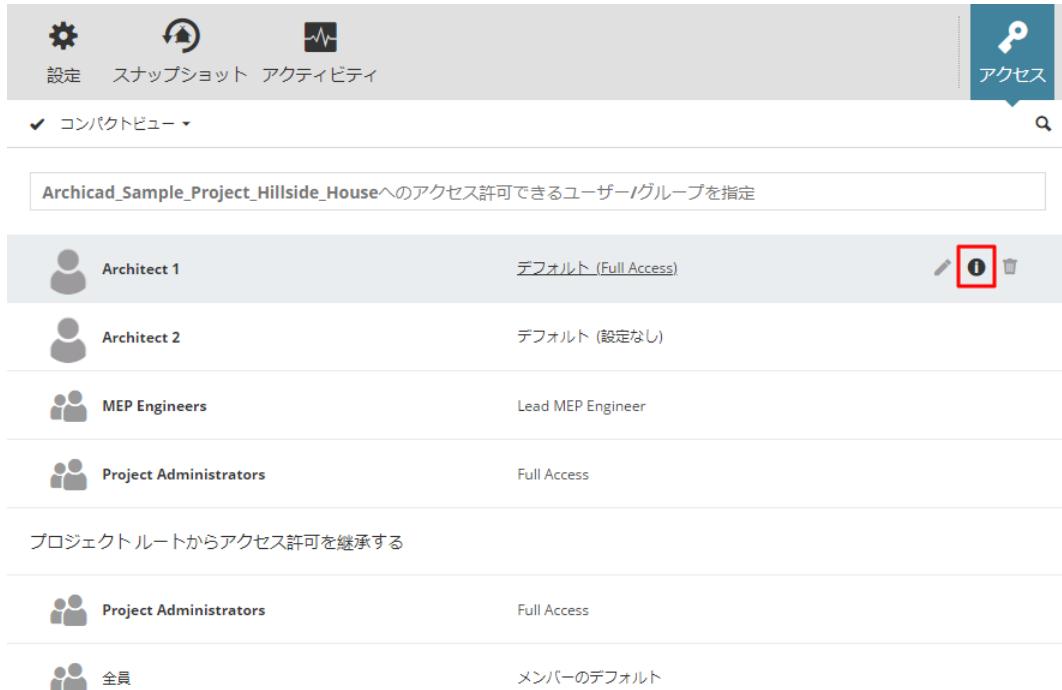


事業 AC 24へのアクセスを許可するユーザー/グループ、またはチームを指定

 構造エンジニア	メンバーのデフォルト
プロジェクトルートからアクセス許可を継承する	
 全員	メンバーのデフォルト

ユーザーの権限を確認

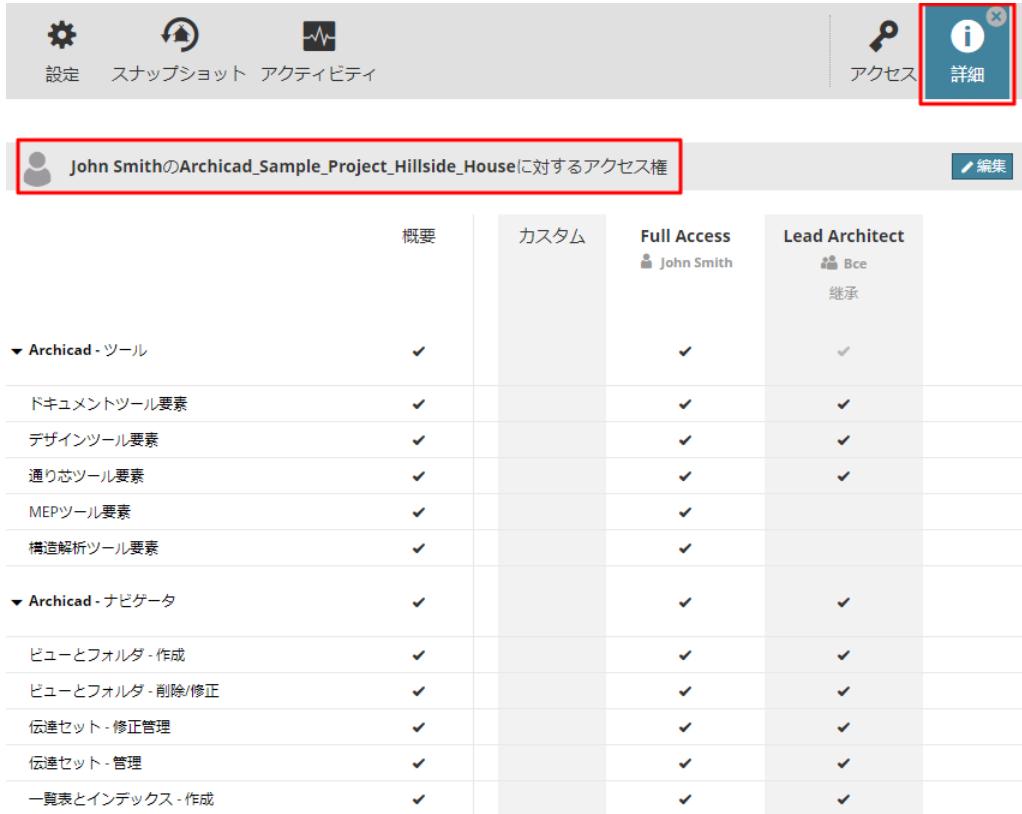
任意のコンテンツ項目のアクセスパネルで、以下を実行します:ユーザーまたはグループにカーソルを合わせ、[詳細]をクリックします。



Archicad_Sample_Project_Hillside_Houseへのアクセス許可できるユーザー/グループを指定

 Architect 1	デフォルト (Full Access)	 
 Architect 2	デフォルト (設定なし)	
 MEP Engineers	Lead MEP Engineer	
 Project Administrators	Full Access	
プロジェクトルートからアクセス許可を継承する		
 Project Administrators	Full Access	
 全員	メンバーのデフォルト	

詳細ページでは、このユーザーの全ての権限を役割別に表示します。



概要	カスタム	Full Access	Lead Architect
Archicad - ツール	✓	✓	✓
ドキュメントツール要素	✓	✓	✓
デザインツール要素	✓	✓	✓
通り芯ツール要素	✓	✓	✓
MEPツール要素	✓	✓	
構造解析ツール要素	✓	✓	
Archicad - ナビゲータ	✓	✓	✓
ビューとフォルダ - 作成	✓	✓	✓
ビューとフォルダ - 削除/修正	✓	✓	✓
伝達セット - 修正管理	✓	✓	✓
伝達セット - 管理	✓	✓	✓
一覧表とインテックス - 作成	✓	✓	✓

それぞれの権限はユーザーが特定の操作を実行することを可能にします。概要のカラムは、選択されているユーザー/グループの集約されたアクセス権が表示されます。

コンテンツ項目に対するユーザーの最終的なアクセス権セットは、ユーザーまたはそのグループに割り当てられた全ての役割の集合体です。

親トピック: [BIMcloudへのアクセスと権限](#)